

長ニ保管セシムルノ必要アルトキハ特ニ規定スルモノヲ除クノ外所管長官ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 機密書類ヲ配布セムトスルトキハ調製者ヨリ配布區分ヲ附シ確實ナル方法ニ依リ之ヲ諸部隊長ニ送付シ其ノ配布ヲ受ケタル部隊長ハ配布區分ニ基キ更ニ之ヲ部下諸部隊長ニ配布スヘシ

戰時ニ携行スヘキ機密書類ノ配布區分ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第八條 機密書類ハ配布ヲ受ケタル部隊長保管ノ責ニ任ス調製部隊ノ長官ハ必要ニ應シ特ニ保管者ヲ指定スルコトヲ得

第九條 機密書類ノ配布ヲ受ケタル部隊長ハ必要ニ應シ部下將校同相當官ヲシテ之カ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 機密書類ノ配布ヲ受ケタル部隊長ハ直ニ其ノ受領證書ヲ差出スヘシ

第十一條 機密書類ノ調製者ハ機密書類調製原簿(様式第一)其ノ保管者ハ機密書類保管原簿(様式第二)ヲ備ヘ其ノ調製又ハ保管ニ係ル機密書類ノ出納ヲ確實ニスヘシ

第十二條 機密書類ノ調製者ハ之ヲ配布シタル部下部隊ニ就キ隨時保管ノ狀況ヲ検査スヘシ機密書類ノ配布ヲ受ケ更ニ部下部隊ニ配布ヲ爲シタル者亦同シ

第十三條 左ニ掲グルモノヲ除クノ外部隊長ニ於テ國防用機密書類ヲ保管スルノ必要ヲ生シタルトキハ順序ヲ經テ

陸軍大臣ノ承認又ハ認可ヲ受ケ之ヲ保管スルコトヲ得

一 陸軍大臣、參謀總長、兵器本廠長、技術審査部長、築城部本部長及陸地測量部長ニ在リテハ所要ノ國防用機密書類

二 朝鮮總督、臺灣總督、關東都督、朝鮮駐劄軍司令官、師團長及對馬警備隊司令官ニ在リテハ其ノ管内ニ關スル所要ノ國防用機密書類

三 要塞司令官、築城部支部長、重砲兵旅團長、同聯隊長及同獨立大隊長ニ在リテハ其ノ地要塞ニ關スル所要ノ國防用機密書類

四 教育總監、重砲兵監、陸軍大學校長及陸軍砲工學校長ニ在リテハ各要塞近傍一萬分一以上ノ地形圖及防禦營造物ヲ記載シタル地形圖、重砲兵射擊學校長ニ在リテハ東京灣要塞近傍一萬分一以上ノ地形圖及防禦營造物ヲ記載シタル地形圖

第十四條 部隊長前條ニ依リ承認若ハ認可ヲ得タルトキハ其ノ目錄(様式第三)ヲ製シ陸軍大臣ノ指定シタル部隊ニ該書類ヲ請求シ又ハ該部隊ニ就テ謄寫スルモノトス前項ニ依リ謄寫シタル國防用機密書類ニハ第三條ニ準シ

標記ヲ爲シ且「何々寫」又ハ「何々拔萃」ト附記シ其ノ作製シタル部數ヲ當該調製者ニ通牒又ハ報告シ調製者ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告又ハ通牒スルモノトス

第十五條 部隊長ニ於テ臨時ニ機密書類（國防用機密書類ヲ除ク）ヲ保管スルノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ目錄（樣式第三）ヲ製シ順序ヲ經テ之ヲ調製者ニ請求スルコトヲ得

第十六條 海軍機密書類ヲ保管スルノ必要ヲ生シタルトキハ師團長及之ト同等以上ノ權アル長官、要塞司令官及對馬警備隊司令官ニ在リテハ直接ニ、其ノ他ノ部隊長ニ在リテハ所管長官ヲ經テ該書類ノ調製者ニ之ヲ請求スルモノトス

前項機密書類ノ取扱ニ關シテハ當該官憲ノ指定ニ依ルノ外本規則ニ依ル

第十七條 機密書類ハ之ヲ謄寫、複刷又ハ拔萃スルコトヲ得ス但シ調製者ノ承認若ハ認可ヲ受ケ保管者ニ於テ該書類ニ關シ審議ヲ爲シ若ハ訓令細則等ヲ作り又ハ學習用等ノ爲一部ノ謄寫、複刷若ハ拔萃ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス前項但書ニ依リ作製シタル書類ニ付テハ第十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十八條 職務上機密書類ノ閱覽ヲ要スル者ハ保管者ノ承認若ハ許可ヲ受ケ其ノ保管シ在ル場所ニ於テ閱覽シ許可ナクシテ之ヲ他ニ持出スコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ保管者ハ職務上必要ナル部分ニ限り閱覽ヲ許スモノトス

第十九條 教官機密書類中ノ事項ヲ教授スル場合ニ在リテハ其ノ機密ナルコトヲ告知シタル後之ヲ口授シ筆記セシムルコトヲ許サス

第十條 機密書類ノ保管者ハ毎年四月盡日調ヲ以テ保管機密書類（第十四條第一項、第十七條ニ依リ作製シタルモノヲ含ム）ノ出納報告（樣式第四）ヲ調製官廳毎ニ區分シテ作製シ順序ヲ經テ所管長官ニ送付シ所管長官ハ之ヲ取纏メ更ニ出納報告ヲ作製シ之ヲ五月盡日迄ニ調製者ニ報告又ハ通牒スヘシ

前項ノ外機密書類ノ保管者ハ參謀總長ノ調製シタル機密書類ニ付又機密書類ノ調製者參謀總長ヲ除クハ自ラ調製シタル機密書類ニ付前項ニ準シ六月盡日迄ニ陸軍大臣ニ報告又ハ通牒スルモノトス

機密書類調製者ハ第一項ニ規定スルモノノ外保管者ニ對シ其ノ調製書類ニ關シ所要ノ通牒ヲ求ムルコトヲ得

第二十一條 機密書類ヲ紛失シタルトキハ其ノ保管者ヨリ最迅速ナル方法ニ依リ順序ヲ經テ之ヲ調製者ニ報告又ハ

通牒シ且搜索ノ手段ヲ盡シ紛失ノ顛末及處分ヲ詳報スヘシ

機密書類ヲ燒失シタルトキハ順序ヲ經テ其ノ顛末及處分ヲ調製者ニ詳報スヘシ

調製者ハ前二項ニ準シ陸軍大臣ニ報告又ハ通牒スルモノトス

第二十二條 機密書類ニシテ改正、廢止若ハ年度變換等ニ依リ不用ニ歸シタルトキ又ハ保管者ニ於テ所要止ミタルトキハ保管者ヨリ一月以内(特ニ返納期日ヲ指定シタルモノハ其ノ期間内)ニ其ノ目錄(様式第五)ヲ添ヘ其ノ配布ヲ受ケタル長官ニ返納シ同長官ハ之ヲ調製者ニ返納スヘシ第十四條第一項及第十七條ニ依リ作製シタル機密書類ニ付亦同シ

前項ニ依リ返納ヲ受ケタル機密書類中調製者ニ於テ不用ト認メタルモノハ將校同相當官監督ノ下ニ之ヲ燒却スヘシ

返納スヘキ書類中後日ノ參考ニ資スル爲保存ヲ要スルトキハ返納期日前ニ其ノ書類名番號(符號)調製年月日ヲ記シ順序ヲ經テ調製者ノ承認又ハ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ場合ニ於テ調製者ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告又ハ通牒スルモノトス

第二十三條 機密書類ノ保管者ハ動員ニ際シ所要ノ機密書類ヲ除ク外其ノ書類ヲ當該留守部隊長ニ保管轉換ヲ爲シ該部隊長ハ順序ヲ經テ之ヲ調製者又ハ調製者ノ留守部隊長ニ報告又ハ通牒(様式第六)スヘシ

特設部隊ノ動員又ハ臨時編成ニ際シテハ當該擔任部隊長ハ特設部隊長ニ必要ナル機密書類ノ保管轉換ヲ爲シ特設部隊長ハ前項ニ準シ之ヲ調製者又ハ調製者ノ留守部隊長ニ報告又ハ通牒スヘシ

第二十四條 留守部隊長、特設部隊長ハ復員又ハ解散ニ際シ其ノ保管スル機密書類ヲ動員又ハ編成ヲ擔任シタル部隊長ニ保管轉換ヲスヘシ

前項ニ依リ保管轉換ヲ受ケタル部隊長ハ前條ニ準シ之ヲ調製者ニ報告又ハ通牒シ尙保管ノ必要アルモノヲ除クノ外其ノ機密書類ヲ第二十二條ニ準シ調製者ニ返納スヘシ

第二十五條 機密書類ノ保管者ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ書類ノ引繼ヲ確實ニシ且之ヲ配布ヲ受ケタル長官ニ報告又ハ通牒(様式第七)スヘシ

第二十六條 府廳ノ際ニ於ケル機密書類ノ處置ニ關シテハ陸軍大臣ノ指示ヲ受クヘシ

第二十七條 機密書類ニシテ汚損使用ニ堪ヘサルモノアルトキハ其ノ引換ヲ調製者ニ請求スルコトヲ得

第二十八條 機密書類ノ部分改正又ハ正誤等ニシテ一連番號(符號)ヲ有セルモノヲ原書類中ニ補綴加除シタルトキハ該番號(符號)及年月日ヲ標記シ置クヘシ

第二十九條 機密書類ノ印刷ハ必ス將校同相當官ヲシテ監督ノ責ニ任セシメ原版又ハ原稿ノ處分ヲ確實ニスヘシ

第三十條 軍事ニ關シ日常往復ノ機密文書及條例規則又ハ特別ノ命令ニ依リ進達スル機密書類ハ第三條ノ標記ヲ要セス單ニ軍事機密ナルコトヲ標示シ其ノ取扱ニ關シテハ第八條、第九條、第十條、第十一條(機密文書ハ本條ヲ除ク)第十八條、第十九條、第二十一條ヲ除クノ外本規則ヲ適用セス但シ調製配布スヘキ機密書類ヲ進達スル場合ニ在リテハ第三條ノ標記ヲ爲スヘシ

前項ノ機密書類不用ト爲リタルトキハ將校同相當官監視ノ下ニ之ヲ燒却スヘシ

第三十一條 海軍其ノ他ノ官憲ヨリ陸軍機密書類ノ請求ヲ受ケタルトキハ該書類ノ調製者ハ之ニ應スルコトヲ得但シ師團長及之ト同等以上ノ權アル長官、要塞司令官及對馬警備隊司令官以外ノ者ニ在リテハ所管長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ配布シタル機密書類ニハ第十一條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十二條第一項ヲ適用ス

第三十二條 機密書類中輕易ナル部分改正又ハ正誤等ニ關スルモノニシテ一連ノ番號(符號)ヲ有セサルモノノ取扱ニ付テハ本規則ニ依ラサルコトヲ得但シ該書類不用ト爲リタルトキハ保管者ニ於テ燒却スルモノトス

第三十三條 機密書類中重要ナルモノハ其ノ取扱ニ關シ第一條、第二條、第六條、第十三條、第十四條、第二十條(第三項ヲ除ク)第二十九條、第三十條ヲ除クノ外本規則ヲ準用ス

前項ニ依ルモノヲ除クノ外不用ト爲リタル機密書類ニ付テハ前條但書ヲ準用ス

第三十四條 陸軍部外ニ於テ調製シタル機密書類ヲ保管スル場合ニ於テ陸軍機密書類ト同一程度ノ秘密ヲ要スルモノノ取扱ニ付テハ本規則ヲ準用ス
(樣式略ス)

第七編 召集

●陸軍召集令

大正三年十一月五日
勅令第二百九十九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ陸軍召集令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

陸軍召集令

第一章 總則

- 第一條 在郷軍人及國民兵ノ召集竝在郷軍人ノ簡閱ヲ呼ニ
關シテハ別ニ定ムル者ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 召集ヲ分チテ充員召集、臨時召集、國民兵召集、
演習召集、教育召集及補缺召集トス
- 第三條 召集及簡閱點呼ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外
在郷軍人及國民兵ノ本籍地所管師團長之ヲ掌ル
- 第四條 將官同相當官ニ對スル召集ノ令送ハ師團長直ニ之
ヲ行フ
- 第五條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官ハ時機切迫交通斷
絶シテ命ヲ請フコト能ハサルトキハ獨斷ヲ以テ充員召
集、臨時召集及國民兵召集ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於
テ該司令官ハ召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス
- 第六條 召集事務ニ關シ師團長ノ定メタル規程ハ地方長

官、憲兵隊長及其ノ所部ノ官吏公吏之ヲ遊行スヘシ
前項ノ規程ニシテ公示ヲ要スルモノニ付テハ明治二十六
年勅令第九十九號第一條乃至第三條ノ規定ヲ準用ス

第七條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方行政廳ノ召集事務ヲ
檢閲シ又ハ部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ召集事務
ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

第八條 召集及簡閱點呼ハ令狀ニ依リ之ヲ爲ス但シ已ムコ
トヲ得サル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ傳達
ノ方法ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

召集令狀ニハ召集部隊、到着地及到着日時ヲ指定シ點呼
令狀ニハ點呼場及到着日時ヲ指定スヘシ

演習召集又ハ教育召集中ノ者ニ對シ充員召集又ハ臨時召
集ヲ令達スルノ方法ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第九條 應召員令狀又ハ召集ノ傳達ヲ受ケタルトキハ指定
ニ從ヒ應召スヘシ

事故ニ依リ指定ニ從ヒ應召スルコト能ハサル者ニ付テハ
陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第十條 召集ニ應スル爲旅行ヲ爲ス者ニハ旅費ヲ給ス
簡閱點呼ニ參會スル者ニハ旅費ヲ給セス

第十一條 本令中在郷軍人ト稱スルハ待命休職停職、備役

後備役ノ將校同相當官准士官、豫備役後備役ノ下士兵卒、
歸休兵、補充兵及十二月一日以後ニ於テ未タ入營セサル
現役兵ヲ謂フ

第十二條 本令中國民兵ニ關スル規定ハ志願ニ依リ國民軍
編入ヲ許可セラレタル者ニ之ヲ適用ス

第十三條 本令中應召員ト稱スルハ召集ニ應スヘキ者ヲ謂
フ

第十四條 本令中郡市町村ニ關スル規定ハ各左記下欄ノ地
ニ之ヲ適用ス

郡

島司ヲ置キタル島嶼(小笠原島ヲ除ク)

島司郡長ニ準スヘキ者ノ管轄區

北海道ニ在リテハ支廳長ノ管轄區

區長ヲ以テ戸籍吏ト爲シタル市ニ在リテハ區

北海道又ハ沖繩縣ニ在リテハ區

小笠原島

島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼

ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ノ管轄區

町村

島司郡長若ハ之ニ準スヘキ者又ハ北海道廳支

廳長ノ管轄區内ニ於ケル町村長ニ準スヘキ者

ノ管轄區

第十五條 本令中聯隊區司令官、郡長、市長又ハ町村長ニ

關スル規定ハ各左記下欄ノ者ニ之ヲ適用ス

聯隊區 警備隊司令官
司令官 警備隊區司令官

島司(小笠原島司ヲ除ク)

郡長 島司郡長ニ準スヘキ者

北海道ニ在リテハ支廳長

區長ヲ以テ戸籍吏ト爲シタル市ニ在リテハ區長

北海道又ハ沖繩縣ニ在リテハ區長

市長

小笠原島司 島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼

ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者

町村長

島司郡長若ハ之ニ準スヘキ者又ハ北海道廳支

廳長ノ管轄區内ニ於ケル町村長ニ準スヘキ者

第十六條 本令中地方長官ニ關スル規定ハ東京府ニ在リテ

ハ警視總監ニ亦之ヲ適用ス

第十七條 師團長ハ本令ノ一部ヲ實施スルコト能ハサル島

嶼ニ付キ適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第十八條 朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ滿洲ニ於テ行フ

ヘキ演習召集、教育召集及簡閱點呼ニ關シテハ陸軍大臣

ノ定ムル所ニ依ル

第一款 通則

第十九條 充員召集トハ勳員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足ス

ル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第二十條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關ス

ル諸件ヲ遺漏ナク計畫準備シ召集實施ニ當リ支障ナカラ

シムルコトヲ要ス

第二十一條 地方長官ハ第六條ノ規定ニ依ル場合ノ外充員

召集ノ準備又ハ實施ニ關シ師團長ヨリ要求ヲ受ケタルト

キハ之ニ應シ又ハ自ラ召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ爲ス

ヘシ

第二款 充員召集ノ準備

第二十二條 師團長ハ要員ノ配當其ノ他充員召集ノ準備ニ

關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

聯隊區司令官ハ前項ノ達ニ基キ充員召集名簿及充員召集

令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付スヘシ

第三款 充員召集ノ實施

第二十三條 充員召集ハ勳員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十四條 師團長ハ勳員令ヲ聯隊區司令官及師團司令部

所在地外ニ在ル衛戍司令官ニ達シ且其ノ要旨ヲ關係アル

地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十五條 聯隊區司令官勳員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之

ヲ關係アル郡市長ニ送スヘシ

第二十六條 師團司令部所在地外ニ在ル衛戍司令官動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ要旨ヲ其ノ地ニ在ル憲兵分隊長又ハ憲兵分遣所長ニ通知スヘシ

第二十七條 憲兵隊長動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ衛戍地外ニ在リテ該動員ニ關係アル憲兵分隊長ニ之ヲ達スヘシ

第二十八條 地方長官動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察署長、警察分署長及區長ヲ以テ戸籍吏ト爲シタル市ノ市長ニ通知スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及警察分署長ヘノ通知ハ警視總監之ヲ爲スヘシ

第二十九條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送付スヘシ

市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ町村長前項令狀ノ送付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第四款 充員召集ノ解除

第三十條 充員召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アルトキハ復員令ニ依ラス一部ノ召集解除ヲ行フコトヲ得

第三十一條 前條ノ復員令ニ付テハ第二十四條乃至第二十

八條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 郡長復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送スヘシ

第三章 臨時召集

第三十三條 臨時召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アル場合ニ於テ臨時在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第三十四條 充員召集實施後缺員ヲ補充スル場合ヲ除クノ外臨時召集ヲ實施スヘキ時期ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三十五條 臨時召集事務ニ關シ職責アル者ハ召集實施ニ當リ支障ナカラシムル爲所要ノ準備ヲ整頓シ置クコトヲ要ス

第三十六條 師團長ハ臨時召集ノ命令ヲ聯隊區司令官ニ達シ且其ノ要旨ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第三十七條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ臨時召集令狀ヲ作り之ヲ關係アル郡市長ニ送付スヘシ郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

市町村長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條 臨時召集ニ關シテハ第二十一條及第三十條乃至第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第三十九條 國民兵召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ國民兵ヲ召集スルヲ謂フ

第四十條 國民兵召集ハ第四十七條ノ場合ヲ除クノ外動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第四十一條 師團長ハ要員ノ配當其ノ他國民兵召集ノ準備ニ關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達シ且召集スヘキ

國民兵ノ種類及年齡ヲ地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十二條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ニ基キ國民兵ノ要員ヲ各郡市ニ配當シ且必要ナル事項ヲ郡市長ニ達スヘシ

第四十三條 郡長前條ノ配當及達ヲ受ケタルトキハ各町村ニ對シ其ノ當該國民兵ノ總員ニ比例シテ要員ヲ配當シ且必要ナル事項ヲ町村長ニ達スヘシ

第四十四條 市町村長國民兵要員ノ配當及達ヲ受ケタルトキハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ應召員ヲ定メテ國民兵召集令狀ヲ作り之ヲ保管スヘシ

第四十五條 第四十條ノ動員令ニ付テハ第二十四條乃至第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長

ニ達スヘシ

市町村長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條 動員令ニ依ル國民兵召集實施ノ後缺員ヲ補充スルトキ其ノ他必要アルトキハ臨時ニ國民兵召集ヲ實施ス此ノ場合ニ於テハ第三十四條、第三十六條、第四十二條及第四十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ聯隊區司令官ハ召集ノ命令ヲ關係アル郡市長ニ達シ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市町村長ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ應召員ヲ定メテ召集令狀ヲ作り之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十八條 國民兵召集ニ關シテハ第二十一條、第三十條乃至第三十二條及第三十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條 陸軍大臣特別ノ事情ニ因リ必要アリト認ムルトキハ國民兵召集ノ手續ニ關シ臨時前九條ノ規定ト異ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

第五章 演習召集

第五十條 演習召集トハ徵兵令第十六條、第十七條及陸軍

軍人服役令第三條、第十六條ノ規定ニ依リ勤務演習ノ爲

在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

充員召集ノ演習ヲ爲スノ目的ヲ以テ實施スル演習召集ヲ

特ニ臨時演習召集ト謂フ

第五十一條 臨時演習召集ニ關シテハ陸軍大臣ノ設ケタル規定アル場合ヲ除クノ外第二章第三款及第四款ノ規定ヲ準用ス

第五十二條 演習召集ノ召集部隊ハ在郷軍人本籍地師管内ニ在ル部隊トス但シ其ノ師管内ニ演習ヲ爲スヘキ部隊ナキトキハ他ノ師管内ニ在ル部隊トス
他ノ師管ニ寄留スル者ハ勤務演習ノ爲寄留地師管内ニ在ル部隊ニ之ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ召集ハ寄留地所管師團長之ヲ掌ル

一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入りタル者ヲ士官ニ任スル爲ニ行フ勤務演習ノ召集部隊及近衛師團ニ召集スヘキ者ニ關シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條 師團長ハ演習召集ノ期日、人員、部隊及日數ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及兵隊長ニ通知スヘシ

第五十四條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付スヘシ

郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ
市町村長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付

シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第六章 教育召集

第五十五條 教育召集トハ教育ノ爲未タ教育セサル補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第五十六條 教育召集ニ關シテハ第五十二條第一項第三項、第五十三條及第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第七章 補缺召集

第五十七條 補缺召集トハ平時ニ於テ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ臨時歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ

第五十八條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ命ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ得テ師團長之ヲ行フ

第五十九條 師團長ハ補缺召集ノ期日、人員及部隊ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第六十條 補缺召集ニ關シテハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第八章 簡閱點呼

第六十一條 簡閱點呼トハ豫備役後備役ノ下士兵卒、歸休兵及補充兵ヲ參會セシメテ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第六十二條 簡閱點呼ハ在郷軍人本籍地師管ニ於テ之ヲ行フ
他ノ師管ニ寄留スル者ノ簡閱點呼ハ寄留地師管ニ於テ之

ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ簡閱點呼ハ寄留地
所管師團長之ヲ掌ル

第六十三條 陸軍大臣ハ簡閱點呼ノ執行ヲ要セスト認メタ
ル者ニ對シテハ其ノ執行ヲ免除スルコトヲ得

第六十四條 僻陬ノ地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ者僅少
ナルトキ其ノ他已ムコトヲ得サル場合ニ在リテハ師團長
ハ簡閱點呼ヲ省略スルコトヲ得

第六十五條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期ヲ定メ之ヲ聯隊區司
令官ニ達シ且部下ノ將校ニ簡閱點呼執行官ヲ命スヘシ

第六十六條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ點呼
場、點呼區域及點呼日割ヲ定メテ師團長ノ認可ヲ受ケ之
ヲ地方長官、憲兵隊長、簡閱點呼執行官及郡市長ニ通知
スヘシ

第六十七條 地方長官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警
察署長及警察分署長ニ通知スヘシ但シ東京府ニ在リテハ
警視總監之ヲ通知スヘシ

郡長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ通知スヘ
シ

憲兵隊長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ
達スヘシ

第六十八條 聯隊區司令官ハ第六十五條ノ達ニ基キテ點呼

令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付シ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付
シ町村長ハ簡閱點呼ヲ受クヘキ者ニ該令狀ヲ交付シ又
ハ點呼傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 令狀又ハ點呼ノ傳達ヲ受ケタル者ハ指定ニ從
ヒ簡閱點呼ヲ受クヘシ

第七十條 郡市町村長ハ簡閱點呼ニ參列シ簡閱點呼執行官
ノ要求アルトキハ其ノ事務ヲ補助スヘシ

郡市町村長ハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

附 則 本令ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師
團長ハ必要ト認ムルトキハ本令ノ一部ニ付キ五月以内仍從
前ノ規定ニ依ルコトヲ得

陸軍召集條例及明治四十三年勅令第百八十三號ハ之ヲ廢止
ス

陸軍召集令施行細則

大正二年十一月五日
陸軍省令第十一號

(一部改正)大正六年二月陸軍省令第三號

陸軍召集令施行細則左ノ通定ム

第一章 總 則

第一條 郡市町村長ハ充員召集、臨時召集及國民兵召集ニ關シ各召集實施業務書ヲ作り之ニ動員又ハ召集實施ニ當リ各業務擔當者ノ行フヘキ業務ヲ記入スヘシ
前項ノ業務書ハ業務擔當ノ區分毎ニ別冊ト爲シ各業務擔當者カ動員若ハ召集實施ニ當リ他ノ條規表而等ヲ參照セサルモ其ノ業務ヲ實施シ得ヘク且業務擔當者ノ臨時交代スルコトアルモ業務ノ實施ニ支障ナキ如ク調製スヘシ
召集實施業務書ニハ召集事務以外ノ動員ニ關スル事務ヲ記入スルコトヲ得

憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長モ亦前各項ニ準シ召集實施業務書ヲ調製スヘシ

第二條 市町村長ハ在郷軍人名簿(第一様式)及第一國民兵名簿(第一様式ニ準ス)ヲ調製スヘシ

第三條 召集擔任ノ官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正シ諸官衙公署ニ關係アルモノハ其ノ異動ヲ該官衙公署ニ報告又ハ通報スヘシ

充員召集、臨時召集及國民兵召集ニ當リ使用スル爲準備セル各種用紙及簿表ニハ平時ニ於テ記入シ得ヘキ不動ノ文字ハ悉ク記入シ置キ且使用ノ目的及記入ノ方法ヲ詳記セル凡例ヲ添付シ置クヲ要ス

第四條 動員令ノ傳達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用フルモノトス但電話ヲ以テ豫報スルコトヲ得
動員令ノ傳達及其返信ノ爲發スル電報(第二様式)ハ之ヲ第一種及第二種ニ分チ聯隊區司令官ヨリ郡市長ニ發スルモノ及其返電國民兵召集ニ於テ郡長ヨリ町村長ニ發スルモノ及其返電ヲ第一種ト爲シ其他ノモノヲ第二種ト爲ス

動員令ヲ使丁ヲ以テ傳達スルトキ(第三様式)ノ行進速度ハ一時間一里ヲ以テ基準トス

電話ヲ以テ動員令ヲ豫報シタルトキト雖電信又ハ使丁ニ依ル傳達ヲ遅延スルコトヲ得ス

陸軍召集令第二十八條ノ規定ニ依ル動員令ノ通知ハ迅速ト確實トヲ害セサル限リ電話ノミヲ以テスルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送話者並受話者ハ送受話ノ全文、通話者相互ノ氏名及通話ヲ終リタル日時ヲ筆記シ置クヲ要ス
師團長ヨリ師團司令部所在地外ノ聯隊區司令官ニ動員令ヲ傳達スルニ當リテハ衛戍司令官アル地ニ在リテハ該官ヲ經由スルモノトス又憲兵分隊長、同分遣所長ニ對スル動員令ノ傳達ニ關シ規定ナキモノニ付テハ師團長之ヲ定ムヘシ

第五條 郡市長聯隊區司令官ヨリ電信ヲ以テ動員令ヲ達セ

ヲレタルトキ及國民兵召集ニ於テ町村長郡長ヨリ電信ヲ以テ動員令ヲ達セラレタルトキハ直ニ其ノ電報ノ全文ヲ返電スヘシ其ノ他ノ者(別ニ規定アル者ヲ除ク)ニシテ電信又ハ電話ヲ以テ動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ全文ヲ文書ヲ以テ返報スヘシ

第六條 充員召集令狀及臨時召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ同令狀及國民兵召集令狀ヲ市町村長ヨリ各人ニ交付スルニハ使丁ヲ用フルモノトス其ノ行進速度ノ基準ハ第四條第三項ニ同シ

第七條 充員召集、臨時召集及國民兵召集ノ實施ニ當リ其ノ事務ニ係ル文書(令狀ヲ除ク)ヲ發送スルニハ動員用封筒(第四様式)ヲ用フヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位置ニ受領日時ヲ記入シ記名捺印ノ上返付スヘシ
令狀ヲ市町村長ヨリ各人ニ交付スルニハ總テ封筒ヲ用ヒサルモノトス

郡長令狀ヲ町村長ニ送付スルニ當リテハ令狀送付證(第五様式)ヲ添付スヘシ

第八條 市町村長ハ其ノ所管外ニ在郷軍人又ハ國民兵ノ轉籍シタル者アルトキハ在郷軍人ニ在リテハ本人ニ關スル在郷軍人名簿調製上必要ナル事項ヲ又第二國民兵ニ在リ

テハ單ニ該兵役ニ在ル旨ヲ轉籍地市町村長ニ通知シ第一國民兵ニ在リテハ其ノ戰時名簿ヲ送付スヘシ

第九條 聯隊區司令官ハ演習召集、教育召集、補缺召集及簡閱點呼ノ令狀交付濟ノ者ニシテ召集又ハ簡閱點呼期日以前ニ所管外ニ轉籍シタル者アルトキハ其ノ旨ヲ轉籍地所管聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十條 應召員ノ到著スル地ニ召集事務所ヲ設ケ

第十一條 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長ハ各種召集ノ實施及解除並簡閱點呼ノ執行ニ際シ違令者ナカラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要アルトキハ其ノ狀況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第十二條 應召員及簡閱點呼ニ參會スヘキ者ノ差出スヘキ願届書ニ添付スル醫師ノ診斷書ニハ病名、原因、經過、現症、豫後、療法ヲ詳記シ自己ノ傷痍疾病ニ係ル診斷書ニ在リテハ特ニ到着地又ハ點呼場ニ到ルコト能ハサル理由ヲ明カナラシムルヲ要ス

第十三條 師團長、地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長陸軍召集令第七條ノ檢閲ヲ爲シタルトキ及爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

地方長官及憲兵隊長ハ前項ノ報告ト同時ニ其ノ地所管ノ

師團長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條 師團長召集事務ニ關シ規程ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規程ヲ公示シタルトキ亦同シ

第十五條 本則中何日迄ニ、何日以内ニ又ハ前何日ニ達、通知、送付、差出、報告スヘシトアルハ到達ノ期日ヲ謂フ

第十六條 陸軍召集令中第十一條乃至第十七條ノ規定ハ本則ニ亦之ヲ準用ス

本則中召集通報人ト稱スルハ應召員寄留旅行等ノ爲不在ナルトキ之ニ召集其ノ他軍衙ノ命ヲ傳達スヘキ者タルコトヲ聯隊區司令官ニ届出アタル者ヲ謂フ

第二章 充員召集

第一款 充員召集ノ準備

第十七條 聯隊區司令官ハ充員召集名簿及令狀ヲ郡市長ニ送付シタル後該名簿及令狀ニ異動アルトキハ其ノ都度之ヲ通知シ異動ニ伴ヒ必要ナル令狀ヲ送付スヘシ

第十八條 郡市長聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿及元員召集令狀 第六様式ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ充員召集名簿ニ照校シ市長ニ在リテハ更ニ之ヲ在郷軍人名簿ニ照校シ動員ノ區分ニ從ヒ（郡長ニ在リテハ先ツ動員ノ區分ニ

分チ更ニ之ヲ町村毎ニ區分シ）各別ニ袋ニ納レ保管スヘシ

第十九條 郡市長聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿異動ノ通知及其ノ異動ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ（市長ニ在リテハ先ツ令狀ヲ在郷軍人名簿ニ照校シタル後）充員召集名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ
前項ニ依リ訂正ノ結果不要トナリタル令狀アルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第二十條 郡市長在郷軍人ノ死亡其ノ他異動ノ届書又ハ報告ヲ受ケタルトキハ充員召集名簿及充員召集令狀ヲ訂正シ其ノ届書又ハ報告ハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付スヘシ
前項異動ノ結果不要トナリタル令狀ハ届書又ハ報告ニ添ヘ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

市長ハ在郷軍人ニシテ本籍地外ニ寄留又ハ旅行中ノ者アルトキハ召集通報人ノ住所氏名ヲ記シタル紙片ヲ充員召集令狀ニ貼附シ置キ復歸シタルトキ之ヲ除去スヘシ

第二十一條 郡市長ハ演習召集、教育召集中ノ者及短期在營ノ現役兵ニシテ入營中ノ者ノ充員召集令狀ニ其ノ召集又ハ入營期間青色紙（解除又ハ退營期日ヲ記入ス）ヲ符箋シ置クヘシ

第二十二條 地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ師

團長ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ警察署長及同分署長ニ指示シテ召集事務所其ノ他必要ナル地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在リテハ警察官吏ヲシテ豫メ之ト協議セシムヘシ

第二十三條 憲兵隊長ハ師團長ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ憲兵分隊長ニ指示シテ召集事務所其ノ他必要ナル地ニ部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ召集部隊所在地ニ在リテハ該部隊長ト協議セシムヘシ

第二款 充員召集ノ實施

第二十四條 郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ニ該當スル充員召集令狀欄外記載ノ到着日次ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ之ヲ令狀表面到着日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第二十五條ノ規定ニ準シ之ヲ各人ニ交付スヘシ但シ第二十一條ノ規定ニ依リ青色紙ヲ符箋シアル令狀ハ交付セサルモノトス
汽車汽船ニ乗ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第二十五條 町村長郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ在郷軍人名簿ニ照校シ鐵道乗車證明書ヲ添ヘ直ニ之ヲ應召員ニ交付スヘシ

町村長ハ應召員不在ノ時之ニ令狀ヲ交付スルコト能ハサルトキハ召集通報人ニ交付シ召集通報人ヲ設ケサル不在者アルトキ又ハ召集通報人不在ナルトキハ其ノ戸主又ハ家族中家事ヲ擔當スル者ニ交付スヘシ

町村長ハ應召員又ハ前項ノ受領人不在ナルトキハ適當ノ方法ニ依リ應召員ニ令狀ヲ交付シ又ハ召集ノ旨ヲ傳達スヘシ

第二十六條 令狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ該令狀ニ添付シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印(應召員ニ代リ受領シタル者ハ記名捺印)シ直ニ之ヲ返付スヘシ

第二十七條 應召員ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊、到着地及到着日時ヲ本人ニ通報、到着遅延ノ虞アル場合其ノ他必要ナル場合ニ於テハ電信ヲ以テシ)其ノ令狀ヲ速ニ交付スルノ處置ヲ爲スヘシ

第二十八條 應召員令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到リ召集事務所ニ届出ツヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受ケル爲到着遅延ノ虞アル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルヲ要セス令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタル日時ノ關係上指定ノ日時ニ到着地ニ到ルコト能ハサル者ハ所在地ノ憲兵又ハ警察

官吏ニ就キ令狀又ハ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到著ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第二十九條 應召員中令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領セル際傷疾疾病ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ令狀及醫師ノ診斷書ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差出スヘシ

應召員中傳染病豫防ノ爲交通遮斷隔離又ハ停留ヲ命セラレ到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差出スヘシ
令狀又ハ通報受領後出發迄ノ間ニ於テ前二項ノ事故ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサルニ至リタル者ハ直ニ前二項ノ手續ヲ爲スヘシ

前三項ノ場合ニ於テ寄留地又ハ旅行先ヨリ届出ヲ爲ス者ハ其ノ届書ニ第一項ノ診斷書又ハ第二項ノ證明書及令狀ヲ添ヘ直ニ本籍地市町村長ニ宛テ發送スヘシ
犯罪又ハ所在不明等ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ア

ルトキノ令狀ヲ受領シタル者ヨリ聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀受領後二十四時間以内ニ本籍地市町村長ニ差出スヘシ

第一項乃至第四項ノ手續ヲ爲スニ當リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ其ノ令狀ヲ差出スヘシ

第三十條 前條ノ場合ニ於テ到着地ニ到ルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地市町村長ニ届出ツヘシ

第三十一條 應召員途中ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到着遅延ノ虞アルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ直ニ召集部隊長ニ届出テ出發シ得ルニ至レハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

傷疾疾病ノ外已ムコトヲ得サル事故ニ因リ到着遅延ノ虞アルトキハ其ノ地ノ郡市町村長、憲兵、警察官吏、船長、又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到著ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第三十二條 應召員非常事變ニ因リ交通遮斷シタル爲到著地ニ到ルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ最寄部隊（部隊ナキ地ニ在リテハ郡市町村長、憲兵又ハ警察官吏）ニ届出

ツヘシ

第三十三條 前條ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處置ヲ爲シ本人ヲシテ到着地ニ到着セシメ得ルニ至レハ證明書ヲ與ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到着スヘキ者ニ在リテハ直ニ召集部隊ニ到着セシムヘシ

第三十四條 令狀(交付スルコト能ハサル令狀ヲ除ク)ノ交付ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ發送及交付ヲ終リタル月日時及交付人員ヲ市長ハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名住所及其ノ召集部隊ヲ速ニ憲兵及警察官吏(憲兵ノ無キ地ニ在リテハ警察官吏ノミ以下同シ)ニ通知スヘシ全家所在不同等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名住所及事由ヲ市長ハ聯隊區司令官、憲兵及警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

前三項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前項ニ準シ報告及通知スヘシ

第三十五條 市町村長傷痍疾病、傳染病豫防、犯罪、所在不明等ノ爲到着地ニ到ルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メ市長ハ聯隊區司

令官ニ送付シ町村長ハ郡長ニ差出シ又其ノ人名住所及事由ハ之ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第三十六條 事故ノ爲到着地ニ到ルコト能ハサリシ應召員ヨリ事故止ミタル旨ノ届出アリタルトキハ直ニ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十七條 全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀アルトキハ市長ハ召集期日後十四日以内ニ之ヲ聯隊區司令官ニ送付シ町村長ハ召集期日後七日以内ニ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第三十八條 市町村長ハ令狀ノ受領證ヲ編綴シ召集期日後六月間保存ノ上之ヲ焼却スヘシ

第三十九條 郡長第三十四條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時及交付人員並各町村中令狀ノ交付ヲ終リタル最終ノ月日時ヲ直ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十條 郡長第三十四條第三項第四項及第三十五條ノ規定ニ依ル報告、届書及令狀ヲ受ケタルトキハ毎日之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第四十一條 郡長第三十六條ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十二條 郡長第三十七條ノ規定ニ依ル令狀ヲ受ケタル

時ハ召集期日後十四日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ
 第四十三條 郡市長ハ第廿四條第一項但書ニ依リ交付セサル令狀アル時ハ第卅四條第一項又ハ第卅九條ノ規定ニ依ル通知ト共ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ但郡長ニ在テハ其人名(短期在營ノ現役兵ヲ除ク)ヲ町村長ニ達スヘシ
 第四十四條 聯隊區司令官ハ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名(郡ニ在リテハ町村毎ニ分チ)ヲ郡市長ニ通知スヘシ

郡長ハ前項ノ人名ヲ直ニ町村長ニ達シ且其ノ理由ヲ調査シ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

市町村長第一項ノ通知又ハ前項ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名ヲ直ニ憲兵及警察官吏ニ通知シ且市長ニ在リテハ其ノ理由ヲ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十五條 聯隊區司令官ハ第三十六條又ハ第四十一條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ更ニ令狀ヲ調製シ之ヲ各人ニ交付スヘシ其ノ交付ノ方法ニ關シテハ第三章ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長ハ動員令ノ達又ハ通知ヲ受ケタルトキハ豫定ノ召集事務所其ノ他必要ノ地ニ部下憲兵警察官吏ヲ派遣シ應召員等ノ取締ニ任シ且之ニ所要ノ便宜ヲ與ヘシムヘシ但シ其

ノ事務ノ執行ニ關シテハ當該召集部隊長又ハ召集事務取扱者ト協議シ又停車場司令部ノ設ケアル停車場ニ在リテハ該司令官ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

第三款 充員召集ノ解除

第四十七條 地方長官、憲兵隊長及聯隊區司令官復員令ヲ通達スルニハ電信ヲ用ヒス電話、使丁又ハ郵便ニ依ルヲ例トス但シ電話ヲ以テ通達スル場合ニ在リテハ第四條第五項ノ規定ヲ準用ス

第四十八條 復員令ニ依ラスシテ充員召集ヲ解除スヘキ時期ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外陸軍大臣之ヲ定ム

第四十九條 聯隊區司令官ハ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

郡長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ市町村長第一項ノ通知又ハ前項ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及住所ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第五十條 召集ヲ解除セラレタル者ハ其ノ解除セラレタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地ニ歸郷セサルトキハ本籍地市町村ニ於テ召集其他軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者(成年者ニ限ル)ヲ定メ連署ヲ以テ同期日以内ニ本籍地町村長及郡長又ハ市長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ツヘシ前項ニ依リ届出タル通報人死亡其他ノ事故ニ依變更ヲ要

スル時ハ前項ニ準シ通報人ヲ定メ十四日以内ニ届出ヘシ

第三章 臨時召集

第五十一條 郡市町村長ハ平時ヨリ臨時召集令狀ヲ成ルヘク速ニ送付又ハ交付スヘキ準備ヲ整頓シ置キ令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ郡長ニ在リテハ之ヲ町村長ニ送付シ市町村長ニ在リテハ第二十五條ノ規定ニ準シ之ヲ各人ニ交付スヘシ

第五十一條ノ二 聯隊區司令官ハ演習召集又ハ教育召集中臨時召集ヲ命セラレタル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知シ郡長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第五十二條 郡市長ハ充員召集名簿ニ記載シアル者ニシテ臨時召集ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ充員召集令狀ヲ直ニ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第五十三條 臨時召集ニ關シテハ第廿六條乃至第四十二條第四十四條第四十五條第四十七條乃至第五十條ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第五十四條 聯隊區司令官ハ第一國民兵役ニ轉入スヘキ者ノ人名書ヲ毎年十月三十一日迄ニ郡市長ニ送付スヘシ

第五十五條 郡長前條ノ人名書ヲ受ケタルトキハ十一月十日迄ニ、又第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第五十六條

市町村長第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ之ニ依テ其ノ人名及其ノ他ノ事項ヲ第一國民兵名簿ニ追記シ異動アル毎ニ戰時名簿ヲモ訂正スヘシ

第五十七條 郡長國民軍編入ヲ許可シタル指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第五十八條 市町村長國民軍編入ヲ許可シタル指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第五十九條 市町村長ハ國民兵ノ現在員及國民兵役ニ轉入スヘキ者ニ基キ國民兵人員表(第七様式)及退役將校名簿(第八様式)ヲ作り市長ハ十二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ、町村長ハ十一月三十日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

第六十條 郡長ハ前條ノ規定ニ依ル人員表及名簿ニ基キ其ノ管内ニ在籍スル者ノ國民兵人員表及退役將校名簿ヲ作り十二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第六十一條 退役將校名簿ニ異動(年齢滿タル爲國民兵役ヨリ退ク者ニ關スル者ヲ除ク)ヲ生シタル時ハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ郡長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十二條 市町村長陸軍召集令第四十二條又ハ第四十三

條ノ規定ニ依ル配當及達ヲ受ケタルトキハ國民兵召集令狀(第九様式)ト共ニ國民兵召集名簿(第十様式)ニ通テ調製シ令狀ハ師團長ノ指定ニ從ヒ區分シテ之ヲ保管シ名簿ノ内一通ニ應召員ノ戰時名簿ヲ添ヘ市長ニ在リテハ聯隊區司令官ニ在リテハ郡長ニ差出スヘシ

第六十三條 郡長前條第一項ノ規定ニ依ル國民兵召集名簿及應召員ノ戰時名簿ヲ受領シタルトキハ直ニ之ヲ聯隊區司令官ニ差出シ同第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ同官ニ通知スヘシ

第六十四條 市長ハ聯隊區司令官、町村長ハ郡長ヨリ國民兵動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ通知ニ係ル到著日次ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ令狀表面到著日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ第二十五條ノ規定ニ準シ直ニ之ヲ各人ニ交付スヘシ

汽車汽船ニ乗ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第六十五條 動員令ニ依リ實施スヘキ國民兵召集ニ關シテハ第二十二條、第二十三條及第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條 陸軍召集令第四十七條ノ規定ニ依リ臨時ニ國民兵召集ヲ實施スル場合ニ於テハ市町村長ハ聯隊區司令官又ハ郡長ヨリ選スル召集ノ命令ニ依リ國民兵召集令狀ト共ニ國民兵召集名簿ニ通テ作り令狀ハ第二十五條ノ規定ニ準シテ直ニ之ヲ各人ニ交付シ該名簿ノ内一通ニ應召員ノ戰時名簿ヲ添ヘ市長ニ在リテハ聯隊區司令官ニ、町村長ニ在リテハ郡長ニ差出シ郡長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第六十七條 國民兵召集ニ關シテハ第二十六條乃至第三十六條、第三十八條乃至第四十一條、第四十四條及第四十七條乃至第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五章 演習召集、教育召集

第六十八條 師團長ハ演習又ハ教育ノ爲召集スヘキ者ノ兵科部、階級及役種年級等ニ關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

聯隊區司令官ハ前項ニ該當スル者ヲ調査シ其ノ管内ニ本籍ヲ有スル者及寄留ノ者ヲ區別シタル人員(將校同相當官及士官ニ任スル爲ニ行フ勤務演習ニ召集スヘキ者ニ付テハ人名以下同シ)ヲ師團長ニ報告スヘシ

師團長ハ前項ノ報告ニ基キ少クモ召集期日前三十日ニ召集日時、役種、兵科部、階級、人員及部隊ヲ定メ日數ト

共ニ之ヲ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

第六十九條 師團長其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前條第一項及第三項ノ規定ニ依ル達ヲ爲サムトスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知シ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ又聯隊區司令官ノ報告ハ所管師團長ニ差出スヘシ該師團長ハ之ヲ召集部隊所管ノ師團長ニ送付スヘシ爾後ニ於ケル本籍地所管聯隊區司令官ト召集部隊所管師團長間ノ通報等ハ必要ナルモノニ限リ本籍地所管師團長ヲ經由スヘシ

第七十條 師團長ハ其ノ師管内ニ演習又ハ教育ヲ爲スヘキ部隊無キ爲他ノ師管内ノ部隊ニ召集スヘキ者アルトキハ該召集部隊所管ノ師團長ニ協議シテ召集日時等ヲ定メ第六十八條第一項及第三項ノ例ニ依リ聯隊區司令官ニ達シ召集部隊所管ノ師團長ハ之ヲ該部隊長ニ達スヘシ

第七十一條 師團長士官ニ任スル爲ニ行フ勤務演習ニ召集スヘキ者ノ中他ノ師管ニ居住スル者ヲ召集スルニハ召集ノ日時、人名及部隊ヲ定メ日數ト共ニ少クモ召集期日前三十五日ニ本人本籍地所管ノ師團長ニ通知スヘシ、本籍地所管ノ師團長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ但シ本人ノ居住地本籍地師管ナラサルトキハ之ヲ其ノ居住地所管ノ師團長ニ通知シ該師團

長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十二條 聯隊區司令官第七十一條第二項但書ノ場合ニ在リテハ本人ノ居住地所管ノ聯

隊區司令官ハ第六十八條乃至第七十一條ノ規定ニ依ル達ニ基

キ演習(教育)召集名簿(第十樣式)ニ通及演習(教育)召集

令狀(第十二樣式)ヲ作り令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ送付シ

名簿ハ召集期日前日迄ニ之ヲ召集部隊長ニ送付スヘシ

前項ノ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該

名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ

必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第七十三條 師團長ハ到著期日ノ延期又ハ事故ニ因ル應召

遅延ノ者ノ最終ノ到著期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ

應召員中途中ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到著遅延ノ者アリタ

ルトキ之ニ歸郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達

スヘシ

第七十四條 師團長及聯隊區司令官ハ到著期日ノ延期ヲ許

可スルニ當リ其ノ期ノ召集ニ應セシメサル者ノ指令ニハ

令狀ヲ市町村長ニ返付スヘキコトヲ附記スヘシ

第七十五條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル

者ヲ召集セムトスルトキハ召集ノ期日、日數及部隊ヲ寄

留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官

ニ通知スヘシ

聯隊區司令官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ將校同相當官ニ關スル事項ニ限り師團長ニ之ヲ報告スヘシ

第七十六條 應召員中傷痍疾病、犯罪、所在不明等ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ應召員又ハ之ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ聯隊區司令官ニ宛テタル届書及令狀ヲ令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領シタル日ヨリ七日以内ニ（其ノ以後ニ事故發生シタルトキハ直ニ又令狀若ハ通報受領後七日以内ニ應召スヘキ者ハ到著日時迄ニ）本籍地市町村長（寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ寄留地市町村長）ニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ、犯罪、所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ
前項ノ手續ヲ爲スニ當リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後ニ之ヲ差出スヘシ

第七十七條 前條ノ場合ニ於テ到著地ニ到ルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地市町村長（寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ寄留地市町村長）ニ届出ツヘシ

第七十八條 應召員中父母妻子ノ疾病危篤又ハ死亡ノ爲到著期日ノ延期ヲ出願セムトスル者ハ上長官以上ニ在リテハ師團長其ノ他ニ在リテハ聯隊區司令官ニ宛テタル願書

ヲ市町村長ニ差出スヘシ但シ父母妻子ノ疾病危篤ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、死亡ニ係ルトキハ市町村長又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ前項ノ願書ハ寄留地所管師團長又ハ同聯隊區司令官ニ宛テ寄留地市町村長ニ差出スヘシ

到著期日ノ延期ヲ出願シタル後ト雖別ニ指令ナケレハ指定ノ日時ニ應召スヘシ

第七十九條 聯隊區司令官郡市町村長ヨリ第七十七條ノ規定ニ依ル届出ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ第七十三條ノ規定ニ依ル最終到著期日以内ニ到著セシメ得ル者ニ在リテハ更ニ令狀ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ其ノ交付ニ關シテハ本章ノ規定ヲ準用ス

第八十條 第七十八條ノ規定ニ依ル願書ヲ受ケタルトキハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

郡長前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第八十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到著シタルトキハ直ニ身體検査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記入シ其ノ一通ヲ召集

期日後三日以内ニ聯隊區司令官ニ宛テ發送スヘシ
傷痍疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ニハ歸郷ヲ命
シ現役ニ堪ヘサル者、現役豫備役後備役ニ堪ヘサル者、
豫備役及後備役ニ堪ヘサル者、補充兵役ニ堪ヘサル者又
ハ永久服役ニ堪ヘサル者ニ在リテハ召集期日後三日以内
ニ其ノ診斷書ヲ聯隊區司令官ニ宛テ發送スヘシ

召集期日後到著シタル者ノ取扱ニ關シテハ前二項ノ規定
ニ準ス但シ名簿發送後ナルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司
令官ニ通知スヘシ

第八十二條 召集部隊長ハ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ
罹リ第七十三條ノ規定ニ依リ師團長ヨリ達セラレタル期
日以内ニ到著スルコト能ハサル者アリタルトキハ之ニ歸
郷ヲ命シ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十三條 聯隊區司令官召集名簿中ニ他ノ聯隊區（警備
隊區ヲ含ム以下同シ）ニ本籍ヲ有スル者アリタルトキハ
第八十一條及第八十二條ノ規定ニ依ル通知ニ基キ其ノ應
召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知ス
ヘシ

本籍所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名、召集期
日、日數及召集部隊ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命

セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ届書
ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第八十五條 郡市長前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキ
ハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ其ノ應召セサル者ノ中
届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ
前項應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ニ在リテハ郡市
長其ノ理由ヲ調査シ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十六條 町村長前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ
其ノ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ憲兵及
警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニ休暇ヲ許可スルニ
當リ其ノ休暇中ニ召集ノ解除ヲ爲スヘキ者アルトキハ直
ニ召集ヲ解除スヘシ

第八十八條 師團長ハ進級ノ爲又ハ其ノ他ノ理由ニ因リ召
集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ
本人ニ達セシムヘシ

第八十九條 召集部隊長ハ召集ノ期限滿了シタルトキハ召
集ヲ解除スヘシ

第九十條 召集部隊長令狀ニ指定セル期日以外ノ期日ニ召
集ヲ解除シタルトキハ其ノ人名及事由ヲ聯隊區司令官ニ
通知スヘシ但シ令狀ニ指定スル期日以後ニ召集ヲ解除ス

ル者（令狀指定ノ期日ニ召集ヲ解除スルモ歸郷セシメサル者ヲ含ム）ニ在リテハ一般ノ解除ニ際シ其ノ人名事由及解除期日ヲ通知シ其ノ召集ヲ解除（召集解除後ノ者ニ歸郷ヲ命スルヲ含ム）スルトキ更ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第九十一條 聯隊區司令官ハ召集ヲ解除（召集解除後ノ者ニ歸郷ヲ命スルヲ含ム）セラレタル者アルトキハ其ノ旨（要スレハ事由モ共ニ）ヲ郡市長ニ通知スヘシ但シ他ノ聯隊區ニ本籍ヲ有スル者ニ關シテハ同時ニ之ヲ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第九十二條 聯隊區司令官第九十條但書ノ者ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ準シ之ヲ通知スヘシ

第九十三條 郡長前二條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第九十四條 召集解除又ハ歸郷ヲ命セラレタル者ニシテ其ノ解除又ハ歸郷ヲ命セラレタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地（寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ該寄留地）ニ歸還セサル者ニハ第五十條ノ規定ヲ準用ス但シ寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ召集通報人ハ寄留地市町村ニ於テ之ヲ定メ寄留地町村長及郡長又ハ市長ヲ經テ寄留地所管聯隊區司令官ニ届出ツルモノトス

第九十五條 演習召集及教育召集ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條、第二十八條第一項第二項、第三十一條第一項第二項、第三十四條（第二項ヲ除ク）第三十五條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

市長令狀ヲ各人ニ交付スルノ方法ニ付テハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス

第六章 補缺召集

第九十六條 師團長補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ徵集年、兵科部、等級、人員、召集部隊及到着日時ヲ定メ之ヲ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サムトスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第九十七條 聯隊區司令官前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ補缺召集名簿（第十一様式ニ準ス）及補缺召集令狀（第十二様式ニ準ス）ヲ作り令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ、名簿ハ召集期日前日迄ニ召集部隊長ニ送付シ且充員召集名簿ヲ訂正スヘシ

前項ノ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ之ヲ記入シ爾後ニ生シタル異動ニ

シテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ
 第九十八條 補缺召集ニ關シテハ第廿五條乃至第廿七條、
 第廿八條第一項第二項、第卅一條第一項第二項、第卅四
 條(第二項ヲ除ク)第卅五條乃至第四十二條、第五十二條、
 第七十三條、第七十四條、第七十六條乃至第八十二條、
 第八十四條乃至第八十六條及第九十四條ノ規定ヲ準用ス
 市長令狀ヲ各人ニ交付スルノ方法ニ付テハ第二十五條ノ
 規定ヲ準用ス

第七章 簡閱點呼

第九十九條 一年志願兵ニシテ第二次勤務演習ヲ終リ少尉
 同相當官ニ任セラルル資格ヲ具ヘタル者ノ簡閱點呼ハ之
 ヲ免除ス

第九十九條ノ二 未タ教育セサル補充兵ノ簡閱點呼ヲ執行
 スル年次ハ別ニ之ヲ定ム

第一百條 充員召集、臨時召集、演習召集又ハ教育召集ノ解
 除 應召當日ノ歸郷ヲ含ム、歸休現役又ハ就職滿期等ニ依
 リ陸軍軍隊、官衙又ハ學校ヨリ歸郷シタル者ハ其ノ年ニ
 限リ簡閱點呼ヲ免除ス

第一百一條 師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令
 官ニ達スヘシ

第一百二條 師團長ハ簡閱點呼執行官ニ聯隊區司令部書記一

名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

第一百三條 師團長ハ陸軍召集令第六十四條ノ規定ニ依リ簡
 閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ省略地名及其ノ在郷軍人
 ノ數等ヲ具シ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第一百四條 聯隊區司令官點呼場、點呼區域及點呼日割ヲ定
 ムルニハ各點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半
 日間ニ點呼ヲ結了スル如クスルヲ要ス

陸軍召集令第六十六條ノ規定ニ依ル通知ハ點呼開始前三
 十日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第一百五條 陸軍召集令第六十八條ノ規定ニ依ル點呼令狀ハ
 第十三様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第一百六條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼
 名簿 未タ教育セサル補充兵ト其他ノ者トヲ區分ス、ヲ作
 リ簡閱點呼執行官ニ送付シ爾後異動ヲ生シタルトキハ其
 ノ都度之ヲ同官ニ通知スヘシ

前項ノ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スルモ妨
 ナシ

第一百七條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除ヲ受ケタル者ハ未タ
 教育セサル補充兵ニシテ簡閱點呼執行年次ニ該當セサル
 爲メ免除セラレタル者ヲ除ク)アルトキハ令狀ノ交付ヲ
 終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第一百八條 (削除)

第一百九條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到著シ簡閱點呼執行官ニ届出ツヘシ

第一百十條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷疾疾病、犯罪、所在不明等ノ爲參會スルコト能ハサル者ハ本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄ニ簡閱點呼執行官ニ宛テタル届書及令狀ヲ本籍地市町村長(寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ寄留地市町村長)ニ差出スヘシ但シ傷疾疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、犯罪所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

第一百十一條 市町村長前條ノ規定ニ依ル届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メ其ノ人名及事由ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第一百十二條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ點呼開始迄ニ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ但シ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタルモノハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第一百十三條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ當リ在郷軍人名簿ヲ携帯スヘシ

第一百十四條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ身上ニ關スル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要ノ訓示ヲ與フヘシ

第一百十五條 遲參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ更ニ參會ヲ命スルコトヲ得

第一百十六條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條及第三十八條ノ規定ヲ準用ス

市長令狀ヲ各人ニ交付スルノ方法ニ付テハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス

第八章 罰則

第一百十七條 正當ノ事由ナクシテ第二十六條、第二十七條、第二十八條第二項、第二十九條第一項乃至第五項、第三十一條第一項第二項、第三十二條、第七十六條第一項、第七十七條、第一百十條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處ス

第一百十八條 正當ノ事由ナクシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ三日以上ノ拘留又ハ三圓以上ノ科料ニ處ス

第一百十九條 正當ノ事由ナクシテ第三十條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ二月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ十日以上ノ
拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處ス

附則

本則ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師團長ハ必
要ト認ムルトキハ本則ノ一部ニ付五月以内仍從前ノ規定ニ
依ルコトヲ得

陸軍召集條例施行細則ハ之ヲ廢止ス

(様式略ス)

●簡閱點呼執行規則

大正六年三月七日
陸達第九號

簡閱點呼執行規則左ノ通改正ス

簡閱點呼執行規則

第一條 簡閱點呼ノ目的ハ在郷軍人一般ノ狀態特ニ軍人精
神及軍事教育保持ノ程度、軍事思想普及ノ程度、健康狀
態並服役上ノ義務履行ノ確否等ヲ查閱シ之ニ所要ノ教訓
ヲ與ヘ以テ在郷軍人ヲシテ其ノ本分ヲ完フセシムル如ク
之ヲ指導スルニアリ

第二條 簡閱點呼ハ師團ニ於テ各聯隊區ヲ數區ニ分チ施行
スルモノトス

第三條 一點呼場一日ノ點呼人員ハ概ネ三百人ヲ標準トス

第四條 師團長ハ豫メ聯隊區毎ニ分チタル簡閱點呼執行官
ノ官氏名、點呼場ノ位置、點呼月日並毎日ノ點呼豫定人
員表(未教育補充兵ト其他ノ者トヲ區分ス)ヲ陸軍大臣ニ
提出スヘシ

第五條 點呼執行官ハ聯隊區毎ニ成ルヘク當該聯隊區司令
官、同司令部部員タル佐官、歩兵聯隊ノ佐官ヲ以テ之ニ
充ツヘシ但シ必要アル場合ニアリテハ適任ナル他ノ佐官
若ハ大尉ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第六條 師團長ハ點呼執行官ヲシテ其業務ニ妨ナキ範圍ニ
於テ必要ノ調査等ヲナサシムルコトヲ得

第七條 聯隊區司令官ハ點呼執行上希望スル事項アルトキ
ハ豫メ師團長ニ上申スヘシ

第八條 聯隊區司令官ハ點呼場ノ位置及其設備ニ關シ豫メ
郡市區長ト協議スヘシ其點呼場ハ最嚴正ニ執行シ得ル適
當ノ場所ニ選定スルヲ要ス

第九條 聯隊區司令官ハ當該部隊長ノ承認ヲ受ケ成ルヘ
ク其兵營ヲ點呼場ニ充ツルモノトス

第十條 聯隊區司令官ハ在郷軍人ノ在郷間ニ於ケル素行其
ノ出張ヲ請求シ置クヘシ

第十條 聯隊區司令官ハ在郷軍人ノ在郷間ニ於ケル素行其

ノ他ニ關シ特ニ賞詞又ハ訓戒ヲ與フヘキ見込ノ者アルト
キハ豫メ之ヲ關係點呼執行官ニ通牒スヘシ

第十一條 聯隊區司令官ハ豫メ各參會者ニ必要ナル事項ヲ
訓諭シ且服裝ニ關シテハ軍服所持者ニハ成ルヘク之ヲ著
用セシメ其ノ他ノ者ニアリテハ質素端正ヲ旨トシ服裝ノ
爲點呼ヲ受クルヲ厭ハシムルコトナキ如ク注意スヘシ

第十二條 點呼執行官ハ成ルヘク點呼ノ前日、豫メ現場ノ
設備ヲ檢查シ要スレハ修正又ハ増設等ノ手續ヲ爲シ又點
呼執行ニ關ヘル諸計畫ヲ完成スヘシ其ノ要件概ネ左ノ如
シ

- 一 集合所、整列場ノ位置
- 二 事務取扱者ノ位置及器具
- 三 點呼執行官ノ位置
- 四 郡市區町村長及其ノ他參列者ノ位置
- 五 憲兵警察官ノ取締ニ關スル件
- 六 雨天ニ際シ取ルヘキ方法

第十三條 點呼場ニハ「其聯隊區簡閱點呼場」ナル標札ヲ掲
ケ又場内ニ點呼執行官ノ官氏名(傍訓ヲ附ス)ヲ揭示スヘ
シ

第十四條 點呼執行官ハ參列將校同相當官中ヨリ適任ナル
者ヲ選ヒ本人ノ承諾ヲ得之ニ第一整列場ニ於ケル點檢間

ヲ利用シ服役召集其ノ他簡易ナル學科ノ一部施行ヲ補助
セシムルコトヲ得

前項ノ場合參列將校同相當官ナキトキハ參會者中適任ノ
下士ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十五條 點呼執行官ハ點呼執行中參會者ノ中ヨリ所要ノ
人員ヲ選ヒ之ニ助手ヲ命シ軍隊手牒ノ記入其ノ他集合所
整列場等ニ於ケル監視ヲ爲サシメ又看護長看護卒等ニ命
ジテ不時ノ救急ニ從事セシムヘシ

前項ノ助手ニハ赤布(看護長看護卒等ニハ深綠色ノ布)ヲ
左ノト臍部ニ附著セシムヘシ

第十六條 簡閱點呼執行ノ順序方法概ネ左ノ如シ

- 一 點呼執行官ハ附屬下士ヲシテ所定ノ點呼開始時刻前
ヨリ地方吏員ト共ニ點呼場ノ整理ニ任シ、市區町村
長ヨリ提出スル陸軍召集令施行細則第百十二條ノ屆
書及令狀ヲ點檢セシメ點呼名簿ニ所要ノ記入ヲ爲サ
シム

- 二 點呼執行官ハ市區町村吏員ヲシテ受付ニ於テ參會者
ヨリ令狀ヲ受領セシメ市區町村長ヲシテ參會者ヲ當
該市區町村毎ニ其ノ集合所ニ集メ本人ト在郷軍人名
簿トヲ對照シ不參者ヲ有無又ハ代人ヲ以テ參會セシ
ムル者ノ有無等ヲ調査セシム

點呼執行官ハ附屬下士ヲシテ前項ノ事務ヲ監視シ且
不參者遲參者等ノ氏名ヲ筆記報告セシム

三 點呼執行官ハ所定ノ點呼開始時刻ニ至ラハ概テ附屬
ノ如ク人員ヲ整列セシメ點呼開始ノ旨ヲ宣告シ且必
要ノ注意ヲ與ヘシ後郡市區町村長ヲ伴ヒ整列、服裝、
態度、姿勢及健康狀態等ニ關シ一般ノ検査ヲ行フ

四 點呼執行官ハ附屬下士ヲシテ既教育者ノ點呼名簿ニ
依リ其ノ役種官等級氏名ヲ呼ハシム參會者ハ附屬下
士ノ呼名ニ應シ一人宛出テ點呼執行官ノ面前ニ到リ
停止敬禮シ自己ノ役種官等級氏名ヲ唱ヘ再ヒ敬禮ヲ
爲シ右(左)ニ向キ助手ノ許ニ致リ軍隊手牒ヲ差出シ
舊位置又ハ他ノ指定位置ニ到ル

點呼執行官ハ前項既教育者ノ點檢終リシ後附屬下士
及郡市區町村長ヲ伴ヒ未教育者ヲ一名宛順次ニ巡檢
ス參會者ハ點呼執行官自己ノ面前ニ到リシトキ二步
前進シテ敬禮シ自己ノ役種兵種氏名ヲ唱ヘ再ヒ敬禮
シ點呼執行官自己ノ面前ヲ去リシ後舊位置ニ復ス此
ノ間附屬下士ハ本人ノ唱ヘシ役種兵種氏名ト點呼名
簿記入ノモノトヲ照合ス

點呼執行官ハ第一項ノ規定ニヨル參會者ノ動作間及
第二項ノ規定ニヨリ參會者ノ面前ニ到リタルトキハ

各人ニ付敬禮(未教育者ノ敬禮ハ敬意ヲ失セサル程
度ニ止ム)服裝姿勢態度及體力等ヲ仔細ニ觀察シ成
績特ニ優秀又ハ不良ナル者ハ爲シ得レハ點呼名簿ニ
之ヲ略記シ置キ聯隊區司令官ノ在郷軍人指導ノ參考
ニ供スルヲ要ス)其ノ不可ナル者ニ對シテハ直ニ訓
誨矯正ヲ加ヘ要スレハ在郷間ノ狀態ヲ取糺スヘシ若
シ本人ノ唱フル役種官名等級氏名(未教育補充兵ニ
アリテハ役種、兵種、氏名)ト點呼名簿記載ノモノ
ト相違アルトキハ之ヲ調査シ本人ノ誤ナルトキハ之
ニ注意ヲ與ヘ名簿ノ誤又ハ疑ハシキモノト認メタル
トキハ聯隊區司令部ニ照會ス

第一項規ニヨル點檢ハ先ツ既教育者ノ約半部ヲ實
施シ未教育者ノ約半部ヲシテ之ヲ見學セシメ此間補
助者ヲシテ他ノ各半部ニ對シ他ノ場所ニテ學科ヲ
行ハシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ點檢ト學科ト
ヲ循環施行スルモノトス又第二項ノ巡檢ニ當リテハ
既教育者ヲシテ之ヲ見學セシムヘシ

五 雨天ノ際ハ點呼場ノ狀態ヲ顧慮シ適宜ノ方法ヲ以テ
前號ニ準シ點呼ヲ執行スヘシ

六 點呼執行官ハ第三號ノ規定ニヨル検査第四號第二項
ノ規ニヨル巡檢ノ暨參列將校同相當官在郷軍人會

分會長其ノ他ノ參列者ニシテ隨行ヲ希望スル者アルトキハ妨ナキ限リ之ヲ許可スヘシ

七 點呼執行官ハ第四號ノ規定ニヨル點檢同助手ヲシテ既教育ノ參會者ヨリ受領シタル軍隊手牒ノ履歷欄ニ「大正何年簡閱點呼執行濟」ノ捺印ヲナシ之ヲ本人ニ交附セシム

八 左記ノ勅諭及勅語奉讀（奉讀間不動ノ姿勢ヲ取ラシムヘシ）

明治十五年一月四日軍人ニ賜リタル勅諭

大正元年七月三十一日軍人ニ賜リタル勅諭

大正三年十一月三日在郷軍人ニ賜リタル勅語

九 訓示及學科

十 地方吏員又ハ參列將校ニシテ點呼參會者ニ對シ希望ヲ述ヘ又ハ注意ヲ與フルノ希望ヲ有スル者アルトキハ其ノ要點ヲ開キ取り有益ナリト認メタル場合ニハ時機ノ許ス限リ是等參列者ニ口演ノ便宜ヲ與フヘシ

十一 點呼執行官ハ既教育者ニ其ノ軍隊手牒ニ捺印シタル事項ヲ言ヒ聽カセ之ヲ披見セシム

十二 點呼執行官ハ勅諭勅語奉讀訓示學科等ヲ爲ス間ニ附屬下士ヲシテ市區町村ノ在郷軍人名簿ト點呼名簿トヲ對照 其ノ整否等ヲ點檢セシム

十三 點呼執行官ハ點呼終了ヲ宣告シ解散ヲ命ジ然ル後

必要ト認ムルトキハ地方吏員ニ意見ヲ陳述スヘシ

第十七條 點呼執行官ノ點呼執行上着眼スヘキ要旨及注意スヘキ諸件概ネ左ノ如シ

- 一 既教育者ノ軍紀及服從ノ程度ヲ觀察シ之ニ軍人精神ヲ保持セシムルコト
- 二 既教育者ノ軍事教育保持ノ程度ヲ觀察シ之ニ必要ノ諸件ヲ教示スルコト
- 三 未教育者ノ軍事思想普及ノ程度ヲ觀察シ之カ軍事思想ヲ増進セシメ且之ニ軍人精神ヲ注入スルコト
- 四 健康保持ノ程度ヲ觀察シ體力養成ニ力ヲ盡サシムルコト
- 五 在郷軍人心得知得ノ程度ヲ觀察シ誤解脫漏ナカラシムルコト
- 六 身上異動ニ關スル手續ノ確否ニ注意シ遺漏ナカラシムルコト
- 七 服裝ニ注意シ其ノ精神上不謹慎ナル者アルトキハ之ニ訓戒ヲ與フルコト
- 八 點呼場往復途上ニ於テモ在郷軍人ノ觀察ヲ怠ラサルコト
- 九 軍隊教育上參考トスヘキ諸件ヲ觀察スルコト

十 場内ノ靜肅ヲ維持シ諸動作ヲ眞摯嚴格ナラシムルコト之カ爲點呼開始前嚴格ナル注意ヲ與ヘ以テ軍隊生活ノ感情ヲ喚起感得セシムルヲ最モ必要ス

十一 短少時間ノ遅刻ト雖之ヲ看過スルコトナク嚴ニ注實訓戒ヲ與フルコト

十二 豫メ參會者中ニ就キ在郷間衆人ノ模範ト爲リ又ハ之ニ反スル者ヲ調査シ前者ハ之ヲ參會者一同ニ紹介シ賞詞ヲ與ヘ後者ハ個人ニ就キ訓戒ヲ與フルコト

十三 總テ訓諭矯正ヲ要スルカ如キ事實ヲ發見シタルトキハ機ヲ逸セス直ニ指摘シテ矯正ヲ加ヘ其ノ效果ヲ大ナラシムルコト

十四 帶勳者ハ特ニ其ノ名譽ニ心掛ケシムルコト

十五 補助者ヲシテ行ハシムル學科ハ豫メ問題及其ノ答解ヲ筆記シ之ヲ補助者ニ交付シ置クコト

十六 在郷軍人會ノ振否ニ注意スルコト

十七 地方吏員ノ兵事執務ノ狀態ニ注意スルコト

第十八條 遅刻者ニシテ勅諭勅語奉讀開始後到着シタル者ニハ更ニ令狀ヲ交付シ再點呼ニ參會セシムヘシ勅諭勅語奉讀開始前到着ノ遅刻者ト雖特ニ必要ト認メタルトキ亦同シ

第十九條 點呼執行官ハ正當ノ事由ナク簡閱點呼ニ參會セ

サル者アルトキハ速ニ告發ノ手續ヲ爲シ其ノ役種官等級氏名(未教育補充兵ニアリテハ役種、兵種氏名)及事由ヲ聯隊區司令官ニ通報スヘシ又疾病事故ニ由ル不參者ト雖其ノ事由疑ハシキモノハ憲兵又ハ警察官吏ニ事實ノ調査ヲ依托スヘシ

第二十條 點呼執行官ハ概ネ左ノ事項ニ付簡閱點呼景況報告(第一様式第二様式ニ依ル簡閱點呼結果表ヲ添付スルモノトス)ニ通テ製シ點呼終了後十五日以内ニ師團長ニ提出スヘシ

- 一 既教育者ノ軍人精神及軍紀風紀ニ關スル觀察
 - 二 既教育者軍事教育保持ノ程度
 - 三 未教育者軍事思想普及ノ程度
 - 四 健康保持ノ程度
 - 五 在郷軍人心得知得ノ程度
 - 六 在郷間ノ狀態
 - 七 地方吏員執務ノ狀況(郡市區町村名ヲ舉ケテ郡市區町村長出場一覽表ヲ添附スヘシ)
 - 八 其ノ他雜件
 - 九 將來ニ關スル意見
- 前項ノ報告ハ將來ニ於ケル改善指導ニ資スヘキモノナルヲ以テ最詳細ニ且具體的ニ記述スヘキモノトス

第二十一條 師團長ハ前條ノ規定ニ依リ點呼執行官ノ提出シタル報告ニ基キ要スレハ所要ノ訓示ヲ爲シ其内一通ヲ訓示事項ト共ニ當該執行區域所管ノ聯隊區司令官ニ交付スヘシ

第二十二條 師團長ハ第二十條ノ規定ニ準シ簡閱點呼景況報告ヲ作り點呼終了後卅日以内ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第二十三條 師團長ハ成ルヘク在郷將校同相當官准士官ヲシテ居住地附近ノ簡閱點呼ニ參列セシメ又隊附將校ヲシテ在郷軍人ノ狀態ヲ知悉シ教育上ノ參考資料ヲ得セシムル爲事情ノ許ス限リ之ニ參列セシムルヲ要ス

第二十四條 本規則中聯隊區トアルハ警備隊區、聯隊區司令官トアルハ警備隊司令官及警備隊區司令官、郡市區長トアルハ島司若ハ支廳長又ハ郡長ニ準スヘキ者、市區町村長又ハ市區町村吏員トアルハ市區町村長又ハ市區町村吏員ニ準スヘキ者ヲ包含ス

(附圖樣式略ス)

●臺灣居住陸軍軍人ノ

召集及就職ニ關スル

件 明治三十六年十二月二十八日 勅令第二百八十九號

(一部改正) 明治三十七年一二月勅令第二三八號

朕臺灣ニ居住スル陸軍軍人ノ召集及就職ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 臺灣ニ居住スル陸軍豫備役後備役將校同相當官、准士官、下士兵卒、歸休兵及補充兵ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ナル人員ヲ限リ臺灣總督ヲシテ在臺灣陸軍諸部隊ニ召集セシムルコトアルヘシ

第二條 前條ノ召集ニ關シ必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム
第三條 臺灣ニ居住スル休職停職ノ陸軍將校同相當官及准士官ヲ戰時又ハ事變ニ際シ就職セシムルニハ召集ノ方法ニ依ル

附則

本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍在郷軍人ニシテ 船員タル者届出ノ件

大正二年六月二十六日 陸軍省令第六號

陸軍豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在リテ船員タル者届出ノ件左ノ通定ム

第一條 陸軍豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在リテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ就職又ハ雇入アリタル日ヨリ十四日以内ニ管海官廳又ハ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長(外國ニ在リテハ帝國領事又ハ貿易事務官)ノ證明ヲ受ケ本籍地所管島司郡市町村長ヲ經テ其ノ旨ヲ本籍地所管聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官(對馬ニ在リテハ警備隊司令官)ニ届出ツヘシ其ノ退職シ又ハ雇止アリタルトキ亦同シ

一 船舶職員試験規程ニ依リ遞信大臣ノ允當ト認ムル學校ヲ卒業シ又ハ海技免狀ヲ有スル者ニシテ西洋型船舶ノ乗組員タル者

二 船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ノ乗組員ニシテ事務長、水夫長、水夫、舵夫、火夫長、火夫、油差、賄方タル者

第二條 正當ノ事由ナク第一條ノ届出ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ壹圓以上ノ科料ニ處ス

第三條 第一條中市町村長トアルハ東京市、京都市、大阪市、名古屋市及北海道ノ區ニ在リテハ區長、市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

第四條 本令施行ノ際第一條ノ各號ニ該當スル者ハ大正二

年七月三十一日迄ニ第一條ニ準シ届出ツヘシ但シ從前ノ規定ニ依リ既ニ届出ヲ爲シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
外國渡航中ノ者ハ歸朝後(領事ノ證明ヲ受ケヘキ者ハ證明書受領後)二十一日以内ニ前項ノ届出ヲ爲スヘシ
前二項ノ届出ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ壹圓以上ノ科料ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年陸軍省令第二十六號ハ之ヲ廢止ス

● 陸軍在郷軍人中官公吏等官職名等通報方

大正二年六月二十六日
陸軍省訓令第十七號

北海道廳府縣

陸軍豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ帝國議會ノ議員、道廳府縣郡市區町村(又ハ之ニ準スヘキモノ)ノ官(公)吏ニシテ兵事事務ヲ主管スル者一人並官公立小學校長同正教員タル者ハ其ノ官職氏名等ヲ左記様式ニ依リ道廳、府縣ニ於テ調査シ同年九月十日迄ニ本籍地所管ノ師團長ニ通報シ爾後翌年ノ通報期迄ニ新任轉免等ノ異動アルトキハ

其ノ都度通報スヘシ

明治四十一年陸軍省訓令第十一號ハ之ヲ廢止ス

大正二年陸軍省訓令第十七號ニ依ル人名調書

大正何年何月何日調道廳府縣

現官職名	兵卒ハ	役官名	兵種等	徵集年	本籍	氏名
何	豫備步兵伍長 (後備騎兵一等卒)	明治何年	何縣何郡何村何番地	何	某	

●近衛師團ニ於テ演習

召集、教育召集ヲ受ク

ヘキ者ニ關スル件

明治四十年十二月十二日
陸達第八十二號

近衛師團ニ於テ演習召集及教育召集ヲ施行スヘキ者左ノ通定ム

一 第一、第十四師管ニ在籍スル補充兵ニシテ戰時近衛師團ノ要員ニ充ツヘキ者ハ近衛師團ニ於テ教育ヲ爲サレ

ム但シ鐵道聯隊、電信大隊、氣球隊ノ要員ニ充ツヘキ者ハ各師管在籍者ト雖モ當該諸隊ニ於テ教育ヲ爲サシム

二 第一、第十四師管ニ在籍ノ者ニシテ近衛師團ニ於テ現役ヲ終リタル豫備役後備役將校同相當官准士官下士兵卒及近衛師團ニ於テ教育ヲ受ケタル補充兵ハ近衛師團ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム但シ鐵道聯隊、電信大隊、氣球隊ニ於テ現役ヲ終リタル者(各部ノ將校相當官下士兵卒ヲ除ク)及同諸隊ニ於テ教育ヲ受ケタル補充兵ハ各師管在籍者ト雖モ當該諸隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム

三 豫備役後備役工兵科士官准士官下士兵卒中舊電信教導大隊及工兵大隊ニ於テ電信術ヲ修業シタル者ハ電信大隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム

四 本郷聯隊區、甲府聯隊區管區内(山梨縣ヲ除ク)ニ寄留シ第一師管ニ於テ勤務演習ヲ爲サムトスル者アルトキハ近衛師團ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム

附則

明治三十二年陸達第二十八號ハ之ヲ廢止ス

●在郷軍人中勤務演習

簡閱點呼願屆出期日

ノ特例

大正二年十一月二十日
陸軍省令第十二號

第七師管劍路聯隊區管内千鳥諸島及在咲郡瑤瑤村ノ附屬島志發島、水晶島、多樂島、勇留島ニ在籍ノ在郷軍人及以テ諸島ニ寄留スル在郷軍人ニシテ寄留地附近ノ軍隊ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受ケムトスル者ハ當分ノ内陸軍軍人服役令施行規則第六條及第八條ノ期日ニ拘ラス五月三十一日迄ニ願出ヲ爲シ許可ヲ受ケタルトキハ六月三十一日迄ニ其ノ届出ヲ爲スコトヲ得

第八編 進級

●陸軍武官進級令

大正五年八月十四日
勅令第九十九號

朕陸軍武官進級令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
陸軍武官進級令

第一章 總則

- 第一條 陸軍武官ハ級ヲ逐ヒ歷進セシム
- 第二條 陸軍武官ハ其ノ官ニ必要ナル實役停年ヲ超エタル者ニ非サレハ進級セシムルコトヲ得ス
- 第三條 陸軍武官ノ進級ハ拔擢進級及先任進級ニ依ル
- 第四條 陸軍武官(將校相當官、各部准士官及各部下士ヲ除ク)ノ拔擢進級候補ハ上官タル將校職權ニ依リ之ヲ選定シ其ノ上官タル將校選定ノ適否ヲ判定スルノ權ヲ有ス
將校相當官、各部准士官及各部下士ノ拔擢選定及判定ニ付テハ各部毎ニ前項ノ例ニ依ル
- 第五條 休職又ハ停職中ノ者ハ之ヲ進級セシメサルモノト

ス

第六條 休職又ハ停職ノ期間ハ實役停年ニ算入セス
俘虜ト爲リ又ハ戰地ニ於テ生死不明ト爲リタル期間ニ付
亦前項ニ同シ但シ正當ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二章 平時進級

第一節 將校同相當官ノ進級

第七條 現役將校同相當官ノ各官ニ必要ナル實役停年左ノ
如シ

中將	四年
少將同相當官	三年
大佐同相當官	二年
中佐同相當官	二年
少佐同相當官	三年
大尉同相當官	四年
中尉同相當官	二年
少尉同相當官	二年

第八條 現役將校ニシテ兵科ヲ轉シタル者ノ實役停年ニハ
轉科前ニ於ケル同級ノ官ノ實役停年ヲ通算ス

第九條 現役將校ハ尉官ノ階級ニ於テ三年以上隊附勤務ニ
服シタル者ニ非サレハ大尉ヨリ少佐ニ、佐官ノ階級ニ於
テ二年以上隊附勤務ニ服シタル者ニ非サレハ大佐ヨリ少

將ニ進級セシメサルヲ例トス將校相當官ノ進級亦之ニ準
ス

第十條 中將ヨリ大將ニ進級セシムルニハ歴戰者又ハ樞要
ナル軍務ノ經歷ヲ有スル者ニシテ功績特ニ顯著ナル者ノ
中ヨリ特旨ヲ以テ親任スルモノトス

第十一條 將官ヲ進級セシメ及大佐ヲ少將ニ進級セシムル
ハ上旨ニ出ツルモノトス此ノ場合ニ於テハ先ツ内旨ヲ陸
軍大臣ニ諭スヲ例トス

同級ニ在ル將校相當官ノ進級ニ付亦前項ニ同シ
第十二條 現役ノ中少佐同相當官大尉同相當官及二等樂長
ノ進級ハ拔擢進級トス

第十三條 現役中尉同相當官ノ進級ハ拔擢進級一ト先任進
級一トヲ交互ニ行ヒ現役少尉同相當官(二等樂長ヲ除ク)
ノ進級ハ拔擢進級一ト先任進級二トヲ交互ニ行フモノト
ス

第十四條 現役將校同相當官ノ拔擢進級候補及其ノ列序ノ
決定ハ上裁ニ依ル

第十五條 前條ノ決定アリタルトキハ陸軍大臣ハ上旨ヲ奉
シテ拔擢進級候補決定名簿ヲ調製シ之ヲ上奏スヘシ

第十六條 現役將校同相當官ノ進級ハ中少佐同相當官、大
尉同相當官及二等樂長ニ在リテハ拔擢進級候補決定名簿

ノ列序ニ從ヒ中少尉同相當官(二等樂長ヲ除ク)ニ在リテハ第十三條ノ規定ニ依ル順序及拔擢進級候補決定名簿ノ列序ニ從ヒ陸軍大臣進級上奏ヲ爲スヘシ

第十七條 前條ノ規定ニ依ル進級ハ兵科又ハ部毎ニ之ヲ行フ但シ現役中少尉(憲兵科ヲ除ク)ハ更ニ將校團毎ニ之ヲ行フヲ例トシ其ノ官衙學校附ノ者ハ原所屬將校團ニ屬スル者トス

第十八條 停職者及陸軍將校分限令第六條第一項第五號ノ規定ニ依ル休職者ハ拔擢進級候補決定名簿ヨリ之ヲ削除ス

第十九條 豫備役後備役將校同相當官(將官同相當官及大佐同相當官ヲ除ク)ニシテ軍隊官衙又ハ學校ニ武官ノ職ヲ奉シ勤務ノ成績優秀ナル者ハ必要ニ應シ臨時拔擢シテ之ヲ進級セシムルコトヲ得

第二十條 豫備役後備役中少尉同相當官ニシテ少クトモ二回ノ勤務演習ニ服シ其ノ成績優秀ナル者ハ特ニ選抜シテ進級ノ爲ニスル勤務演習ニ服セシメ技能ヲ查閱シタル後臨時拔擢シテ之ヲ進級セシムルコトヲ得

第二十一條 第二條ノ規定ニ依ル拔擢進級ニ關シテハ現役將校同相當官ノ例ニ依ル

第二十二條 陸軍大臣ハ毎年將校同相當官實役停年名簿ヲ

調製シ之ヲ上奏スヘシ

第二節 准士官下士ノ進級

第二十三條 現役准士官下士ノ各官ニ必要ナル實役停年左ノ如シ

樂長	三年
補	三年
曹長及其ノ同級ノ官	二年
軍曹及其ノ同級ノ官	一年
伍長及其ノ同級ノ官	六月

第二十四條 現役下士ニシテ其ノ兵科ヲ轉シタル者又ハ免官者ニシテ復官シタル者ノ實役停年ニハ轉科前又ハ免官前ニ於ケル同級ノ官ノ實役停年ヲ通算ス

第二十五條 現役准士官下士ノ進級ハ拔擢進級トス

第二十六條 第十四條乃至第十八條ノ規定ハ現役樂長補ヲ二等樂長ニ進級セシムルニ付之ヲ準用ス

第二十七條 現役曹長及其ノ同級ノ官ヲ准士官ニ進級セシメ又ハ現役下士ヲ進級セシムルニハ候補及其ノ列序ハ師團長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官又ハ軍務局長、經理局長若ハ醫務局長之ヲ決定シテ拔擢進級候補決定名簿ヲ編製スヘシ

第二十八條 第十九條及第二十條ノ規定ハ豫備役後備役下士ノ進級ニ關シ之ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ規定ニ依ル拔擢進級ニ關シテハ現役下士ノ例ニ依ル

第三章 戰時進級

第三十條 戰時又ハ事變ノ際ノ進級ハ前章ニ依ルノ外本章ニ依ル

第三十一條 補充上必要アルトキハ第七條及第二十三條ノ實役停年ハ之ヲ半減スルコトヲ得

第三十二條 補充上必要アルトキハ第九條ノ規定ハ之ヲ適用セサルコトヲ得

第三十三條 必要アルトキハ先任進級ニ依ラス總テ拔擢進級ニ依ルコトヲ得

第三十四條 現役中少尉ノ進級ニハ第十七條但書ノ規定ニ拘ラス特別ノ範圍ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條 第十九條ノ規定ハ召集セラレタル豫備役後備役武官ノ進級ニ付之ヲ準用ス退役將校同相當官ニシテ國民軍ニ編入セラレタル者ノ進級ニ付亦同シ

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第二條及第三條ノ規定ニ拘ラス其ノ際特ニ進級セシムルコトヲ得

- 一 敵前ニ在リテ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告シタル者
- 二 殊勳ヲ奏シタル者又ハ勳功顯著ナル者ニシテ傷損又

ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者

第三十七條 敵前ノ軍隊ニ在リテ人員缺乏シ定規ニ依ルコト能ハサルトキハ前數條ノ規定ニ拘ラス特ニ進級セシムルコトヲ得

第三十八條 戰地ニ臨ムノ首將ニハ特ニ進級セシムルノ權ヲ假スコトアルヘシ

附則

本令ハ大正五年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ第九條ノ規定ハ大正九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
陸軍豫備役後備役武官進級令ハ之ヲ廢止ス

●陸軍將校同相當官退役ノ際名譽進級ノ件

明治二十三年三月十一日
勅令第二十四號

朕陸、海軍將校及同相當官退役ノ際名譽進級ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸、海軍將校及同相當官現役中多年軍務ニ從事シ且ツ戰時ニ於テ功勞アル者ニシテ陸、海軍將校分限令第五條第一項第二項第四項第五項及第六條第七條ニ依リ現役ヲ退クトキハ特ニ官等ヲ進ムルコトヲ得但恩給ヲ受クル資格ニ在テハ

前官等ニ依ル

●陸軍豫備後備將校及同相當官召集解除ノ際名譽進級ノ件

明治二十八年六月二十六日
勅令第九十一號

朕臨、海軍豫備後備將校及同相當官名譽進級ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
陸、海軍豫備後備將校及同相當官ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集中功勞アリタル者ニハ召集ヲ解キタルトキ特ニ官等ヲ進ムルコトヲ得

●陸軍武官進級取扱規則

大正六年三月三日
陸達第八號

陸軍武官進級取扱規則左ノ通定ム
陸軍武官進級取扱規則

第一章 總則

第一條 本規則ハ陸軍武官進級令(以下單ニ進級令ト稱ス)ニ依リ進級取扱手續ヲ規定スルモノトス

第二條 陸軍武官ノ進級ヲ取扱フ諸官ヲ將校同相當官准士官ニ關シテハ拔擢官及判定官ニ、下士ニ關シテハ拔擢官、判定官、裁決官及除任官ニ分ツ

第三條 拔擢及判定ハ特ニ規定アルモノノ外本職ノ系統ニ依ル

第四條 拔擢官ハ被拔擢者ノ人格技能ニ基キ公平ニ之ヲ拔擢スルモノトス

第五條 判定官ハ拔擢ノ適否ヲ判定シテ列序ヲ規整スルモノトス

第六條 裁決官ハ拔擢及判定ノ適否ヲ慎重ニ審査シ進級人員ヲ豫定シテ裁決スルモノトス

第七條 除任官ハ關員補充又ハ編制充實ノ爲拔擢進級候補決定名簿ノ列序ニ從ヒ除任スルモノトス

第八條 拔擢官、判定官及裁決官ハ自ラ他ニ轉出スルトキ又ハ其ノ部下若ハ監督下ノ被拔擢者他ニ轉出シタルトキハ拔擢ニ關スル所見ヲ後任者又ハ新所屬相當取扱官ニ通告スヘシ

第九條 現役陸軍武官ノ拔擢進級候補及其ノ列序ノ決定ハ毎年一回之ヲ行フヲ例トス但シ編制改正等ノ爲新ニ拔擢進級候補者決定ノ必要アルトキハ將校同相當官准士官ニ在リテハ陸軍大臣ノ指示ニ依リ、下士ニ在リテハ裁決官

陸軍大臣ノ認可ヲ經テ其ノ手續ヲ爲スモノトス

第十條 拔擢進級候補決定名簿ハ次ノ該名簿調製ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

第二章 平時進級

第一節 將校同相當官ノ進級

第十一條 進級令第四條ノ規定ニ依リ部下又ハ監督下ニ在ル將校同相當官ヲ拔擢スヘキ諸官左ノ如シ

一 各兵科佐官ノ拔擢官
將官

少將大佐ヲ通シテ充ツルコトヲ得ル職ニ在ル大佐
天皇ニ直隸スル職ニ在ル佐官

二 各兵科尉官ノ拔擢官

第一號ノ諸官
獨立部隊長タル佐官

平時編制ニ依リテ制定セラレタル課長、所長、廠長、科長及部長タル佐官

三 參謀ノ職ニ在ル者ニシテ陸軍大學校以外ニ在職スル佐尉官ノ拔擢官
參謀次長

四 經理部上長官ノ拔擢官

經理局長

五 經理部士官ノ拔擢官

經理局長

經理部長

經理局課長

砲兵工廠會計課長

官衙學校ノ長タル主計監及主計正

六 衛生部上長官ノ拔擢官

醫務局長

七 衛生部士官ノ拔擢官

醫務局長

軍醫部長

醫務局課長

官衙學校ノ長タル軍醫監、軍醫正及藥劑正

八 獸醫部上長官ノ拔擢官

軍務局長

九 獸醫部士官ノ拔擢官

軍務局長

獸醫部長

學校長タル獸醫正

十 軍樂部士官ノ拔擢官

師團長

戸山學校長

第十二條 拔擢官ヨリ下級ノ將校同相當官ハ其ノ部下又ハ監督下將校同相當官ノ拔擢ニ關スル所見ヲ拔擢官ニ開陳スルコトヲ得

第十三條 拔擢官ハ進級令第十七條ニ規定スル進級ノ區域ニ從ヒ各階級毎ニ拔擢進級候補者ヲ定メ其ノ實役停年、除附年數、拔擢列序及其ノ他ノ要件ヲ記載シタル拔擢名簿ヲ調製シ直上判定官ニ上申スルモノトス但シ豫備役後備役將校同相當官ニ在リテハ考科表寫ヲ添付スルモノトス

第十四條 拔擢官ノ直系諸上官ハ各部ニ在リテハ各部毎ニヨリ判定官トシ陸軍大臣ヲ最終判定官トス

第十五條 判定官ハ拔擢名簿ヲ審査シ要スレハ其ノ列序ヲ變更シ或ハ加除訂正シ且之ニ自己直屬ノ拔擢進級候補者ヲ加ヘ第十三條ノ規定ニ準シ拔擢名簿ヲ調製シ逐次ニ上級判定官ニ上申スルモノトス

第十六條 被拔擢者職務ノ關係上拔擢並判定ノ系統ヲ定ムルノ必要ヲ生シタルトキハ師團長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官之ヲ定ム但シ經理部士官ニ在リテハ經理局長、衛生部士官ニ在リテハ醫務局長、獸醫部士官ニ在リテハ軍務局長之ヲ定ム

第十七條 拔擢進級候補決定ノ爲ニスル進級令第七條ニ規定スル實役停年及同第九條ニ規定スル隊附勤務年ノ算定ハ其ノ年ノ七月一日調トシ被拔擢者ノ所屬ハ二月一日調トス

第十八條 現役將校同相當官ノ拔擢名簿上申期及拔擢進級候補決定名簿調製期左ノ如シ但シ中間判定官ノ上申期ハ最終判定官ニ上申スヘキ判定官之ヲ定ム

拔擢官ヨリ直上判定官ニ上申 二月 盡日迄
判定官ヨリ最終判定官ニ上申 五月十五日迄
拔擢進級候補決定名簿調製 七 月

第十九條 拔擢系統ヲ異ニスルカ爲部下ニ對シ拔擢權ヲ有セサル部隊長ハ其ノ拔擢ニ關スル所見ヲ一月三十一日迄ニ拔擢官ニ通報スルモノトス

第二十條 兼職及之ニ準スル職務系統ノ長官ハ其ノ拔擢ニ關スル所見ヲ一月三十一日迄ニ拔擢官ニ通報スルモノトス

第二十一條 建制ノ儘他ノ隸下ニ編入セラレタル部隊ニ屬スル者、臨時ノ編成ニ依ル部隊ニ屬スル者、中少尉ニシテ將校團以外ニ在職スル者及派遣將校ノ拔擢並判定ハ職務スル職務ノ系統ニ依ル

前項被拔擢者原所屬部隊ノ拔擢官ハ其ノ拔擢ニ關スル所

見ヲ拔擢名簿ニ添付スルモノトス

第二十二條 進級令第九條ニ規定スル隊附勤務ノ部隊左ノ如シ

陸軍平時編制ニ規定スル軍隊（各兵科佐尉官ニ關シテハ司令部ヲ除ク）

陸軍諸學校ノ教導隊

駐劄、駐屯、守備及派遣ノ軍隊（各兵科佐尉官ニ關シテハ司令部ヲ除ク）

陸軍戰時編制ノ諸部隊及之ニ準スル軍隊

各部長官士官ニシテ臺灣總督府關東都督府陸軍部ニ經理部士官、衛生部上長官士官ニシテ陸軍病院及之ニ準スルモノニ在職中ノ期間亦前項ニ準ス

第二十三條 隊附勤務中陸軍大學校學生、陸軍砲工學校高等科學生、同學校員外學生、陸軍經理學校學生、同學校員外學生及陸軍軍醫學校專攻學生ノ在學期間、派遣將校取扱規則ニ依リ官衙學校ニ派遣ノ期間、陸軍軍人休暇規則ニ依リ外國ニ旅行ノ期間、外國留學生ノ留學期間、外國出張ニシテ六月ヲ超エタル期間ハ進級令第九條ニ規定スル勤務年數ニ算入セサルモノトス

第二十四條 進級令第十七條但書ニ規定スル將校園ハ常備聯隊同獨立隊ノ將校園ニシテ陸軍現役將校同相當官實役

停年名簿登錄ノ區分ニ依ルモノトス

第二十五條 新設又ハ編制改正等ノ爲中少尉ノ所屬將校園ヲ新ニ定ムルノ必要アルトキハ陸軍大臣之ヲ指定ス

第二十六條 陸軍大臣ハ進級令第十五條ノ規定ニ依リ拔擢進級候補決定名簿上奏ノ後其ノ所要ノ寫ヲ關係諸長官ニ通達ス

第二十七條 拔擢進級候補決定者ノ憲兵科ニ轉シタルトキ及中少尉ノ進級區域ヲ轉換シタルトキハ陸軍大臣ハ新區域ノ決定名簿中適當ノ順位ニ組入レ關係長官ニ通達ス

第二十八條 拔擢進級候補決定者ニシテ進級セシムヘカラサル事故生シタルトキハ所管長官ハ事由ヲ具シ陸軍大臣ニ上申スルモノトス

第二十九條 皇族附武官ハ進級取扱上皇族ノ屬スル部隊ノ所屬トス

第二節 准士官下士ノ進級

第三十條 下士ノ進級ノ區域左ノ如シ

- 一 曹長ヲ特務曹長ニ進級セシムルハ各隊トシ其ノ司令部、官衙及學校附ノ者ハ原隊ノ所屬トス但シ憲兵科ニ在リテハ各所管
- 二 砲工兵曹長及砲兵一等諸工長ヲ砲工兵上等工長ニ進級セシムルハ各兵科

三 各兵科下士(曹長及砲兵諸工長ヲ除ク)ヲ進級セシムルハ各司令部、各隊、各官衙及各學校但シ分遣中ノ下士ハ原隊ノ所屬トス

四 砲兵諸工長(砲兵一等諸工長ヲ除ク)ヲ進級セシムルハ各所管但シ陸軍大臣直轄官衙ニ在リテハ各其ノ官衙

五 經理部、衛生部及獸醫部下士ヲ進級セシムルハ關係各部ノ所管但シ一等蹄鐵工長ニ在リテハ獸醫部、被服廠附、縫靴工長ニ在リテハ其ノ本支廠ヲ通ス

六 一等樂手ヲ樂長補ニ進級セシムルハ軍樂部、其ノ他ノ軍樂部下士ニ在リテハ各隊

七 駐屯派遣等ノ諸部隊ニ屬スル各部下士ニシテ其ノ所管ニ當該部長ヲ有セサル者ニ在リテハ派遣前所屬ノ所管

第三十一條 進級令第四條ノ規定ニ依リ部下又ハ監督下ニ在ル准士官下士ヲ拔擢スヘキ諸官左ノ如シ

一 樂長補ノ拔擢官

二 各兵科下士ノ拔擢官

師團長、戸山學校長
隊長タル佐尉官、廠長、班長
副官、事務官、主事、幹事、部員、廠員、所員、

生徒監、教官

三 經理部、衛生部及獸醫部下士ノ拔擢官

部隊附經理部、衛生部及獸醫部上長官士官

副官、部員、廠員

駐屯派遣等ノ諸部隊ニ屬スルモノニシテ以上ノ拔擢官ナキトキハ派遣前所屬部隊ノ拔擢官

四 軍樂部下士ノ拔擢官

隊長

五 第二號及第三號中同一ニ數名ノ同一官職者アルトキハ其ノ高級先任者ヲ拔擢官トス但シ職務ノ關係上必要アルトキハ部隊長ハ其ノ他ノ者ニ拔擢官ヲ指定スルコトヲ得

第三十二條 第十四條ノ規定ハ准士官ノ判定官ニ付之ヲ準用ス

第三十三條 第十四條ノ規定ハ准士官ノ判定官ニ付之ヲ準用ス

下士ノ拔擢官ノ直系諸上官(各部軍樂部ニ在リテハ各部

毎ニ)ヲ判定官トシ師團長若ハ之ト同等以上ノ權アル長

官(各部軍樂部ニ在リテハ各關係局長)ヲ裁決官トス但

シ第三十條第一號ニ依リ原隊ニ於テ進級セシムヘキ者ノ

裁決官ハ原隊ノ所管長官、同第二號ノ下士及一等樂手ノ

裁決官ハ陸軍大臣トス

第三十三條 第十三條、第十五條及第十六條ノ規定ハ准士

官下士ノ拔擢及判定ニ付之ヲ準用ス

准士官ノ拔擢名簿ニハ師團長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ確認書及考科表寫ヲ添付スルモノトス

第三十四條 第十七條及第十八條ノ規定ハ准士官ニ之ヲ準用ス

第三十五條 下士ノ拔擢進級候補決定ノ爲ニスル被拔擢者ノ所屬、進級令第二十三條ニ規定スル實役停年及本規則第三十九條ニ規定スル勤務年ノ算定ハ其ノ年ノ七月一日調トス

第三十六條 下士ノ拔擢名簿上申期及裁決期左ノ如シ但シ中間判定官ノ上申期ハ裁決官之ヲ定ム

拔擢官ヨリ直上判定官ニ上申 七月三十一日迄

判定官ヨリ裁決官ニ上申 九月三十日迄

裁決 十月 月

第三十七條 第十九條ノ規定ハ准士官下士ニ準用ス但シ其ノ期日ハ下士ニ在リテハ六月三十日トス

第三十八條 建制ノ儘他ノ隷下ニ編入セラレタル部隊ニ屬スル者及臨時ノ編成ニ依ル部隊ニ屬スル者ノ拔擢及判定ハ服務ノ系統ニ依ル

第三十九條 砲兵曹長ニシテ陸軍砲兵工科學校ニ於テ火工科ノ科程ヲ修了シタル者ハ砲兵上等工長ニ、砲工兵曹長

ニシテ服役中兵器器材築城交通運輸等ノ技術ニ關スル部隊ニ在職シ二年以上技術ニ從事シタル者ハ砲工兵上等工長ニ進級セシムルコトヲ得

第四十條 下士ノ拔擢進級候補決定名簿ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ調製ス

一 裁決ノ人名及列序ニ從ヒ進級區域毎ニ各階級ニ區分

ス

二 第三十條第一號ニ依リ原隊ニ於テ進級セシムヘキ者ニ在リテハ所管長官（陸軍大臣直管官衙ニ在リテハ各其ノ長）ハ九月三十日迄ニ候補者ノ進級列序決定

ニ必要ナル事項ヲ其ノ屬スル進級區域ノ裁決官ニ通報シ同官ハ之ヲ適當ノ順位ニ組入ルルモノトス

第四十一條 裁決官下士ノ拔擢進級候補決定名簿ヲ調製シタルトキハ之ヲ除任官ニ交付シ前條第二號ノ所管長官所要ノ事項ヲ通報スルモノトス

第四十二條 准士官ノ除任官ハ第三十二條第二項ノ裁決官トス

下士ノ除任官ハ第三十條ニ規定スル進級區域ノ長トス但シ軍樂師下士ニ在リテハ師團長又ハ戸山學校長トス

第四十三條 司令官官衙及學校附ノ曹長ヲ特務曹長ニ進級セシムルニハ隊附ヲ命シタル後之ヲ行フモノトス

第四十四條 下士ノ拔擢進級候補決定者ニシテ進級區域ヲ
轉シタルトキハ裁決官ハ之ヲ新區域ノ適當ナル順位ニ組
入レ除任官ニ違スルモノトス但シ裁決官ヲ異ニスルトキ
ハ舊區域ノ裁決官ヨリ新區域ノ裁決官ニ決定列序ヲ通報
シ新區域ノ裁決官ハ其ノ通報ニ基キ之ト同一ノ手續ヲ爲
スモノトス

第四十五條 第二十八條ノ規定ハ准士官ニ之ヲ準用ス
下士ノ拔擢進級候補決定者ニシテ進級セシムヘカラサル
事故生シタルトキハ裁決官之ヲ處斷スルモノトス

第三章 戰時進級

第四十六條 戰時又ハ事變ノ際ノ進級取扱ハ前章ニ依ルノ
外本章ニ依ル

第四十七條 進級令第三十一條乃至第三十三條ノ規定ノ實
施時期同第三十四條ニ規定スル進級ノ特別範圍ハ必要ニ
應シ臨時勅裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ達スルモノトス

第四十八條 將校同相當官及准士官ノ拔擢時期及其ノ實役
停年算定ノ時期ヲ變更スル必要アルトキハ陸軍大臣臨時
之ヲ定ム

第四十九條 戰時ニ編成セル部隊ニ屬スル下士ノ除任官及
裁決官ハ前章ニ依ルノ外必要ニ應シ陸軍大臣之ヲ定ム
第五十條 戰時ニ編成セル部隊ニ屬スル下士ヲ進級セシム

ルハ戰地ニ在ル部隊ニ於テハ各部隊毎(各部ニ在リテハ
各部毎)ニ必要ニ應シ臨時之ヲ拔擢シテ行ヒ戰地ニアラ
サル部隊ニ於テハ平時ノ規定ニ依ルヲ例トシ必要ノ場合
ニ依リ裁決官ハ拔擢進級候補決定名簿ノ加除訂正ヲ行ヒ
又新ニ拔擢進級候補決定名簿ヲ調製スルコトヲ得
第五十一條 復員終了ニ際シテハ更ニ拔擢進級候補決定名
簿ヲ作ルモノトス

附則

本規則中本年ニ限リ第十八條中二月盡日トアルハ三月三十
一日、第十九條及第二十條中一月三十一日トアルハ三月二
十日トス

●陸軍兵卒進級規則

明治三十六年十二月一日
陸達第百三號

(改一) 部
正部 明治三十七年六月陸達第一一〇號、同年九月同
第一四三號、三十八年一月同第二號、四一年二
月同第一二號、大正三年九月同第三五號

陸軍兵卒進級規則左ノ通定ム
明治三十三年陸達第九十五號(陸軍兵卒昇級取扱ノ件)ハ之
ヲ廢止ス

第一條 現役二等卒ニシテ入隊後約一箇年（警備隊ニ在リテハ約六箇月）ヲ過キ優秀ナル者ハ一等卒ニ進級セシム

第二條 一等卒ニ闕員アルトキハ中隊長ハ前條ニ該當スル者ヲ選抜シ順序ヲ經テ聯隊長ノ認可ヲ請ケ之ニ一等卒ヲ命スヘシ

第三條 現役一等卒ニシテ入隊後約一箇年（警備隊ニ在リテハ約六箇月）ヲ過キ優秀ナル者ハ上等兵ニ進級セシム

第四條 中隊長ハ前條ニ該當スル者ヲ選ミ順序ヲ經テ聯隊長ニ稟申スヘシ

第五條 聯隊長ハ前條ノ稟申ヲ審査シ順序ヲ定メ中隊ニ闕員アル毎ニ上等兵ヲ命スヘシ但シ其ノ闕員ハ同中隊ノ候補者ヲ以テ之ヲ補フモノトス

第六條 上等兵ハ在營三年ノ兵種ニ在リテハ每年中隊ニ於テ其ノ定員ノ半數宛進級セシムルヲ例トス

第七條 動員ヲ行ヒタル部隊（警備隊ヲ除ク）ニ屬スル者ニ在リテハ第一條及第三條ノ期限ヲ約十箇月ニ短縮スルコトヲ得

第八條（削除）
第九條 戰時又ハ事變ニ際シ召集ニ應シタル豫備役後備役二等卒ニシテ召集後約六箇月ヲ過キ優秀ナル者ハ一等卒ニシテ召集後約十箇月ヲ過キ優秀ナル者ハ所要ニ應シ上等兵ニ進級セシムルコトヲ得

第十條 補充兵ハ初メテ召集ニ應シタルトキ二等卒ト爲シ其ノ召集日數（前後ノ召集日數ハ之ヲ通算ス）約十箇月ヲ過キ優秀ナル者ハ一等卒ニ、一等卒ト爲リタル者ニシテ召集後約十箇月ヲ過キ優秀ナル者ハ所要ニ應シ上等兵ニ進級セシムルコトヲ得

第十一條 ノ二 國民兵役ニ在ル者又ハ國民軍編入志願者ハ部隊編入ノ際其ノ兵科部等級ヲ有セシ者ニ在リテハ前兵科部等級相當ノ兵卒ト爲シ其ノ他ノ者ニ在リテハ編入部隊所要ノ兵科部二等卒ト爲ス

第十二條 ノ三 前項兵卒ノ進級ハ豫備役又ハ後備役ニ在リタル者ニ付テハ第九條ヲ其ノ他ノ者ニ付テハ前條ヲ準用ス

ナル者ニシテ傷痕又ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタルトキハ前
諸條ニ拘ラス其ノ際特ニ進級セシムルコトヲ得

第十條ノ五 前諸條ノ規定ハ經理部及衛生部兵卒ノ進級ニ
之ヲ準用ス

第十一條 本規則ニ於テ聯隊長中隊長トアルハ聯隊又ハ中
隊ヲ爲ササル部隊ニ在リテハ各之ニ準スヘキ諸官ニ該當
ス

第九編 分限

●陸軍將校分限令

大正三年四月十六日
勅令第六十七號

朕陸軍將校分限令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍將校分限令

第一條 陸軍將校トハ將官並各兵科上長官及士官ヲ謂フ

第二條 將校ハ終身其ノ官ヲ保有シ之ニ對スル禮遇ヲ享ク

第三條 將校ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ其
ノ官ヲ失フコトナシ

一 本人ノ願ニ依リ其ノ官ヲ免セラレタルトキ

二 將校タルノ本分ニ背キ又ハ其ノ體面ヲ汚シ勅裁ニ依
リ免官ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ但シ陸軍刑法又ハ
海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ニ處セラレタルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 武官ヲ以テ充ツヘキ官職ニ在ル者ハ現役トス但シ

豫備役、後備役又ハ退役ニ在リテ任官又ハ就職スル者ハ此ノ限ニ在ラス

現役將校左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス尙現役タルコトヲ失ハス

一 修學ヲ命セラレタルトキ

二 本人ノ願ニ依リ外國留學ヲ許可セラレタルトキ

三 待命休職又ハ停職ト爲リタルトキ

第五條 現役將校左ノ各號ノ一ニ該當シ就職ノ命ナキトキハ待命トス

一 解除、廢職又ハ廢職ノトキ

二 修學滿期ト爲リタルトキ又ハ外國留學ヲ許可セラレタル者歸朝シタルトキ

三 法令ニ依リ定員外ト爲リタル者定員外ノ事由消滅シタルトキ

四 武官ヲ以テ充ツヘキ文官ニ任セラレタル者其ノ文官ヲ免セラレタルトキ

停職ト爲リタル者歸朝シ過員ト爲リタルトキ亦前項ニ同シ

前二項ノ外編制改正又ハ職務ノ關係ニ依リ待命ヲ命スルコトヲ得

第六條 現役將校左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職トス

一 待命ト爲リ一年ヲ經過シ就職ノ命ナキトキ

二 陸軍部内ノ文官ニ專任セラレタルトキ但シ武官ヲ以テ充ツヘキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三 本人ノ願ニ依リ内國ニ於ケル修學ヲ許可セラレタルトキ

四 生死不明ト爲リタルトキ但シ戰地ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

五 陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ニ處セラレタルトキ

前項ノ外現役將校傷痍又ハ疾病ニ因リ執務セサルコト六月ニ及フトキハ之ニ休職ヲ命スルコトヲ得但シ本人ノ願アルトキ又ハ其ノ代員ヲ要スルトキハ六月ヲ待ツノ限ニ在ラス

第七條 現役將校ニシテ懲戒スヘキ行爲アリタルトキハ停職ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ停職ヲ命セラレタル者ハ六月ノ後ニ非サレハ就職スルコトヲ得ス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ此ノ限ニ在ラス

第八條 現役將校左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ豫備役ニ入ルモノトス

一 休職ト爲リ二年ヲ經過シ就職ノ命ナキトキ但シ第六

條第一項第二號又ハ第四號ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 二 停職ト爲リ一年ヲ經過シ就職ノ命ナキトキ
- 三 待命及休職、休職及停職又ハ待命休職及停職ヲ通シテ二年ヲ經過シ就職ノ命ナキトキ但シ第六條第一項第二號又ハ第四號ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 四 宮内官又ハ陸軍部外ノ文官ニ專任セラレタルトキ但シ武官ヲ以テ充ツヘキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 五 貴族院令第四條ノ規定ニ依リ貴族院議員ト爲リタルトキ

前項ノ外傷疾又ハ疾病ノ爲現役ニ堪ヘサル者ハ本人ノ願ニ依リ豫備役ニ入ラシメ退職恩給ヲ受クヘキ服役年數ニ達シタル待命、休職又ハ停職中ノ將校ハ健康狀態又ハ補充上ノ必要ニ因リ將官ニ在リテハ上諭ニ依リ上長官又ハ士官ニ在リテハ陸軍大臣旨ヲ諭シテ豫備役ニ入ラシムルコトヲ得

第九條 現役將校現役年限年齢ニ達シタルトキ又ハ豫備役將校豫備役満期ト爲リタルトキハ後備役ニ入ルモノトス

第十條 後備役將校後備役満期ト爲リタルトキハ退役トス前項ノ外現役豫備役後備役將校傷疾又ハ疾病ノ爲永久服役ニ堪ヘサルトキハ退役ヲ命スルコトヲ得

第十一條 現役年限年齢、豫備役後備役ノ服役年期及召集ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本令ハ將校相當官ニ之ヲ準用ス

附則

舊陸軍刑法又ハ舊海軍刑法ニ依リ剝官ヲ附加スヘキ刑ニ處セラレタル者ハ第三條ノ適用ニ付テハ之ヲ陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス本令施行ノ際待命、休職又ハ停職ニ在ル者ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ第八條第二項ノ出願ニ依ル轉役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

●陸軍准士官ノ身分取扱ニ關スル件

大正三年四月十五日
勅令第六十八號

陸軍准士官ノ身分取扱ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 陸軍准士官ノ身分取扱ニ付テハ陸軍將校分限令ヲ準用ス

第二條 准士官ニ待命、休職、停職若ハ轉役ヲ命シ又ハ其ノ官ヲ免スルハ陸軍大臣之ヲ行フ但シ特務曹長ニ待命、

休職、停職又ハ轉役ヲ命スルハ所管長官之ヲ行フ

附則

明治二十七年勅令第二百二號ハ之ヲ廢止ス

●陸軍諸部團隊等ニ豫

備役後備役ノ者ヲ以

テ補充セシ場合身分

取扱方

明治三十四年七月十三日
勅令第四百四十五號

朕陸軍諸部團隊官衙學校ニ豫備役後備役ノ者ヲ以テ補充セシ場合ニ於ケル身分取扱ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム豫備役後備役ノ者ヲ以テ陸軍諸部團隊官衙學校ニ於ケル將校・同相當官以下ニ補充シタルトキハ其ハ身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ

附則

明治三十三年勅令第三百十四號ハ之ヲ廢止ス

●海軍將校分限令

明治二十四年七月二十三日
勅令第七十九號

(一部改正)

明治三〇年一二月勅令第四三九號、三二年三月同第六六號、大正四年一二月同第二一九號

朕陸海軍將校分限令中海軍將校分限ニ關スル件ヲ廢シ海軍將校分限令制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

海軍將校分限令

第一條 海軍將校トハ大將中將少將大佐中佐少佐大尉中尉少尉ヲ云フ

第二條 將校ハ終身其官ヲ保有シ其制服ヲ著シ其官ニ對スル禮遇ヲ享ク之ヲ將校ノ分限トス

第三條 將校ハ左ニ掲ケル事項ノ一ニ依ルニ非レハ其分限ヲ失フコトナシ

第一 本人ノ請願ヲ許容シ其官ヲ免セラレタルトキ

第二 日本人タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

第三 刑ニ處セラレ其官ヲ失ヒタルトキ

第四 武官タルノ本分ニ背キ勅裁ニ依リ免官トナリタルトキ

第四條 本令ハ機關將校、將校相當官、特務士官、豫備將校、豫備機關將校及豫備特務士官ニ適用ス

第十編 補充

◎陸軍補充令

明治四十四年十月二十六日
勅令第二百七十號

(一部改正) 大正三年一〇月勅令第二〇六號、四年一二月同
第一九七號

朕陸軍補充令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
陸軍補充令

第一章 總則

第一條 陸軍將校、同相當官、准士官、下士、憲兵上等兵
看護卒、磨工卒及樂手補ノ補充ニ關シテハ別ニ定ムルモ
ノノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令中特ニ明文アル場合ヲ除クノ外兵科部及役種
ハ補充ニ因リ之ヲ變更スルコトナシ

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第三條 步、騎、砲、工、輜重兵科現役士官ハ士官候補生

ニシテ少尉ニ任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

憲兵科現役士官ハ他兵科ノ士官ヨリ轉科セシム

第四條 士官候補生ハ陸軍中央幼年學校本科卒業者ノ外左

ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者ヨリ之ヲ採用ス但シ第一號ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ學業成績優秀ナル者ニハ學科試験ヲ省略スルコトヲ得

一 中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニシテ陸軍大臣ノ指定シタルモノヲ卒業シタル者但シ准士官下士兵卒及陸軍諸生徒ヲ除ク

二 一年志願兵中品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長ノ保證ヲ得タル者

三 陸軍現役下士中中學校卒業以上ノ學力ヲ有シ品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長又ハ所屬長官ノ保證ヲ得タル者

第五條 士官候補生ニ採用スヘキ人員ハ陸軍大臣毎年之ヲ定ム

第六條 士官候補生召募ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七條 士官候補生ニ採用スヘキ者ハ教育總監之ヲ定メ順序ヲ附シタル採用名簿ヲ調製シ各隊配賦名簿ヲ添ヘテ之ヲ陸軍大臣ニ移送ス

第八條

士官候補生ハ陸軍大臣前條ノ名簿ニ基キ之ヲ命シ各隊ニ配賦シ概ネ一年間該隊ニ於テ下士兵卒ノ勤務(雜役ヲ除ク)及之ニ必要ナル軍學ヲ習得セシム但シ陸軍中央幼年學校出身者ノ在隊期間ハ概ネ六月トス

下士又ハ一年志願兵ヨリ士官候補生ニ採用シタル者ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辭令ヲ用キス其ノ官又ハ服役ヲ免ス

第九條 士官候補生ニシテ陸軍中央幼年學校出身ノ者ハ入隊ノ後直ニ之ニ上等兵ノ階級ヲ與ヘ概ネ二月ノ後伍長ノ階級ニ、概ネ三月ノ後軍曹ノ階級ニ進メ其ノ他ノ者ハ入隊ノ後直ニ之ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘ概ネ六月ノ後上等兵ノ階級ニ、概ネ八月ノ後伍長ノ階級ニ、概ネ九月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

第十條 士官候補生第八條ノ勤務ヲ習得シタルトキハ教育總監ハ之ヲ陸軍士官學校ニ入校セシム

第十一條 士官候補生陸軍士官學校ノ卒業試験ニ及第シ歸隊シタルトキハ曹長ノ階級ニ進メ之ニ見習士官ヲ命シ概ネ六月間該隊ニ於テ士官ノ勤務ヲ習得セシム

第十二條 見習士官ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校詮衡會議ニ於テ之ヲ決ス
前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ當該兵科ノ少尉ニ任セラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第十三條 士官候補生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ士官候補生ヲ免ス

一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改校ノ日途ナキ者

二 學力乏シクシテ士官候補生タルニ適セサル者

三 將校タルノ才能ニ乏シキ者

四 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ヌ又ハ疾病若ハ傷痍ノ爲陸軍士官學校ニ分遣シ得サル者

五 陸軍士官學校條例ニ依リ退校歸隊ヲ命セラレタル者

六 將校詮衡會議ニ於テ否決シタル者

七 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役ニ堪ヘサル者

八 前各號ニ掲グル者ノ外士官候補生タルヲ得ヘカラス

ト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ下士又ハ一年志願兵出身ノ士官候補生ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部(階級工長又ハ計手タリシ者ハ前兵科)ノ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲シ第二號乃至第六號及第八號ニ該當スル者並第七號ニ該當シ豫備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部及階級ノ下士ニ任シ又ハ兵卒ト爲ス

第十四條 士官候補生諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得、若ハ

疾病、傷痍ノ爲陸軍士官學校ニ分遣シ得サル者又ハ陸軍士官學校分遣中卒業ノ日途ナク、疾病傷痍ニ依リ修學ニ堪ヘス若ハ卒業試験ニ落第シ歸隊シタル者ニシテ仍望アル者ハ一回限り次ノ入校期迄所屬隊ニ止マラシムルコトヲ得

第二款 經理部士官

第十五條 經理部現役士官ハ主計候補生ニシテ三等主計ニ任セララルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ補充ス

第十六條 主計候補生ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者ヨリ之ヲ採用ス但シ第一號ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ學業成績優秀ナル者ニハ學科試験ヲ省略スルコトヲ得

一 中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニシテ陸軍大臣ノ指定シタルモノヲ卒業シタル者但シ准士官下士兵卒及陸軍諸生徒ヲ除ク

二 一年志願兵中品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長ノ保證ヲ得タル者

三 陸軍現役下士中中學校卒業以上ノ學力ヲ有シ品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長又ハ所屬長官ノ保證ヲ得タル者

第十七條 主計候補生ニ採用スヘキ人員ハ陸軍大臣毎年之

ヲ定ム

第十八條 主計候補生召募ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條 主計候補生ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ歩兵聯隊ニ配賦シ概ネ九月間該隊ニ於テ士官候補生ト共ニ同一ノ勤務及軍事學ヲ習得セシム

下士又ハ一年志願兵ヨリ主計候補生ニ採用シタル者ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辭令ヲ用キ其ノ官又ハ服役ヲ免ス

第二十條 主計候補生ハ入隊ノ後直ニ之ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘ概ネ六月ノ後上等兵ノ階級ニ、概ネ八月ノ後三等計手ノ階級ニ進メ陸軍經理學校ニ分遣ノ際二等計手ノ階級ニ進ム

第二十一條 主計候補生第十九條ノ勤務ヲ習得シタルトキハ之ヲ陸軍經理學校ニ入校セシム

第二十二條 主計候補生陸軍經理學校ノ卒業試験ニ於テ命シ概ネ六月間所屬隊及當該師團經理部ニ於テ經理部士官ノ勤務ヲ習得セシム

第二十三條 見習主計ヲ經理部士官ト爲スノ可否ハ師團經理部所在地ニ於ケル當該經理部所管一等主計以上ヲ以テ組織スル經理部士官詮衡會議ニ於テ之ヲ決ス
前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ三等主計ニ任セラレル

ノ資格ヲ具フルモノトス

第二十四條 主計候補生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ主計候補生ヲ免ス

- 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
 - 二 學力乏シクシテ主計候補生タルニ適セサル者
 - 三 經理部士官タルノ才能ニ乏シキ者
 - 四 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス又ハ疾病若ハ傷痍ノ爲陸軍經理學校ニ分遣シ得サル者
 - 五 陸軍經理學校條例ニ依リ退校歸隊ヲ命セラレタル者
 - 六 經理部士官詮衡會議ニ於テ否決シタル者
 - 七 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役ニ堪ヘサル者
 - 八 前各號ニ掲ケル者ノ外主計候補生タルヲ得ヘカラスト認メタル者
- 前項ノ規定ニ依リ下士又ハ一年志願兵出身ノ主計候補生ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部(蹄鐵工長又ハ計手タリシ者ハ前兵科)ノ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲シ第二號乃至第六號及第八號ニ該當スル者竝第七號ニ該當シ豫備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部及階級ノ下士ニ任シ又ハ兵卒ト爲ス

第二十五條 主計候補生諸勤務ノ習得ガ分ノ結果ヲ得ス又ハ疾病、傷痕ノ爲陸軍經理ハ校ニ分遣シ得サル者ニシテ仍望アル者ハ一回限り次ノ入校期迄所屬隊ニ止マラシムルコトヲ得

第三款 衛生部士官

第二十六條 衛生部現役士官ハ見習醫官又ハ見習藥劑官ニシテ二等軍醫、二等藥劑士、三等軍醫又ハ三等藥劑士ニ任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第二十七條 見習醫官又ハ見習藥劑士ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一 帝國大學醫科大學學生ニシテ陸軍衛生部依託學生ト爲リ同大學ヲ卒業シタル者

二 官立公立又ハ醫師法第一條若ハ藥品營業並藥品取扱規則第四十六條ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ醫學專門學校又ハ藥學專門學校ノ生徒ニシテ陸軍衛生部依託生徒ト爲リ同學校ヲ卒業シタル者

三 軍醫生又ハ藥劑生タル一年志願兵

四 前各號ニ該當セサル者ニシテ帝國大學醫科大學若ハ第二號ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ外國ノ醫學校若ハ藥學校ヲ卒業シ醫師免許證若ハ藥劑師免狀ヲ有スル者但シ准士官下士兵卒ヲ除ク

第二十八條 見習醫官又ハ見習藥劑官ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ歩兵聯隊ニ配賦シ概ネ六月間所屬隊及衛戍病院ニ於テ衛生部士官ノ勤務ヲ習得セシム

見習醫官又ハ見習藥劑官ノ身分ハ一等看護長ノ階級トス一年志願兵出身ノ見習醫官又ハ見習藥劑官ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辭令ヲ用キス其ノ官又ハ服役ヲ免ス

第二十九條 見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ衛生部士官ト爲スノ可否ハ師團軍醫部所在地ニ於ケル當該軍醫部所管一等軍醫以上及一等藥劑官以上ヲ以テ組織スル衛生部士官餘衛會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ帝國大學醫科大學ヲ卒業シタル者及外國ノ醫學校又ハ藥學校ヲ卒業シ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ在リテハ二等軍醫又ハ二等藥劑官ニ、其ノ他ノ者ニ在リテハ三等軍醫又ハ三等藥劑官ニ任セラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第三十條 見習醫官又ハ見習藥劑官ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ免ス

- 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改校ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ見習醫官又ハ見習藥劑官タルニ適セサル者

- 三 衛生部士官タルノ才能ニ乏シキ者
 - 四 衛生部士官詮衡會議ニ於テ否決シタル者
 - 五 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役ニ堪ヘサル者
 - 六 前各號ニ掲グルル者ノ外見習醫官又ハ見習藥劑官タルヲ得ヘカラスト認メタル者
- 前項ノ規定ニ依リ一年志願兵出身ノ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ一等看護卒ト爲シ第二號乃至第四號及第六號ニ該當スル者並第五號ニ該當シ豫備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ一等看護長ニ任ス

第四款 獸醫部士官

第三十一條 獸醫部現役士官ハ見習獸醫官ニシテ二等獸醫又ハ三等獸醫ニ任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第三十二條 見習獸醫官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

- 一 帝國大學農科大學獸醫科學生ニシテ陸軍獸醫部依託學生ト爲リ同學科ヲ卒業シタル者
- 二 帝國大學農科大學獸醫學實科生徒又ハ官立實業專門學校獸醫學科生徒ニシテ陸軍獸醫部依託生徒ト爲リ同學科ヲ卒業シタル者

三 獸醫生タル一年志願兵

四 前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若ハ第二號ノ學科ヲ卒業シタル者又ハ外國ノ獸醫學校ヲ卒業シ獸醫免狀ヲ有スル者但シ准士官下士兵卒ヲ除ク

第三十三條 見習獸醫官ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ騎、砲、輜重兵隊ニ配賦シ概ネ六月間該隊ニ於テ獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシム

見習獸醫官ノ身分ハ一等蹄鐵工長ノ階級トス
一年志願兵出身ノ見習獸醫官ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辭令ヲ用キス其ノ官又ハ服役ヲ免ス

第三十四條 見習獸醫官ヲ獸醫部士官ト爲スノ可否ハ師團獸醫部所在地ニ於ケル當該獸醫部所管一等獸醫以上ヲ以テ組織スル獸醫部士官詮衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ帝國大學農科大學獸醫學科ヲ卒業シタル者及外國ノ獸醫學校ヲ卒業シ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ在リテハ二等獸醫ニ、其ノ他ノ者ニ在リテハ三等獸醫ニ任セラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第三十五條 見習獸醫官ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ見習獸醫官ヲ免ス

- 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改

檢ノ目途ナキ者

- 二 學力乏シクシテ見習獸醫官タルニ適セサル者
- 三 獸醫部士官タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 獸醫部士官詮衡會議ニ於テ否決シタル者
- 五 疾病又ハ傷痕ニ依リ現役ノ服役ニ堪ヘサル者
- 六 前各號ニ掲グル者ノ外見習獸醫官タルヲ得ヘカラスト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ一年志願兵出身ノ見習獸醫官ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ原兵科ノ一等卒ト爲シ第二號乃至第四號及第六號ニ該當スル者並第五號ニ該當シ豫備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ二等踏鐵工長ニ任ス

第三章 豫備役將校同相當官ノ補充

第三十六條 豫備役將校同相當官ハ一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入りタル者ニシテ少尉同相當官ニ任セラレルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第三十七條 一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入りタル者ヲ豫備役士官ニ任スルニハ之ヲ第一次及第二次勤務演習ニ召集スレコトヲ要ス其ノ期間ハ毎回少クトモ三月トス

第三十八條 第一次勤務演習ニ召集シタル者ニ付テハ其ノ終ニ於テ試験ヲ行ヒ其ノ成績ト平素勤務ノ成績トヲ參酌

シ及第者ハ召集解除ノ際曹長同相當官ニ任ス
前項試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三十九條 第二次勤務演習ニハ前條ノ規定ニ依リ曹長同相當官ニ任シタル者ニ就キ師團長所要ノ人員ヲ選抜シテ之ヲ召集ス

第四十條 第二次勤務演習ニ召集シタル者ハ其ノ演習期間之ニ豫備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ命ス其ノ取扱及教育ハ現役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ニ準ス

第四十一條 第二次勤務演習ニ召集シタル者ヲ少尉同相當官ト爲スノ詮衡及其ノ任官ノ資格ニ關シテハ第十二條、第二十三條、第二十九條又ハ第三十四條ノ例ニ依ル

第四十二條 第一次又ハ第二次勤務演習ニ召集中ノ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ召集ヲ解除ス
一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改檢ノ目途ナキ者

- 二 豫備役士官タルノ才能ニ乏シキ者
- 三 疾病又ハ傷痕ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者
- 四 前各號ニ掲グル者ノ外豫備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官タルヲ得ヘカ

ラスト認めタル者

前項ノ規定ニ依リ第一號ニ該當スル者ノ召集ヲ解除シタルトキハ之ヲ原兵科ノ一等卒又ハ一等看護卒ト爲ス

第四十三條 前條第三號ニ該當スル者ハ其ノ志願ニ依リ更ニ之ヲ次ノ第一次又ハ第二次勤務演習ニ召集スルコトヲ得

第四章 現役下士ノ補充

第四十四條 憲兵科現役下士ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 憲兵上等兵ニシテ二年以上憲兵ノ職務ニ服シ品行方正志操確實ナル者
- 二 歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士（砲兵諸工長ヲ除ク）中六年以上現役ニ服シ品行方正志操確實ニシテ憲兵ニ轉科ヲ志願シ補充検査ニ合格シ且一年以上現役期限ヲ有スル者
- 三 豫備役後備役憲兵上等兵ニシテ下士適任證書ヲ有シ現役満期後二年内ニ現役下士ヲ志願スル者
- 四 豫備役後備役憲兵軍曹伍長中品行方正志操確實ニシテ現役満期後二年内ニ現役ヲ志願スル者
- 五 豫備役後備役歩、騎、砲、工、輜重兵軍曹伍長中六年以上現役ニ服シ品行方正志操確實ニシテ現役満期

後二年内ニ現役憲兵下士ヲ志願シ補充検査ニ合格シタル者

第四十五條 歩、騎、砲、工、輜重兵科現役下士（砲兵諸

工長ヲ除ク）ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 各兵科兵卒（輸卒ヲ除ク）中下士ヲ志願シタル者ニシテ二年以上在營シ下士タルニ適スル者
- 二 各兵科下士適任證書ヲ有スル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレ又ハ現役期間満ツル迄在營シテ豫備役ニ入り退營後二年内ニ現役下士ヲ志願スル者
- 三 豫備役後備役軍曹伍長ニシテ現役満期後二年内ニ現役ヲ志願スル者

第四十六條 現役砲兵諸工長ハ砲兵工長候補者ニシテ陸軍

砲兵工科學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第四十條 現役計手ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 一年以上在營シタル歩、騎、砲、工、輜重兵上等兵ニシテ計手ヲ志願シ之ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者
- 二 計手適任證書ヲ有スル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレ又ハ現役期限満ツル迄在營シテ豫備役ニ入り退營後二年内ニ現役計手ヲ志願スル者
- 三 豫備役後備役ノ二等計手又ハ三等計手ニシテ現役満

期後二年以内ニ現役ヲ志願スル者

第四十八條 現役縫、靴工長ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ補充ス

一 縫、靴工卒中縫、靴工長ヲ志願シタル者ニシテ二年以上在營シ縫、靴工長ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

二 縫、靴工長適任證書ヲ有スル上等縫、靴工卒ニシテ歸休ヲ命セラレ又ハ現役期限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入り退營後二年以内ニ現役縫、靴工長ヲ志願スル者

三 豫備役後備役縫、靴工長ニシテ現役滿期後二年以内ニ現役ヲ志願スル者

第四十九條 現役看護長又ハ磨工長ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ補充ス

一 看護卒又ハ磨工卒中看護長又ハ磨工長ヲ志願シタル者ニシテ二年以上在營シ看護長又ハ磨工長タルニ適スル者

二 看護長適任證書ヲ有スル上等看護卒ニシテ歸休ヲ命セラレ退營後二年以内ニ現役看護長ヲ志願スル者

三 豫備役後備役ノ二等看護長若ハ三等看護長又ハ二等磨工長若ハ三等磨工長ニシテ現役滿期後二年以内ニ

現役ヲ志願スル者

第五十條 現役蹄鐵工長ハ蹄鐵工長候補者ニシテ陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第五十一條 蹄鐵工長候補者ハ一年以上在營シタル現役蹄鐵工卒ニシテ再服役ヲ志願シ蹄鐵工長タルニ適スル者ヨリ採用シ陸軍獸醫學校ニ分遣ス

第五十二條 蹄鐵工長候補者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蹄鐵工長候補者ヲ免ス

一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

二 學術ノ習得不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

三 疾病又ハ傷疾ニ依リ卒業ノ目途ナキ者

四 卒業試験ニ落第シタル者

第五十三條 現役樂手ハ樂手補ニシテ樂手ヲ志願シ一年以上在營シ下士タルノ技能ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第五章 豫備役後備役下士ノ補充

第五十四條 各兵科部豫備役後備役下士ハ各兵科部下士適任證書ヲ有スル兵卒ヲ以テ之ヲ補充ス

前項ノ場合ニ於テ下士適任證書ノ種類ニ依リ兵科部ノ變更ヲ要スル者ハ之ヲ當該兵科部ニ轉セシム

第五十五條 前條ノ補充ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限り之ヲ爲

ス但シ平時ノ勤務演習ニ於テ技能ヲ査閲シ適當ト認メタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 豫備役後備役各兵科上等兵、上等看護卒及上等磨工卒ハ下士適任證書ヲ有スル者ニ在リテハ二月以上、其ノ他ノ者ニ在リテハ一年以上平時部隊ニ勤務シ其ノ成績優秀ナル者ニ限り之ヲ以テ下士ヲ補充スルコトヲ得

第六章 現役憲兵上等兵、看護卒、磨工卒及樂手補ノ補充

第五十七條 現役憲兵上等兵ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科兵卒(輸卒ヲ除ク)中一年以上在營シ年齢二十年以上ノ品行方正志操確實ナル者ニシテ憲兵ヲ志願シ三月以上憲兵上等兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習得シ補充検査ニ合格シタル者ヲ以テ補充ス

第五十八條 現役看護卒及磨工卒ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 隊附上等看護卒ニ在リテハ概ネ四月間在營シタル歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ初年兵ニシテ概ネ八月間看護學ヲ習得シタル者但シ對馬警備隊ニ於テハ其ノ各期間ヲ半減ス
- 二 病院附二等看護卒及二等磨工卒ニ在リテハ其ノ所在

地ノ歩兵聯隊(歩兵聯隊ナキ地ニ於テハイノ軍隊)ノ初年兵ニシテ概ネ四月間在營シタル者

第五十九條 現役樂手補ハ陸軍戸山學校軍樂生徒ノ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第七章 特別補充

第六十條 戰時又ハ事變ノ際ニハ前各章ニ依ルノ外本章ニ依リ必要ニ應ジ士官以下ヲ補充スルコトヲ得

第六十一條 士官ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

- 一 現役豫備役後備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官
 - 二 現役豫備役後備役ノ特務曹長又ハ上等計手ニシテ曹長同相當官ニ任セラレタル日ヨリ二年以上實務ニ服シタル者
 - 三 豫備役後備役上等看護長ニシテ衛生部士官勤務適任證書ヲ有スル者
 - 四 豫備役後備役上等蹄鐵工長ニシテ獸醫部士官勤務適任證書ヲ有スル者
- 前項補充ノ時期及區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第六十二條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ左ニ掲クル者ヲ以テ豫備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑

官又ハ見習獸醫官ト爲スコトヲ得

一 下士ニシテ各兵科部士官勤務適任證書ヲ有スル者

二 軍醫生藥劑生又ハ獸醫生タル一年志願兵

三 前各號ニ該當セサル現役豫備役下士又ハ現役豫備役補充兵役兵卒ニシテ醫師免許證、醫術開業免狀、藥劑師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

四 前各號ニ掲グル者ノ外醫師免許證、醫術開業免狀、藥劑師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

前項第四號ニ該當スル者ノ採用ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六十三條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ左ニ掲グル者ヲ

以テ後備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ト爲スコトヲ得

一 下士ニシテ各兵科部士官勤務適任證書ヲ有スル者

二 前號ニ該當セサル下士兵卒ニシテ醫師免許證、醫術開業免狀、藥劑師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

第六十四條 前二條ノ規定ニ依リ豫備役後備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ト爲リタル者ノ身分取扱ハ現役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ニ準ス

第六十五條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ左ニ掲グル者ヲ

以テ下士ヲ補充スルコトヲ得

一 一年志願兵ニシテ四月以上在營シタル者

二 現役豫備役後備役補充兵役ノ上等兵、上等看護卒又ハ上等磨工卒

三 踏鐵工長候補者ニシテ概ネ六月以上陸軍獸醫學校ニ於テ修業シタル者

四 現役豫備役後備役上等兵タル踏鐵工卒ニシテ踏鐵工長タルノ技能ヲ有スル者

第六十六條 憲兵科豫備役後備役士官准士官下士上等兵ハ士官准士官下士ニ在リテハ同官等ノ他兵科士官准士官下士、上等兵ニ在リテハ他兵科兵卒(輪卒ヲ除ク)ニシテ憲兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第六十七條 豫備役後備役憲兵伍長ハ憲兵上等兵ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第六十八條 豫備役後備役憲兵上等兵ハ憲兵上等兵タルニ適スル兵卒(輪卒ヲ除ク)ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第六十九條 砲兵伍長ハ火工下士候補學生ニシテ概ネ八月以上陸軍砲兵工科學校ニ於テ修業シタル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第七十條 砲兵諸工長ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ補充スル

コトヲ得

- 一 砲兵工長候補者ニシテ概ネ一年四月以上陸軍砲兵工科學校ニ於テ修業シタル者
- 二 鞍、銃、木、鍛工卒ニシテ陸軍砲兵工科學校ニ分遣セラレ概ネ六月間砲兵諸工長ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

前項第二號ノ分遣ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七十一條 計手ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科現役豫備役後備役補充兵役上等兵ニシテ計手ヲ志願シ隊附主計ニ附關シテ計手ノ勤務ヲ習得シタル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第七十二條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ概ネ二月間在營シタル兵卒ニシテ概ネ四月間看護學ヲ修メタル者ヲ以テ上等看護卒ヲ補充スルコトヲ得

第七十三條 病院附二等看護卒及二等磨工卒ハ概ネ一月間在營シタル兵卒ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第七十四條 第六十一條ノ規定ニ依ル任官ハ戰地ニ在リテハ陸軍武官進級令又ハ陸軍豫備後備武官進級令ニ依リ進級補除ノ權ヲ委任セラレタル首將之ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六十一條第二項ノ規定ヲ適用セス

第七十五條 第六十二條又ハ第六十三條ノ規定ニ依リ豫備

役後備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ト爲リタル者ハ復員ノ際之ヲ免シ其ノ現ニ曹長同相當官ノ官等ヲ有セサル者ハ第六十二條第四號ニ該當スル者ヲ除クノ外之ヲ曹長相當官ニ任ス

第八章 雜則

第七十六條 陸軍士官勤務適任證書ハ士官ノ勤務ニ必要ナル才能ヲ有スル者、陸軍下士適任證書ハ下士タルノ才能ヲ有スル者ニ之ヲ付與ス其ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七十七條 將校銓衡會議及各部士官銓衡會議ニ關スル規定ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七十八條 銓衡會議ニ於テ可決シタル者ハ任官ニ至ル迄部隊ニ在リテ士官ノ勤務ニ服セシム

第七十九條 士官候補生、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官及見習獸醫官ハ情願ヲ以テ之ヲ免スルコトナシ

第八十條 憲兵科下士上等兵ノ補充検査ニ關スル規定ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第八十一條 各兵科下士ノ任官ハ憲兵科下士ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ憲兵司令官、他兵科下士（砲兵諸工長ヲ除ク）ニ在リテハ師團長ノ認可ヲ受ケ聯隊長、砲兵諸工長ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ東京砲兵工廠提理之ヲ行フ

各部下士ノ任官ハ計手衛生部下士又ハ獸醫部下士ニ在リテハ師團長ノ認可ヲ受ケ師團經理部長師團軍醫部長又ハ師團獸醫部長、縫靴工長ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ被服本廠長之ヲ行ヒ軍樂部下士ニ在リテハ師團ニ於テハ師團長之ヲ行ヒ陸軍戸山學校ニ於テハ教育總監ノ認可ヲ受ケ陸軍戸山學校長之ヲ行フ

戰時又ハ事變ノ際ニハ下士ノ任軍ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ聯隊長、師團經理部長、師團軍醫部長、師團獸醫部長又ハ之ト同等以上ノ權アル部隊長之ヲ行フコトヲ得第五十五條但書ノ場合亦同シ

戰時又ハ事變ノ際ニハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ時宜ニ依リ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル隊長ヲシテ下士ノ任官ヲ專行セシムルコトヲ得

第八十二條 本令中師團長ニ關スル規定ハ朝鮮駐劄軍司令官臺灣總督關東都督ニ、憲兵司令官ニ關スル規定ハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官ニ、師團經理部長ニ關スル規定ハ朝鮮駐劄軍經理部長臺灣總督府陸軍經理部長關東都督府陸軍經理部長ニ、師團軍醫部長ニ關スル規定ハ朝鮮駐劄軍醫部長臺灣總督府陸軍醫部長關東都督府陸軍醫部長ニ、師團獸醫部長ニ關スル規定ハ臺灣總督府陸軍獸醫部

長ニ、聯隊長ニ關スル規定ハ獨立隊長ニ之ヲ適用ス

附則

第八十三條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十四條 陸軍補充條例、明治三十年勅令第九十四號、明治三十七年勅令第一百號、同年勅令第三百三十四號及同年勅令第二百一號ハ之ヲ廢止ス

第八十五條 縫、靴工又ハ縫、靴工長ノ勤務ニ服スル現役兵卒ニシテ縫、靴工長ヲ志願シ適任ト認ムル者ハ當分ノ内陸軍被服廠ニ於テ必要ナル學術ヲ習得セシメ之ヲ三等縫、靴工長ニ任スルコトヲ得

第八十六條 縫、靴工長適任證書ヲ有スル豫備役後備役上等兵ニシテ縫、靴工長ノ勤務ニ服シタル者ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限リ當分ノ内之ヲ三等縫、靴工長ニ任スルコトヲ得

第八十七條 豫備役後備役兵卒ニシテ陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限リ當分ノ内之ヲ三等縫、靴工長ニ任スルコトヲ得

第八十八條 本令施行ノ際一年志願兵終末試験及第證書ヲ有スル者ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

●陸軍補充令施行規則

明治四十四年十月二十六日
陸軍省令第九號

(一部改正)

大正三年二月陸軍省令第一號、四年一月同第一四號、大正五年七月同第八號

陸軍補充令施行規則左ノ通定ム
陸軍補充令施行規則

第一章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第一條 陸軍補充令第九條ニ依リ士官候補生ニ相當階級ヲ與ヘ又ハ其ノ階級ヲ進ムルハ聯隊長之ヲ行フ

第二條 聯隊長ハ士官候補生ノ教育成績報告書ヲ調製シ之ヲ師團長ニ提出シ師團長ハ各兵科士官候補生ノ連名簿ヲ調製シ聯隊長ヨリ出シタル成績報告書ト共ニ十月三十一日迄ニ教育總監ニ提出スヘシ

第三條 教育總監ハ前條ノ書類ニ依リ陸軍士官學校ニ入學セシムヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ師團長ハ聯隊長ヲシテ本人ニ入校ヲ命セシム

第四條 陸軍補充令第十一條ニ依リ士官候補生ヲ曹長ノ階級ニ進メ之ニ見習士官ヲ命スルハ聯隊長之ヲ行フ

第五條 見習士官ニシテ士官ノ勤務ヲ習得シタルトキハ聯隊長ハ其ノ調育ニ任シタル中隊長ヲシテ本人ノ學術及勤

務等ニ付將校タルヲ得ヘキ保證書ヲ出サシメ之ヲ是認シタル後該隊ノ將校銓衡會議ニ付ス

第六條 將校銓衡會議ハ聯隊長議長ト爲リ之ヲ開ク

前項ノ會議ニ於テハ議長ヲ除クノ外之ヲ組織スル將校ハ自ラ可否ノ意見ヲ銓衡報告書ニ記入シ之ニ署名スヘシ但シ前條ノ保證書ヲ出シタル者ハ此限ニ在ラス

第七條 將校銓衡會議終リタルトキハ聯隊長ハ銓衡報告書ニ基キ銓衡報告表ヲ調製シ同會議ニ於テ可決シタル者ニ付順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ少尉ニ任セラルルノ資格ヲ具フルコトヲ師團長ニ上申スヘシ但シ銓衡報告書中幾分ノ否トスルモノアルトキハ其ノ事由ヲ銓衡報告表ニ記入スヘシ

師團長ハ前項ノ書類ニ意見ヲ附シテ陸軍大臣ニ提出シ且其ノ寫ヲ教育總監ニ提出スヘシ

第八條 陸軍補充令第十三條各號ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長ハ其ノ事由ヲ悉シテ師團長ニ上申シ師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申スヘシ但シ第六號ニ該ル者ニ付テハ聯隊長ハ其ノ事由ヲ具シ銓衡報告表ヲ添ヘ師團長ニ上申シ師團長ハ前條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ
陸軍大臣ハ士官候補生ヲ免スヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ且教育總監ニ移牒ス

師團長ハ前項ノ告達ニ基キ聯隊長ヲシテ處分セシム
第九條 陸軍補充令第十四條ニ該ル者ヲ次ノ入校期迄在隊
セシムル手續ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用シ之ヲ陸軍士官
學校ニ入校セシムルノ手續ハ第二條及第三條ニ依ル

第二款 經理部士官

第十條 陸軍補充令第二十條ニ依リ主計候補生ニ一等卒ノ
階級ヲ與ヘ又ハ其ノ階級ヲ進ムルハ聯隊長之ヲ行フ

第十一條 聯隊長ハ主計候補生ノ教育成績報告書ヲ調製シ
師團長ニ提出シ師團長ハ主計候補生ノ連名簿ヲ調製シ聯
隊長ヨリ出シタル成績報告書ト共ニ八月十日迄ニ陸軍大
臣ニ提出スヘシ

第十二條 陸軍大臣ハ陸軍經理學校ニ入學セシムヘキ主計
候補生ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ師團長ハ聯隊長ヲシテ本
人ニ入校ヲ命セシム

第十三條 陸軍補充令第二十二條ニ依リ主計候補生ヲ一等
計手ノ階級ニ進メ之ニ見習主計ヲ命スルハ聯隊長之ヲ行
フ

第十四條 見習主計ノ教育ハ所屬步兵聯隊ノ高級主計及師
團經理部長ノ命シタル師團經理部員其ノ責ニ任シ師團
經理部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ付テハ聯隊長之ヲ
監督ス

第十五條 見習主計ニシテ經理部士官ノ勤務ヲ習得シタル
トキハ師團經理部長ハ其ノ教育ニ任シタル者ヲシテ本人
ノ學術及勤務等ニ付經理部士官タルヲ得ヘキ保證書ヲ出
サシメ且本人ノ勤務品行等ニ關スル聯隊長ノ證明書ヲ得
師團經理部長之ヲ是認シタル後經理部士官銓衡會議ニ付
ス

第十六條 經理部士官銓衡會議ハ師團經理部長議長ト爲リ
之ヲ開ク

前項ノ會議ニ於テハ議長ヲ除クノ外之ヲ組織スル將校相
當官ハ自ラ可否ノ意見ヲ銓衡報告書ニ記入シ之ニ署名ス
ヘシ但シ前條ノ保證書ヲ出シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 經理部士官銓衡會議終リタルトキハ師團經理部
長ハ銓衡報告書ニ基キ銓衡報告表ヲ調製シ同會議ニ於テ
可決シタル者ニ付順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ三等主計
ニ任セラルルノ資格ヲ具フルコトヲ師團長ニ上申スヘシ
但シ銓衡報告書中幾分ノ否トスルモノアルトキハ其ノ事
由ヲ銓衡報告表ニ記入スヘシ

師團長ハ前項ノ書類ニ意見ヲ附シテ陸軍大臣ニ提出スヘ
シ

師團經理部長ハ經理部士官銓衡會議ノ結果ヲ見習主計所
屬ノ隊長ニ通報スルト共ニ陸軍省經理局長ニ上申スヘシ

第十八條 陸軍補充令第二十四條各號ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長ハ其ノ事由ヲ悉シ且第二號第三號又ハ第八號ニ該ル者ニ在リテハ師團經理部長ノ意見書ヲ得テ之ヲ添附シ師團長ニ上申シ師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申スヘシ但シ第六號ニ該ル者ニ付テハ前條第一項及第二項ノ手續ニ準シ銓衡報告表ヲ添へ否決ノ事由ヲ上申スヘシ陸軍大臣ハ主計候補生ヲ免スヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ師團長ハ聯隊長ヲシテ之ヲ處分セシム

第十九條 陸軍補充令第二十五條ニ該ル者ヲ次ノ入校期迄在隊セシムル手續ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用シ之ヲ陸軍經理學校ニ入校セシムルノ手續ハ第十一條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第三款 衛生部士官

第二十條 見習醫官ノ教育ハ所屬步兵聯隊ノ高級醫官、見習藥劑官ノ教育ハ衛戍病院長其ノ責ニ任シ當該師團軍醫部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ付テハ聯隊長之ヲ監督ス

第二十一條 見習醫官、見習藥劑官ニシテ衛生部士官ノ勤務ヲ習得シタルトキハ師團軍醫部長ハ其ノ教育ニ任シタル者ヲシテ本人ノ學術及勤務等衛生部士官タルヲ得ヘキ保證書ヲ出サシメ且本人ノ勤務品行等ニ關スル聯隊長ノ

證明書ヲ得師團軍醫部長之ヲ是認シタル後衛生部長官銓衡會議ニ付ス但シ同銓衡會議ニ付スヘキ者ハ醫師免許證又ハ藥劑師免狀ヲ有スルコトヲ要ス

第二十二條 衛生部長官銓衡會議ハ師團軍醫部長議長ト爲リ之ヲ開ク

前項ノ會議ニ於テハ議長ヲ除クノ外之ヲ組織スル將校相當官ハ自ラ可否ノ意見ヲ銓衡報告書ニ記入シ之ニ署名スヘシ但シ前條ノ保證書ヲ出シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 衛生部、官銓衡會議終リタルトキハ師團軍醫部長ハ銓衡報告書ニ基キ銓衡報告表ヲ調製シ同會議ニ於テ可決シタル者ニ付順序ヲ定メタル連名簿ヲ添へ二等軍醫、三等軍醫又ハ二等藥劑官、三等藥劑官ニ任セラルルノ資格ヲ具フルコトヲ師團長ニ上申スヘシ但シ銓衡報告書中幾分ノ否トスルモノアルトキハ其ノ事由ヲ銓衡報告表ニ記入スヘシ

師團長ハ前項ノ書類ニ意見ヲ附シテ陸軍大臣ニ提出スヘシ
師團軍醫部長ハ衛生部長官銓衡會議ノ結果ヲ見習醫官、見習藥劑官所屬ノ隊長ニ通報スルト共ニ陸軍省醫務局長ニ上申スヘシ

第二十四條 陸軍補充令第三十條各號ノ一ニ該ル者アルト

キハ聯隊長ハ其ノ事由ヲ悉シ且第二號第三號又ハ第六號ニ該ル者ニ在リテハ師團軍醫部長ノ意見書ヲ得テ之ヲ添附シ師團長ニ上申シ師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申スヘシ但シ第四號ニ該ル者ニ付テハ前條第一項及第二項ノ手續ニ準シ銓衡報告表ヲ添ヘ否決ノ事由ヲ上申スヘシ陸軍大臣ハ見習醫官、見習藥劑官ヲ免スヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ師團長ハ聯隊長ヲシテ之ヲ處分セシム

第四款 獸醫部士官

第二十五條 見習獸醫官ノ教育ハ所屬隊ノ高級獸醫其ノ責ニ任シ師團獸醫部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ付テハ聯隊長之ヲ監督ス

第二十六條 見習獸醫官ニシテ獸醫部長官ノ勤務ヲ習得シタルトキハ師團獸醫部長ハ其ノ教育ニ任シタル者ヲシテ本人ノ學術及勤務等獸醫部長官タルヲ得ヘキ保證書ヲ出サシメ且本人ノ勤務品行等ニ關スル聯隊長ノ證明書ヲ得師團獸醫部長之ヲ是認シタル後獸醫部士官銓衡會議ニ付ス但シ同銓衡會議ニ付スヘキ者ハ獸醫免狀ヲ有スルコトヲ要ス

第二十七條 獸醫部士官銓衡會議ハ師團獸醫部長議長ト爲リ之ヲ開ク
前項ノ會議ニ於テハ議長ヲ除クノ外之ヲ組織スル將校相

當官自ラ可否ノ意見ヲ銓衡報告書ニ記入シ之ニ署名スヘシ但シ前條ノ保證書ヲ出シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 獸醫部士官銓衡會議終リタルトキハ師團獸醫部長ハ銓衡報告書ニ基キ銓衡報告表ヲ調製シ同會議ニ於テ可決シタル者ニ付順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ二等獸醫、三等獸醫ニ任セラルルノ資格ヲ具フルコトヲ師團長ニ上申スヘシ但シ銓衡報告書中幾分ノ否トスルモノアルトキハ其ノ事由ヲ銓衡報告表ニ記入スヘシ

師團長ハ前項ノ書類ニ意見ヲ附シテ陸軍大臣ニ提出スヘシ
師團獸醫部長ハ獸醫部士官銓衡會議ノ結果ヲ見習獸醫官所屬ノ聯隊長ニ通報スルト共ニ陸軍省軍務局長ニ上申スヘシ

第二十九條 陸軍補充令第三十五條各號ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長其ノ事由ヲ悉シ且第二號第三號又ハ第六號ニ該ル者ニ在リテハ師團獸醫部長ノ意見書ヲ得テ之ヲ添附シ師團長ニ上申シ師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申スヘシ但シ第四號ニ該ル者ニ付テハ前條第一項及第二項ノ手續ニ準シ銓衡報告書ヲ添ヘ否決ノ事由ヲ上申スヘシ陸軍大臣ハ見習獸醫官ヲ免スヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達シ師團長ハ聯隊長ヲシテ之ヲ處分セシム

第二章 豫備役後備役將校同相當官ノ補充

第三十條 陸軍補充令第三十七條ニ依ル第一次勤務演習ハ現役ヲ終リタル年ノ翌年、第二次勤務演習ハ第一次勤務演習ヲ行ヒタル年ノ翌年ニ於テ之ヲ行フ

陸軍一年志願兵條例第二十四條ニ依リ終末試験ヲ受ケタル者ニシテ現役ヲ終リタル年ノ翌年ニ於テ第一次勤務演習ニ召集シ得サルトキハ其ノ翌年ニ於テ之ヲ召集ス

第三十一條 前條第一項ノ第一次勤務演習ハ本人ノ願ニ依リ現役滿期後引續キ召集シ又ハ同勤務演習ヲ行フヘキ年ノ翌年ニ之ヲ延ハスコトヲ得

前項ニ依リ現役滿期後引續キ第一次勤務演習ニ召集シタル者ハ本人ノ願ニ依リ之ニ引續キ第二次勤務演習ニ召集スルコトヲ得

第三十二條 前二條ノ勤務演習ハ原所屬隊ニ於テ之ヲ行フ但シ官吏公吏ニシテ已ムヲ得サル事情アル者ハ本人ノ願ニ依リ他隊ニ召集スルコトアルヘシ

第三十三條 第三十一條及前條但書ニ依リ勤務演習ヲ爲サムトスル者ハ原所屬隊ノ聯隊長ヲ經テ當該師團長ニ願出ヘシ

師團長ハ前條但書ニ依リ願出ヲ爲シタル者ヲ他師團ニ召集スヘキ場合ニハ該師團ニ協議スヘシ

第三十四條 陸軍補充令第四十條ニ依リ第二次勤務演習ニ召集シタル者ニ豫備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官ヲ命スルハ聯隊長之ヲ行フ

第三十五條 前條ノ豫備役ノ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官ヲ少尉同相當官ト爲スノ銜ハ第二次勤務演習ノ終ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ銜及任官ノ上申ニ付テハ第五條乃至第七條、第十五條乃至第十七條、第二十一條乃至第二十三條及第二十六條乃至第二十八條ノ例ニ依ル

第三十六條 陸軍補充令第四十二條各號ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長、師團經理部長、師團軍醫部長又ハ師團獸醫部長之ヲ師團長ニ上申シ師團長ハ聯隊長ヲシテ之ヲ處分セシム

第三章 現役下士ノ補充

第一款 憲兵科下士

第三十七條 憲兵分隊長ハ部下憲兵上等兵ニシテ陸軍補充令第四十四條第一號ニ該ル者ヲ選抜シ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名書及品行證明書ヲ三月三十一日迄ニ

憲兵隊長ニ提出シ憲兵隊長ハ之ヲ點檢シ意見アルトキハ取捨ヲ加ヘ各分隊ヲ通シテ順序ヲ定メ下士候補名簿ヲ調製シ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)

ニ提出スヘシ

憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ハ下士候補名簿ヲ審査シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ認可ヲ受ケ各隊ノ副員ニ應ジ下士候補者ヲ憲兵伍長ニ任ス

下士候補者ヲ以テ憲兵科下士ノ副員ヲ補フハ同一憲兵隊ニ屬スル者ヲ以テスルヲ例トス

憲兵司令官ハ補充上ノ必要ニ應ジ憲兵科下士ノ所屬部隊ヲ轉換スルコトヲ得

第三十八條 憲兵司令官陸軍補充令第四十四條第二號及第五號ニ該ル者ヲ以テ憲兵科下士ノ補充ヲ要スルトキハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ所要ノ人員ヲ師團長ニ通報スヘシ

第三十九條 師團長前條ノ通報ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊長及聯隊區司令官ニ達シ聯隊長及聯隊區司令官ハ志願者ヲ取調ヘ適當ト認ムル者ニ付人名簿ヲ調製シ之ニ考科表寫及品行證明書ヲ添ヘ師團長ニ提出シ師團長ハ之ヲ憲兵司令官ニ送付スヘシ

第四十條 憲兵司令官前條ノ書類ヲ受領シタルトキハ之ヲ憲兵隊長ニ送付シ補充検査ヲ行ハシム其ノ検査ニ合格シタル者ハ憲兵隊長其ノ優劣ニ依リ該憲兵隊管区内ヲ通シテ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ検査書類ヲ添ヘ憲兵司令官ニ提出スヘシ

憲兵司令官ハ下士候補名簿ヲ審査シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ憲兵隊長ニ送付シ憲兵隊長ヲシテ所要ニ應ジ下士候補名簿ノ順序ニ從ヒ相當階級ノ現役憲兵科下士ニ採用セシム

第四十一條 憲兵下士補充検査格例及合格規定ハ憲兵司令官之ヲ定メ師團長ニ通報スヘシ

第四十二條 憲兵隊長ハ陸軍補充令第四十四條第三號及第四號ニ該ル者アルトキハ其ノ管区内ニ於ケル志願者ヲ通シテ順序ヲ定メタル現役憲兵下士採用名簿ヲ調製シ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ニ提出スヘシ

憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ハ前項ノ採用名簿ヲ審査シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ憲兵隊長ニ送付ス憲兵隊長ハ所要ニ應ジ採用名簿ノ順序ニ從ヒ陸軍補充令第四十四條第三號ニ該ル者ニ在リテハ伍長勤務上等兵ヲ命シ二月以上服務セシメタル後事由ヲ悉シテ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ニ上申シ其ノ認可ヲ受ケ之ヲ現役憲兵伍長ニ任シ同條第四號ニ該ル者ニ在リテハ之ヲ現役憲兵科下士ニ採用ス

第二款 歩、騎、砲、工、輜重兵科下士

第四十三條 陸軍補充令第四十五條第一號ニ該ル者ヲ下士

ニ採用スルトキハ伍長ニ任ス但シ伍長ニ任スル前概ネ一年間伍長勤務上等兵トシテ服務セシムルヲ例トス

第四十四條 前條ノ場合ニ於テ聯隊長ハ其ノ勤務學術ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ所要ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ之ヲ伍長ニ任ス

第四十五條 陸軍補充令第四十五條第二號ニ該ル者ハ伍長勤務ニ服シタル者ニ在リテハ伍長ニ任シ其ノ他ノ者ニ在リテハ之ニ伍長勤務上等兵ヲ命シ二月以上服務セシメタル後伍長ニ任ス

第四十六條 前條及陸軍補充令第四十五條第三號ニ該ル者ニ付テハ聯隊長ハ其ノ成績ヲ審査シ階級毎ニ順序ヲ定メタル下士採用名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ所要ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ之ヲ現役下士ニ採用ス

第四十七條 下士候補者ヲ以テ下士ノ闕員ヲ補フハ中隊毎ニ之ヲ行ヒ同一中隊ニ屬スル者ヲ以テスルヲ例トス

聯隊長ハ補充上ノ必要又ハ古參ノ下士ヲ各中隊ニ平均スル爲下士ヲ甲中隊ヨリ乙中隊ニ轉セシムルコトヲ得

長ニ任シ陸軍大臣ノ告達ニ基キ各隊ニ配屬スヘシ

第三款 經理部下士

第四十九條 師團經理部長ハ補充上ノ必要ヲ顧慮シ毎年養成スヘキ計手候補者ノ概數ヲ聯隊長ニ通報スヘシ

第五十條 聯隊長ハ毎年六月部下上等兵中計手志願者ニシテ適當ト認ムル者ヲ選抜シ隊附主計ニ附屬シ概ネ三月間計手ノ實務ヲ習得セシム

隊附主計ハ計手志願者ノ教育ヲ終リタルトキハ成績報告書ヲ調製シ聯隊長ヲ經テ師團經理部長ニ提出スヘシ

第五十一條 師團經理部長ハ前條ノ報告書ヲ審査シ適任ト認メタル者ヲ選定シ師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ聯隊長ニ通報シ聯隊長ハ本人ヲシテ師團經理部ニ通學セシム

經理部所在地外ノ軍隊ニ在リテハ聯隊長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ師團司令部所在地ニ於ケル便宜ノ軍隊ニ前項ノ通學者ヲ分遣スヘシ

第五十二條 師團經理部長ハ前條ノ通學者ニ概ネ二月間計手ニ必要ナル學術及實務ヲ習得セシメタル後試験ヲ施行シ其ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ

師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ師管内(近衛師團ニ在リテハ師團内、朝鮮臺灣關東州ニ在リテハ所轄内)各部隊計手ノ闕員ニ應シ下士候補名簿ノ順序ニ依リ之ヲ三等計

手ニ任ス
計手候補者ハ計手ニ任用前計手勤務ニ服セシムルコトヲ得

第五十三條 陸軍補充令第四十七條第二號ニ該ル者ハ計手候補者ニシテ計手ニ任用前歸休ヲ命セラレ又ハ豫備役ニ入りタル者ニ在リテハ三等計手ニ任シ其ノ他ノ者ニ在リテハ之ニ計手勤務上等兵ヲ命シ任官前二月以上服務セシメタル後三等計手ニ任ス

第五十四條 前條及陸軍補充令第四十七條第三號ニ該ル者ヲ計手ニ任スルニハ師團經理部長之ヲ審査シ階級毎ニ順序ヲ定メタル計手採用名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ所要ニ應ジ該名簿ノ順序ニ依リ現役計手ニ採用ス

第五十五條 被服本廠長ハ毎年十一月上等縫、靴工卒中縫、靴工長志願ノ適任者ヲ選拔シ各別ニ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケハシ

第五十六條 師團經理部長ハ師管内（近衛師團ニ在リテハ師團内、朝鮮臺灣關東州ニ在リテハ所轄内）各部隊ニ於ケル縫、靴工長ニ調員ヲ生シタルトキハ之ヲ師團長ニ上申シ師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ上申スヘシ

被服本廠長ハ被服廠ニ於ケル縫、靴工長ニ調員ヲ生シタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ上申スヘシ

第五十七條 陸軍大臣ハ前條ノ上申ニ基キ被服本廠長ニ命シ下士候補名簿ノ順序ニ依リ三等縫、靴工長ニ任シ部隊ニ配賦セシム

第五十八條 陸軍補充令第四十八條第二號及第三號ニ該ル者ヲ當該工長ニ採用スルニハ被服本廠長之ヲ審査シ階級毎ニ順序ヲ定メタル縫工長採用名簿及靴工長採用名簿ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ所要ニ應ジ該名簿ノ順序ニ依リ現役縫、靴工長ニ採用ス但シ第二號ニ該ル者ハ三等縫、靴工長ニ任ス

第四款 衛生部下士

第五十九條 陸軍補充令第四十九條第一號ニ該ル者ヲ衛生部下士ニ採用スルトキハ三等看護長又ハ三等磨工長ニ任ス

第六十條 前條ニ該ル者ヲ看護長又ハ磨工長ニ任スルニハ衛戍病院長又ハ隊附高級醫官ハ其ノ勤務學術ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ病院長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ提出シ隊附高級醫官ハ之ヲ聯隊長ニ提出シ聯隊長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ送付スヘシ
師團軍醫部長ハ前項ノ下士候補名簿ヲ審査シ各部隊ノ候

補者ヲ通シ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ師管内（近衛師團ニ在リテハ師團内、朝鮮臺灣關東洲ニ在リテハ所轄内）各部隊看護長又ハ磨工長ノ闕員ニ應シ候補名簿ノ順序ニ依リ三等看護長又ハ三等磨工長ニ任ス

第六十一條 陸軍補充令第四十九條第二號ニ該ル者ハ看護長ノ勤務ニ服シタル者ニ在リテハ三等看護長ニ任シ其ノ他ノ者ニ在リテハ之ニ看護長勤務上等看護卒ヲ命シ二月以上服務セシメタル後闕員ニ應シ三等看護長ニ任ス

第六十二條 前條及陸軍補充令第四十九條第三號ニ該ル者アルトキハ師團軍醫部長ハ其ノ成績ヲ審査シ階級毎ニ順序ヲ定メタル衛生部下士採用名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ製可ヲ受ケ所要ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ現役看護長又ハ磨工長ニ採用ス

第五款 獸醫部下士

第六十三條 蹄鐵工長候補者ヲ蹄鐵工長ニ任スルニハ師團獸醫部長其ノ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ師團長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ之ヲ三等蹄鐵工長ニ任ス

第六十四條 聯隊長ハ陸軍補充令第五十二條各號ノ一ニ該ル者アルトキハ蹄鐵工長候補者ヲ免ス但シ陸軍獸醫學校分遣中ノ者ハ校長之ニ退校歸隊ヲ命シ其ノ歸隊後ニ於テ

聯隊長之ヲ處分スヘシ

第六款 軍樂部下士

第六十五條 陸軍戸山學校長及軍樂隊長ハ其ノ部下樂手補中陸軍補充令第五十三條ニ該ル者ヲ選抜シ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ調製シ陸軍戸山學校長ハ教育總監ニ軍樂隊長ハ師團長ニ提出スヘシ

第六十六條 陸軍戸山學校長ハ前條ノ下士候補名簿ニ付教育總監ノ認可ヲ受ケタル後部下樂手ノ闕員ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ三等樂手ニ任ス

師團長ハ前條ノ下士候補名簿ヲ審査シ決定ノ上部下樂手ノ闕員ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ三等樂手ニ任ス

第四章 豫備役後備役下士ノ補充

第六十七條 陸軍補充令第五十四條ニ該ル者ヲ下士ニ任スルニハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ各兵科下士ニ在リテハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル隊長、各部下士ニ在リテハ師團經理部長師團軍醫部長師團獸醫部長又ハ之ト同等以上ノ權アル當該部長之ヲ伍長同相當官ニ任ス但被服廠ニ於ケル縫、靴工長ノ任官ニ關シテハ第五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 陸軍補充令第五十六條ニ該ル者ヲ以テ下士ノ補充ヲ爲ス手續ニ付テハ第三十七條、第四十四條、第六

十條ノ規定ヲ準用ス

第五章 現役憲兵上等兵、看護卒、磨工卒又樂手補ノ補充

第一款 憲兵上等兵

第六十九條 聯隊長ハ毎年六月陸軍補充令第五十七條ニ該ル者ヲ選拔シ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名書ニ品行證明書ヲ添ヘ師團長ニ提出シ師團長ハ七月十日迄ニ之ヲ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ニ送付スヘシ

第七十條 憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)前條ノ書類ヲ受領シタルトキハ憲兵隊ニ於テ憲兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習修セシムヘキ人員ヲ定メ其ノ人名ヲ師團長ニ通報シ且之ヲ憲兵隊長ニ達スヘシ

第七十一條 憲兵上等兵候補者ノ學術習修及補充検査ハ憲兵隊管區毎ニ當該憲兵隊本部ニ於テ之ヲ行フ但シ朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官ノ指定スル區域毎ニ憲兵隊本部ニ於テ之ヲ行フモノトス
憲兵隊長ハ學術習修ノ爲聯隊長ニ協議シ本人ヲ憲兵隊本部ニ通學セシム但シ憲兵隊本部所在地外ノ者ハ同本部所在地ノ軍隊ニ分遣シ通學セシム
學術習修中傷疾疾病、犯罪、品行不正又ハ學力不充分ニ

シテ憲兵上等兵ト爲スヘカラサル者アルトキハ憲兵隊長ハ其ノ通學ヲ停止シ本人所屬ノ聯隊長ニ通報スヘシ

第七十二條 前條ノ學術習修ニ付テハ憲兵隊長其ノ責任ス

第七十三條 學術ノ習修終リタルトキハ憲兵隊長ハ補充検査ヲ行ヒ合格者ニ付検査ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル憲兵上等兵候補名簿ヲ調製シ之ヲ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ニ提出スヘシ
憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ハ前項ノ名簿ヲ審査シ憲兵隊毎ニ(朝鮮ニ在リテハ適宜各憲兵隊ニ區分ス)憲兵上等兵候補名簿ヲ決定シ憲兵隊長ニ下付ス憲兵隊長ハ關員ニ應シ該名簿ノ順序ニ依リ憲兵上等兵ヲ命ス

憲兵上等兵候補名簿決定ノ後歸休ヲ命シ又ハ豫備役ニ編入シタル者ニ在リテハ憲兵隊長ハ聯隊區司令官ニ照會シ體格検査ヲ行ヒ合格ノ者ニ限リ憲兵上等兵ヲ命スルコトヲ得但シ朝鮮在住者ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊長體格検査ノ上其ノ合格ノ者ニ憲兵上等兵ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ其ノ人名及必要ノ事項ヲ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ハ必

要ニ應シ第二項若ハ第三項ノ手續ニ依リ甲隊ノ憲兵上等兵候補者ヲ以テ乙隊ノ副員ヲ補充シ甲隊ノ憲兵上等兵ヲ乙隊ニ轉セシムルコトヲ得

第七十四條 補充検査ニ合格シタル兵卒ニハ第七十一條第二項ノ通學ヲ停止シ憲兵司令官(朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄憲兵隊司令官)ハ憲兵上等兵候補者ノ簿決定ノ後其ノ人名ヲ師團長ヲ經テ聯隊長ニ通報シ聯隊長ハ憲兵上等兵候補者タルコトヲ本人ニ達スヘシ

第七十五條 憲兵上等兵候補者中憲兵上等兵ヲ命セラレシテ之ニ歸休ヲ命シ又ハ豫備役ニ編入シタル者アルトキハ聯隊長ハ之ヲ憲兵隊長及聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第七十五條ノ二 朝鮮駐劄憲兵隊司令官ハ朝鮮ニ在ル部隊ヨリ其ノ補充要員ヲ充足スル能ハサルトキハ其ノ不足人員ヲ憲兵司令官ニ請求スヘシ

憲兵司令官ハ前項ノ請求アリタルトキハ之ヲ補充ヲ爲スモノトス

第七十六條 憲兵上等兵候補名簿ハ決定ノ日ヨリ次年ノ同候補名簿決定ノ日迄之ヲ用ウヘシ

第七十七條 憲兵上等兵ノ補充検査格例及合格規定ハ憲兵司令官之ヲ定ム

第二款 看護卒及磨工卒

第七十八條 師團軍醫部長ハ衛戍病院附屬ノ看護卒及磨工卒ノ人員ヲ調査シ師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ各隊ニ配賦スヘシ

聯隊長ハ前項ノ人員及其ノ隊所要ノ上等看護卒ノ人員ヲ中隊ニ配賦スヘシ

第七十九條 前條第二項ニ規定スル人員ノ配賦ヲ受ケタル中隊長ハ部下兵卒中看護卒要員ニ在リテハ篤實温厚文筆アリテ看護勤務ニ適當ナル者磨工卒ノ要員ニ在リテハ成ルヘク研磨術鍛冶術ノ心得アル者ヲ選抜シ隊附上等看護卒及衛戍病院附ノ二等看護卒、二等磨工卒ノ要員ニ分チタル名簿ヲ調製シ順序ヲ經テ聯隊長ニ提出スヘシ

第八十條 聯隊長ハ前條ノ名簿ニ依リ要員ヲ定メ隊附ノ上等看護卒ノ要員ニ在リテハ之ニ看護學修業兵ヲ命シ其ノ地ノ衛戍病院ニ通學又ハ入學セシメ衛戍病院附ノ看護卒又ハ磨工卒ノ要員ニ在リテハ之ニ二等看護卒又ハ二等磨工卒ヲ命シ衛戍病院ニ編入スヘシ

第八十一條 看護學修業兵其ノ教育ヲ終リタルトキハ聯隊長ハ之ヲ看護學修業兵名簿ニ登載シ副員ニ應シ之ニ上等看護卒ヲ命ス

第三款 樂手補

第八十二條 陸軍戸山學校長ハ軍樂生徒卒業者ノ優劣ニ依

順序ヲ定メタル人名簿ヲ教育總監ニ提出シ認可ヲ受ケ之ニ樂手補ヲ命シ陸軍大臣ノ告達ニ基キ陸軍戸山學校軍樂生徒隊及軍樂隊ニ配賦スヘシ

第六章 特別補充

第八十三條 戰時又ハ事變ニ際シ士官以下ノ闕員ヲ補充スル手續ハ前各章ニ依ルノ外本章ノ規定ニ依ル

第八十四條 陸軍補充令第六十五條、同令第六十九條及同令第七十一條ニ該ル者ノ任官ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ第三章ニ規定スル下士候補名簿ノ順序ニ拘ラス聯隊長、師團經理部長、師團軍醫部長、師團獸醫部長又ハ之ト同等以上ノ權アル部隊長之ヲ行フ

第八十五條 陸軍補充令第六十八條ニ依リ憲兵上等兵ノ補充ヲ要スルトキハ憲兵隊長ハ憲兵司令官ノ認可ヲ受ケ必要ニ應シ豫備役候補兵卒中憲兵上等兵適任證書ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ補充スヘシ

前項ノ場合ニ於テ戰地ニ在リテハ憲兵隊長ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケルモノトス

第八十六條 陸軍補充令第七十條ニ該リ砲兵工長 補者ヲ當該工長ニ任スル手續ハ第四十八條ノ規定ヲ準用ス

第八十七條 陸軍補充令第七十二條及同令第七十三條ニ該ル看護卒又ハ磨工卒ノ候補者ヲ選定シ並之ヲ命スル手續

ハ第五章第二款ヲ準用ス

第七章 雜則

第八十八條 滿洲ニ駐劄スル部隊、臺灣守備隊並基隆、澎湖島、旅順、重砲兵隊下士兵卒ヨリ憲兵下士上等兵ヲ補充スルトキ之ニ要スル手續ハ第三章第一款、第五章第一款ノ規定ヲ準用ス

第八十九條 陸軍補充令第八十五條ニ該ル者ヲ縫、靴工長ニ任スルニハ聯隊長其ノ人名及列序ヲ師團經理部長ニ移シ經理部長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ三等縫、靴工長ニ任スヘシ

第九十條 陸軍補充令第八十六條及同令第八十七條ニ該ル者ヲ下士ニ任スルニハ聯隊長其ノ人名及列序ヲ師團經理部長、師團獸醫部長又ハ之ト同等以上ノ權アル當該部長ニ送付シ該部長ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ當該三等工長ニ任スヘシ

第九十一條 下士候補名簿ハ認可決定ノ日ヨリ次年ノ下士候補名簿決定ノ日迄之ヲ用ウヘシ
下士補充上ノ必要アルトキハ下士候補名簿ニ追加スルコトヲ得其ノ取扱ハ各本條ノ例ニ準ス

第九十二條 下士候補名簿又ハ憲兵上等兵候補名簿ニ登載シタル者及下士候補者又ハ憲兵上等兵候補者ニシテ採用

前其ノ候補者タラシムヘカラサル事由ヲ生シタルトキ、所屬ヲ轉換シタルトキ其ノ他身上異動ヲ生シタルトキハ本人ノ所屬長官ヨリ其ノ事由ヲ關係部隊ノ長官ニ通報又ハ上申スヘシ

第九十三條 本令中師團長トアルハ朝鮮駐劄軍司令官臺灣總督關東都督、旅團長トアルハ臺灣守備隊司令官、師團經理部長トアルハ朝鮮駐劄軍經理部長臺灣總督府陸軍經理部長關東都督府陸軍經理部長、師團軍醫部長トアルハ朝鮮駐劄軍軍醫部長臺灣總督府陸軍軍醫部長關東都督府陸軍軍醫部長、師團獸醫部長トアルハ臺灣總督府陸軍獸醫部長、聯隊長トアルハ獨立隊長、聯隊區司令官トアルハ對馬警備隊司令官及沖繩警備隊區司令官、聯隊トアルハ獨立隊ヲ包含ス

第九十四條 本令中師團長ヨリ聯隊長ニ違シ又ハ聯隊長ヨリ師團長ニ上申提出スヘキモノハ旅團内ノ聯隊ニ在リテハ總テ旅團長ヲ經由スヘキモノトス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍補充兵ヲ以テ下士ニ補充シ及雜卒ヲ

兵卒ト爲ス件

明治三十八年七月二十一日
勅令第百九十八號

朕陸軍補充兵ヲ以テ下士ニ補充シ及雜卒ヲ兵卒ト爲スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 職員ヲ行ヒタル部隊ハ必要ニ應シ補充兵役ニ在ル上等兵ル看護手中優秀ニシテ下士タルニ充分ナル技能ヲ有スル者ヲ以テ當該兵科部下士(砲兵諸工長ヲ除ク)ノ補充ヲ爲スコトヲ得其ノ手續ハ陸軍補充條例第六十條ノ例ニ依ル

第二條 前條ニ依リ下士ニ任セラレタル者ハ前服役ヲ通算シテ七年四箇月ニ滿タサル者ハ七年四箇月ニ滿ツル迄後備役ニ、十二年四箇月ニ滿タサル者ハ十二年四箇月ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム

第三條 勳員ヲ行ヒタル部隊ニ屬スル雜卒中優秀ニシテ同兵科部兵卒ト同等ノ技能ヲ有シ其ノ勤務ニ適スル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ同兵科部ノ兵卒ト爲スコトヲ得但シ之カ爲其ノ在營及服役期限ヲ變スルコトナシ

第四條 雜卒出身ノ上等兵又ハ看護手ヲ以テ陸軍補充條例又ハ第一條ニ依リ下士ノ補充ヲ爲スハ二年四箇月以上服役シタル者ニ限ル

第五條 雜卒(補充兵役ニ在ル者ヲ除ク以下同シ)出身ノ上等兵及看護手ニシテ志願ニ依ラスシテ下士ニ任セラレタル者ハ其ノ服役期限ヲ變スルコトナシ
 警備隊現役上等兵及看護手ニシテ志願ニ依ラスシテ下士ニ任セラレ復員ノ際服役期限三箇年ニ滿タサル者ハ退營セシメ其ノ服役ニ付テハ三箇年ニ滿ツル迄歸休兵ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 補充兵及雜卒出身ノ下士ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ官ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令ニ依リ官ヲ免セラレタルトキハ當該兵科ノ一等卒(看護卒出身ノ者ニ在リテハ看護卒)ト爲シ補充兵出身ノ者ニ在リテハ前服役ヲ通算シテ十二年四箇月ニ滿ツル迄補充兵役ニ服セシメ其ノ他ノ者ニ在リテハ前服役ヲ通算シテ七年四箇月ニ滿タサル者ハ七年四箇月ニ滿ツル迄豫備役ニ、十七年四箇月ニ滿タサル者ハ十七年四箇月ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム
 前項ノ規定ハ補充兵役ニ在ル上等兵及雜卒出身ノ上等兵ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ職ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令ニ依リ其ノ職ヲ免セラレタル者ニ之ヲ準用ス但シ現役兵ニ在リテハ第三條ノ例ニ依リ二年四箇月ニ滿ツル迄現役ニ服セシム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎ 雜卒ヲ兵卒トナス標
 準ニ關スル件

明治三十八年七月二十一日
 陸達第三十七號

明治三十八年勅令第百九十八號第三條ニ依リ雜卒ヲ兵卒トナスノ件ニ關シ左ノ通定ム

第一條 明治三十八年勅令第百九十八號第三條ニ依リ雜卒ヲ兵卒ト爲スハ他ノ模範トナリ且當該兵科部ノ兵卒ト同等ノ技能ヲ有シ其ノ勤務ヲ執ラシムルニ差支ナキ者ニ限ル

第二條 砲兵助卒ヲ砲兵二等卒ト爲スハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルヲ要ス

- 一 現役兵ニシテ引續キ約一箇年以下在隊スル者
 - 二 歸休兵及豫備役又ハ後備役ニ在ル者ニシテ召集後約三箇月ヲ經過シタル者
 - 三 補充兵役ニ在ル者ニシテ召集日數(前後ノ召集日數ヲ通算ス)約一年三箇月以上ニ達シタル者
- 第三條 砲兵輪卒ヲ砲兵二等卒トシ輜重輪卒ヲ輜重卒二等卒ト爲スハ左ノ各號ノ一ニ該當スルヲ要ス

- 一 現役兵ニシテ引續キ約一箇年以上在隊スル者
 - 二 歸休兵及豫備役又ハ後備役ニ在ル者ニシテ召集後約九箇月ヲ經過シタル者
 - 三 補充兵役ニ在ル者ニシテ召集日數(前後ノ召集日數ヲ通算ス)約一年三箇月以上ニ達シタル者
- 第四條 看護卒ヲ看護手ト爲スハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且技倆優秀ニシテ看護手ノ勤務ヲ執リ得ル者ニ限ル
- 一 現役兵ニシテ引續キ約一年二箇月以上在隊スル者
 - 二 歸休兵及豫備役又ハ後備役ニ在ル者ニシテ召集後約十箇月ヲ經過シタル者
 - 三 補充兵役ニ在ル者ニシテ召集日數(前後ノ召集日數ヲ通算ス)約一年五箇月以上ニ達シタル者
- 第五條 國民兵役ニ在リテ雜卒ヲ兵卒ト爲スニハ第一國民兵役ニ在ル者ニ在リテハ豫備役ニ在ル者、第二國民兵役ニ在ル者ニ在リテハ補充兵役ニ在ル者ノ例ニ依ル
- 第六條 雜卒ニシテ砲兵又ハ輜重兵ト爲リタル者ヲ陸軍兵卒進級規則ニ依リ進級セシムル場合ニ於テ雜卒タル期間ハ兵卒ノ例ニ依リ進級期限ニ通算スルモノトス
- 第七條 砲兵助卒同職卒及輜重輪卒ヲ砲兵又ハ輜重兵ト爲スハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ得テ隊長又ハ之ト同等以上ノ者ニ於テシテ看護卒看護手ト爲ス

ハ軍醫部長ノ承認ヲ得テ當該部隊長ニ於テスルモノトス

● 經理部下士補充交代

規程 明治三十六年十二月十七日 陸建第三百十三號

經理部下士補充交代規程左ノ通定ム

明治三十五年陸建第十六號上等計手及計手補充區分ハ之ヲ廢止ス

- 第一條 軍隊官衙學校(臺灣支那及朝鮮ニ在ルモノヲ除ク)ニ於テ經理部下士ノ補充ヲ要スルトキハ軍隊官衙學校長ヨリ近衛師團ニ係ルモノハ該師團經理部長ニ其ノ他ニ係ルモノハ師管區分ニ從ヒ當該師團經理部長ニ請求スヘシ
- 第二條 臺灣所在諸部隊ニ於テ經理部下士ノ補充ヲ要スルトキハ部隊長ヨリ臺灣陸軍經理部長ニ請求シ該經理部長其ノ必要ヲ認ムルトキハ臺灣守備混成旅團及要塞砲兵隊ニ係ルモノハ別表ノ區分ニ依リ當該師團經理部長ニ其ノ他ニ係ルモノハ陸軍經理局長ニ請求スヘシ
- 第三條 支那及朝鮮所在諸部隊ニ於テ經理部下士ノ補充ヲ要スルトキハ部隊長ヨリ當該司令官ニ請求シ當該司令官其ノ必要ヲ認ムルトキハ常置部隊ニ係ルモノハ陸軍省經理局長ニ其ノ他ノ部隊ニ係ルモノハ其ノ編成ヲ擔任スル

師團ノ經理部長ニ請求スヘシ

第四條 陸軍省經理局長前二條ノ請求ヲ受ケタルトキハ適宜師團經理部長ヲ指定シ之ヲシテ要員ノ補充ヲ爲サシムヘシ

第五條 師團經理部長經理部下士補充ノ請求ヲ受ケ又ハ陸軍省經理局長ヨリ其ノ要員ノ配當アリタルトキハ其ノ所轄内ヲ通シテ補充ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 臺灣支那及朝鮮所在部隊ニ於テ經理部下士ノ交代ヲ要スルトキハ前諸條ノ例ニ依ルモノトス
(別表略ス)

●在郷陸軍准士官下士

ニシテ文官又ハ雇員
タル者再役志願及採

用方

明治四十年七月
陸達第四十八號

陸軍準備役必備役准士官下士ニシテ文官又ハ雇員タル者ヲ本人ノ志願ニ依リ再ヒ軍務ニ從事セシムル場合ニハ之ヲ採用セムトスル部隊長ヨリ豫メ本人ノ在職スル官公衙ノ長官ニ照會シ回答ノ上之ヲ採用スヘシ

前項ノ場合ニ於テ陸軍服役條例第七十條ノ二ニ該當スルモノニ在リテハ聯隊區司令官、營備隊司令官又ハ營備隊區司令官特ニ文官又ハ雇員タリヤ否ヤヲ調査シ願書ト共ニ之ヲ部隊長ニ通報スヘシ

陸軍服役條例第七十條ノ二ニ依ラス志願ニ依リ陸軍平時編制ノ定員ニ充用スル陸軍準備役後備役准士官下士ニ關シテハ部隊長適宜ノ方法ヲ以テ本人ノ文官又ハ雇員タリヤ否ヲ調査スヘシ

第十一編 徵發

● 徵發令

明治十五年八月十二日
太政官布告第四十三號

徵發令別冊ノ通制定ス

右奉 勅旨布告候事

(別冊)

徵發令

第一條 徵發令ハ戰時若クハ事變ニ際シ陸軍或ハ海軍ノ全部又ハ一部ヲ動カスニ方リ其所要ノ軍需ヲ地方ノ人民ニ賦課シテ徵發スルノ法トス

但平時ト雖モ演習及ヒ行軍ノ際ハ本條ニ準ス

第二條 徵發ハ陸軍若クハ海軍官憲ノ徵發書ヲ以テ之ヲ行フ

第三條 左ニ列記スル官憲ハ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス

- 一 陸軍卿海軍卿鎮臺司令官及ヒ鎮守府長官
- 二 陸軍ニ於テハ特命司令官軍團長師團長旅團長分遣隊長若クハ演習及ヒ行軍ノ軍隊長
- 三 海軍ニ於テハ特命司令官艦隊司令官艦隊司令官分

遺艦長若クハ操練及ヒ航海ノ艦隊司令官又ハ艦長
第四條 徵發ス可キモノノ種類ニ依リ徵發區ハ會社モ之ニ
準スルヲ定ムルコト左ノ如シ

一 第十二條第一項ハ

府縣

二 第十二條第二項及ヒ第三項ハ

郡區

三 第十二條第四項以下各項及ヒ第十三條各項ハ

町村

四 船舶會社所有ノ船舶及鐵道會社所有ノ汽車ハ 會社

第五條 徵發ス可キモノハ徵發區内ニ現存スルモノニ限ル

第六條 徵發書ハ徵發區ニ從ヒ府知事縣令郡區長戸長若ク

ハ停車場長船舶會社ノ店長ニ付ス可シ

第七條 徵發書ヲ受ケタル府知事縣令郡區長戸長若クハ停

車場長船舶會社ノ店長ハ時期ヲ誤ルコトナク其供給ヲ完

全セシムルノ責アルモノトス

第八條 各徵發區ニ於テハ臨時徵發ニ應ス可キ便宜ノ方法

ヲ豫定ス可キモノトス

第九條 徵發ヲ課セラレタルモノハ時期ニ違フコトナク之

ヲ供給スルノ義務アルモノトス若シ其時期ニ違フトキハ

府知事縣令郡區長戸長他ノ方法ヲ以テ調達シ爲メニ生シ

タル費用ハ本人ヲシテ之ヲ辨償セシム但會社ニ係ルモノ

ハ陸海軍官憲直ニ其處分ヲ爲ス可シ

第十條 徵發ヲ課セラレタルモノ商用其他ノ事故ヲ以テ供

給ヲ拒ミ又ハ供給ス可キモノヲ藏匿シタルトキハ直ニ之
ヲ使用スルコトヲ得

第十一條 供給ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ其受領證票ヲ府知
事縣令郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ交付
スヘシ

第十二條 徵發ス可キモノ左ノ如シ

一 米麥林藪鹽味噌醬油漬物梅干及薪炭

二 乘馬駄馬駕馬車輛其他運搬ニ供スル獸類及器具

三 人夫

四 宿舍廢園及ヒ倉庫

五 飲水ノ炭

六 船舶

七 鐵道汽車

八 演習ニ要スル地所

九 演習ニ要スル材料器具

第十三條 戰時若クハ事變ニ際シテハ第十二條ノ諸項ニ揭
クルモノノ外徵發ス可キモノ左ノ如シ但平時ノ演習及ヒ
行軍ニハ徵發スルコトヲ得ス

一 造船所工作所及ヒ軍事ノ工作ニ要スル材料器具

二 職工礦夫洗濯人ノ類

三 被服器具草鞋兵器彈藥船具寢具藥劑治療器械及ヒ編

第十一編 徵發

器具

- 四 水車揚春ノ類
- 五 病院

第十四條 第十二條第二項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノ左ノ如シ

- 一 皇族所用ノ車馬
- 二 外國公使館竝ニ領事館ニ屬スル車馬
- 三 乘馬本分タル職務ニ要スル馬
- 四 郵便用ノ車馬
- 五 公認セラレタル種牛種馬

第十五條 第十二條第四項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノ左ノ如シ

- 一 公務ニ屬スル辦事
- 二 皇族ノ邸宅
- 三 外國公使館領事館及ヒ其所屬館
- 四 道電信郵便用ノ建造物
- 五 陸海軍將校竝ニ同等官現住ノ家屋
- 六 博物館書籍館
- 七 病院盲啞院養兒院
- 八 學校但臨戰合圍地境內ニ在リテハ此限ニ在ラズ
- 九 製造場内機械室

第十六條 第十二條第二項ニ掲グルモノノ使用ハ其原用ヲ轉シテ他用ニ供スルヲ許サス但戰時若クハ事變ニ際シテハ此限ニ在ラズ

第十七條 第十二條第二項ニ掲グルモノハ其差出シ場所ヨリ六里未滿ノ地ニ於テ使用スルヲ例トシ一日ノ使用ハ六里ニ超ユルコトヲ得ス但戰時若クハ事變ニ際シテハ六里以外ノ地ニ使用スルコトヲ得

第十八條 第十二條第四項ニ掲グルモノハ合圍地境內ヲ除クノ外居住者ノ起臥及營業ニ必要ナル場所ヲ徵用スルコトヲ得ス但營業ニ必要ナルモ旅店等ハ此限ニ在ラズ

第十九條 宿舍ノ廣狹ハ其地家屋ノ數ト隊伍ノ編成トニ從ヒ一定シ難シ故ニ臨時適宜ニ之ヲ定ム

第二十條 第十二條第四項ニ掲グルモノハ陸軍若クハ海軍ノ都合ニ依リ特ニ其場所ヲ指定スルコトアル可シ

第二十一條 宿舍ヲ定メタルノ後ハ區町村ノ便宜ヲ以テ他ニ移轉セシムルコトヲ許サス廢園倉庫亦同シ

第二十二條 宿舍廢園ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ併セテ人馬ノ食飼ヲ供給ス可シ但駐軍三日以上ニ至ルトキハ第四日ヨリ食飼ハ陸軍若クハ海軍ノ自辨トス

第二十三條 第十二條第六項ノ徵發ニ係リ其乘載人馬ノ食飼ヲ要スルモノハ併セテ供給セシム

第十一編 徵發

第二十四條 第十二條第六項及第七項ニ掲グルモノハ戰時若クハ事變ニ際シ借切トシテ之ヲ徵用スルコトアル可シ

第二十五條 第十二條第二項第六項及第七項ニ掲グルモノハ其操業者ヲ併セテ徵用スルヲ例トス但時宜ニ依リ各個ニ分別シテ徵用スルコトヲ得

第二十六條 第十二條第六項ニ掲グルモノヲ操業者ト各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル但船橋及ヒ解船ニ充ツルモノハ此限ニ在ラス

第二十七條 第十二條第七項ニ屬スル汽車其屬具鐵道建築所用ノ材料器具及ヒ操業者ヲ各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル

第二十八條 第十三條第五項ニ掲グルモノハ陸海軍病院ノ補助トシテ徵用スルヲ例トス但合圍地境内ニ在テハ全ク明渡サシムルコトヲ得

第二十九條 徵發ニ係ルモノハ第三十一條乃至第五十條ニ定ムル所ノ方法ニ從ヒ賠償ス

第三十條 徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルハ徵發區ノ義務トシ其輸送賃ヲ支辨セス

第三十一條 賠償ハ平時ト戰時トヲ論セス其時々之ヲ支辨スルモノトス但戰時若クハ事變ニ際シ紛擾ノ爲メ延滞シ

テ三月ヲ越ユルトキハ年六分ノ割ヲ以テ其利子ヲ付ス

第三十二條 賠償ハ徵發區毎ニ一括シテ府知事縣令郡區長戸長停車場長船舶會社ノ店長ヨリ之ヲ請求スヘシ

第三十三條 徵發物件ノ其使用ノ爲メニ毀損シタルモノハ賠償ス其金額ニ付キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

其毀損ハ持主若クハ操業者ヨリ速ニ其地ニ在ル陸海軍官憲若クハ戸長ニ届出可シ其届出ハ徵用済引渡ノ後左ノ期限ヲ越ユヘカラス若シ其規限ヲ越エ又ハ期限内持主若クハ操業者ニ於テ使用セシトキハ無効トス

一 西洋形船舶 七日間
二 地所 評價委員ノ告示スル時日間
三 其他ノ物件 一日間

第三十四條 第十二條第一項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地市場ノ前三ヶ年間ノ平均價ヲ取り之ヲ定ム其平均價ノ取り難キモノハ評價委員ノ評定ニ任ス

第三十五條 第十二條第二項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其郡區平常ノ賃價トス但物件ト操業者トヲ各個ニ分別シテ徵用シタルトキハ其郡區平常ノ賃賃及ヒ借賃ニ準シテ賠償ス

第三十六條 第十二條第二項ノ徵發ニ係ルモノヲ宿泊セシ

メ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ於テ使用スルトキハ第三十二條ノ例ニ拘ハラズ賃價ノ半額ヲ前給シ宿泊食飼ヲ官給ス但シ此場合ニ於テハ賃價ノ四分ノ一ヲ減ス

第三十七條 第十二條第二項及ヒ第六項ニ掲クルモノヲ買上クルトキハ勿論其他使用ノ都合ニ依リ價格ノ豫定ヲ要スルトキハ其金額ヲ定メ置クヘシ其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

第三十八條 第十二條第三項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五條ニ準シテ賠償シ第三十六條ヲ適用ス

第三十九條 第十二條第四項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ陸海軍省ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 第十二條第五項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地平常ノ代價トス

第四十一條 第十二條第六項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノノ外左ノ區別ニ從フ

- 一 出船ノ定時アテテ定路ヲ航スルモノハ平常ノ定賃
- 二 定路ヲ航スルモ特ニ出船時日ヲ命シタルトキハ其乗載量五分ノ三ニ滿チタル以上ハ前項ノ例ニ準ス若シ之ニ滿タサルモ五分ノ三ニ値ル平常ノ定賃
- 三 出船及ヒ航路ノ定メナクシテ定賃ナキモノ又ハ運送ヲ以テ營業トセサルモノ等其賠償金額ニ就キ供給者

ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定額

第四十二條 第二十四條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者平常ノ給料航泊賃費及ヒ船舶ノ損料トス其損料ハ一ヶ月ニ各船舶買入代價六十四分ノ一トス

第四十三條 第二十六條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料船舶ニハ第四十二條ノ損料トス但船舶橋及ヒ浮船ニ充テタルモノノ賠償金額ハ第四十一條第三項ニ準ス

第四十四條 第十二條第七項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノノ外平常ノ定賃トス

第四十五條 第二十七條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料物件ニハ其地平常ノ代價若クハ損料トス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

第四十六條 第十二條第八項ノ徵發ニ係ルモノハ其植物ニ損害ヲ與ヘ又ハ地形ヲ變更シタルトキニ限り賠償ス其金額ハ評價委員ノ評定ニ任ス

第四十七條 第十二條第九項ノ徵發ニ係ル者ハ其地平常ノ代價若クハ相當ノ損料ヲ賠償ス

第四十八條 第十三條第一項第三項及ヒ第四項ノ徵發ニ係ルモノハ其地平常代價若クハ損料ヲ賠償ス其金額ニ就キ

供給者ト熟調トセサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス
第四十九條 第十三條第二項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五
條ニ準シテ賠償シ第三十六條ヲ適用ス

第五十條 第十三條第五項ノ徵發ニ係ルモノハ通常患者ノ
例ニ從フテ賠償ス余ク明渡サシムルトキハ第三十九條ノ
例ニ準ス

第五十一條 徵發ヲ拒ミ或ハ忌避シ或ハ漫リニ使役ヲ離レ
タルモノ及ヒ之ヲ教唆誘導シタルモノハ一年以上一年以
下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五十二條 徵發ノ命令ヲ受ケタル府知事縣令郡區長戶長
停車場長船舶會社ノ店長其處置ヲ爲ササルモノハ二月以
上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ
附加ス其懈怠ニ出ルモノハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ
處ス

第五十三條 徵發書ヲ出スノ權ヲ有スル官憲妄ニ徵發書ヲ
出シ又ハ其權ヲ有セサル官憲徵發書ヲ出シタルトキハ一
年以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ親官ヲ附加ス

●徵發事務條例

明治十五年十二月十八日
太政官布達第二十六號

(一部改正)

明治一九年五月閣令第一一號、同年一月同
第二九號、二三年九月勅令第一九六號、三一
年一月同第三三三號、大正二年三月同第一
二號、同三年六月同第一一二號

徵發事務條例別冊ノ通之ヲ定ム

(別冊)

徵發事務條例

第一條 徵發事務條例ハ徵發令ニ基キ實際取扱ノ基準ヲ定
ムルモノトス

第二條 陸軍若クハ海軍官憲ハ徵發區ノ大小遠近及ヒ供給
力ヲ酌量シ供給ヲ受ク可キ日時ヲ豫定シテ徵發書ヲ出ス
可シ

第三條 徵發書ノ書式ハ附錄第一號ノ例ニ準ス但臨時若ク
ハ事變ニ際シテハ電信ヲ以テ徵發スルコトヲ得

第四條 徵發令第三條第二項及ヒ第三項中ニ掲グル特命司
令官軍團長師團長艦隊司令長官ハ時機ニ依リ其部下ノ各
團長若クハ各艦隊司令官ニ徵發書ヲ出スノ權ヲ分任スル
コトヲ得

第五條 徵發令第三條第二項中ニ掲グル特命司令官以團長
師團長旅團長分遣隊長第三項ニ掲グル特命司令官艦隊司
令長官艦隊司令官分遣隊長ハ其獨立中ニ限り徵發書ヲ出

スノ權ヲ有ス故ニ師團長艦隊司令官ト雖モ軍團若クハ二艦隊以上ニ編制セラレタルトキハ徵發書ヲ出スノ權ナシ其軍團若クハ艦隊司令長官ノミ之ヲ有ス

第六條 徵發令第三條第二項中ニ掲クル演習及ヒ行軍ノ軍隊長トハ諸國隊ヲ統フル長(士官以上)ヲ言ヒ第三項中ニ掲クル操練及ヒ航海ノ艦隊司令官トハ諸艦ヲ統フル者ヲ言ヒ艦長トハ先任艦長又ハ獨立艦長ヲ言フモノニシテ其長ノミ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス但陸軍演習若クハ海軍操練ノ時一ノ總指揮官ヲ置クト雖トモ其部下ノ國隊若クハ各艦往返發者ノ地ヲ異ニスルトキハ往返中ニ限リ其國隊長若クハ艦長各自ニ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス

徵發令第三條第二項中ニ掲クル師團長ニハ近衛都督、旅團長ニハ屯田兵司令長官ヲ包含ス

第七條 徵發ニ應シタル人員ハ勉メテ彈丸ノ達セサル場所ニ於テ之ヲ使用ス可シ

第八條 徵發物件其徵發ヲ課セラレタル地ニ現在スルモ其所有者又ハ其支配人不在ナルトキハ戶長及ヒ證人二人(其町村内ニ住スル親族又ハ預リ主又ハ同物品營業者ノ内ヨリ戶長ノ選定スルモノ)立會ノ上其物件ヲ調査シ供給セシム可シ

第九條 徵發ヲ課セラレタルモノハ徵發令第十二條第六項

第七項第八項第十三條第一項中造船所工作所第四項第五項ノ物件及ヒ第二十條ノ場合ヲ除クノ外其現在ノ所有品ヲ供給セサルモ便宜ニ從ヒ他ノ同品種ノモノヲ以テ換給スルコトヲ得其徵發ニ應ス可キ人員亦同シ

第十條 徵發書ハ徵發令第六條ニ依リ府知事、縣令、郡區長、戶長若クハ停車場長、船舶會社ノ店長ニ付ス可シト雖モ臨戰若クハ合圍ノ地ニ在テ時機切迫シタル場合ニ於テハ府縣ニ付ス可キモノヲ郡區又ハ町村ニ付シ郡區ニ付ス可キモノヲ町村ニ付シ店長ニ付ス可キモノヲ船長ニ付スルコトアル可シ

右ノ手續ヲモ爲ス能ハサル場合ニ於テハ徵發書ヲ出スノ權アル官憲ヨリ直ニ人民ニ賦課シテ徵發スルコトアル可シ但此場合ニ於テハ徵發書ヲ用ヒス本人ニ受領證票ヲ交付スルニ止ル

本條ノ場合ニ於テハ徵發ヲ行ヒタル官憲定例ノ順序ニ從ヒ府知事、縣令、郡區長、戶長若クハ店長ニ其旨ヲ通知ス可シ徵發令第十二條第二項ノ物件ニ限リ場合ニ依リ徵發書ヲ北海道廳長、官府縣知事ニ付スルコトヲ得

第十一條 徵發ノ命ヲ受ケタルモノハ晝夜ヲ別タス速ニ其處置ヲ爲ス可シ

第十二條 徵發書ヲ受ケタル徵發區ニ於テ賦課ノ數ニ不足

スルトキハ速ニ供給ヲ受ケハキ官憲ニ報告ス可シ
町村ニシテ郡區長ヨリ徵發ノ賦課ヲ受ケ郡區ニシテ府知
事縣令ヨリ徵發ノ賦課ヲ受ケタルトキ其賦課ノ數ニ滿ル
能ハサルニ於テハ戶長ハ郡區長ニ郡區長ハ府知事縣令ニ
速ニ其旨ヲ報告ス可シ但此場合ニ於テハ陸海軍官憲若ク
ハ府縣廳郡區役所ヨリ吏員ヲ派出シ検査セシムルコトア
ル可シ

郡區長府知事縣令其報告ヲ受ケタルトキハ郡區長 他ノ
町村ニ府知事縣令ハ他ノ郡區ニ賦課シテ供給ヲ完全セシ
ム可シ

第十三條 府知事縣令徵發令第十二條第一項ニ係ル徵發書
ヲ受ケタルトキハ速ニ其賦課シタル郡區ノ名及ヒ量數ヲ
陸海軍官長ニ報告ス可シ

第十四條 府知事縣令郡區長及ヒ戶長ハ徵發令第八條ニ從
ヒ徵發ニ應スル便宜ノ方法ヲ豫定ス可シ

第十五條 徵發ヲ課セラレタルモノ供給ノ時期ニ違ヒタル
トキハ徵發令第九條ニ照シ處分ス可シト雖トモ正當ノ事
由ヲ證明シタルトキハ辨償セシムルノ限ニアラス

第十六條 徵發令第十一條ニ掲グル受領證票ハ附錄第二號
雛形ニ依リ調製ス可シ

第十七條 受領證票 徵發令第十二條第一項第五項ノ物件

及ヒ總テ買上ケニ屬スル物件ニ係ルトキハ領收ノ際直ニ
之ヲ交付シ其他ハ徵發令後之ヲ交付ス可シ但徵發令後
後交付スル場合ニ於テハ同令第十二條第四項第七項第八
項第十三條第一項中造船所工作所第四項及ヒ第五項ニ掲
クルモノヲ除クノ外當初領收ノ際假受領證ヲ交付ス可シ
第十八條 徵發令第十二條第二項第三項及ヒ第十三條第二
項ニ掲グルモノヲ宿泊セシメテ連日使用シ若クハ六里以
外ノ地ニ於テ使用スルトキ並ニ同令第十二條第六項ニ掲
クルモノ(解船及ヒ船橋ヲ除ク)ヲ借切トシテ徵發令スルト
キハ特ニ本人若クハ操業者ニ受領證票ヲ交付スルコトア
ルハシ

第十九條 徵發令第十五日以上ニ及フモノハ一個月ニ一回若ク
ハ二回則テ定メテ受領證票ヲ交付ス可シ

第二十條 徵發令第十二條第一項ニ掲グルモノノ徵發ヲ賦
課スルハ其物品ノ營業者ヲ先トシ尙ホ完全セサルトキニ
限 他ノ人民ニ賦課ス可シ其賦課ニ就テハ其地方及ヒ所
有者ヲシテ困乏ニ陥ヒラサシムル爲メニ相當ノ分量ヲ
各 有者ノ許ニ殘シ置ク可シ其分量ハ其地運送ノ便否及
ヒ生計ノ現況ヲ酌量シテ之ヲ定ム可シト雖モ此ニ其最下
限ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 營業者所有ノ物品ハ徵發書ノ日付ヨリ前十日間ニ其

府縣内ニ賣拂ヒタル量但所有者ノ帳簿ニ基キ算定ス可シ

二 他ノ人民所有ノ物品ハ其一家ニ要スル十日間ノ量
三 秣藁ハ其家畜ニ要スル七日間ノ量

第二十一條 鐵道局長及鐵道會社長ハ陸軍省ノ定ムル雛形ニ依リ毎年十二月三十一日調ヲ以テ鐵道表ヲ製シ翌年三月三十一日限り同省ヘ送付スヘシ又新ニ鐵道ヲ布設シ若クハ改築シタルトキハ其時時鐵道表ヲ製シ陸軍省ヘ送付スヘシ

第二十二條 (削除)

第二十三條 (同上)

第二十四條 (同上)

第二十五條 北海廳長官府縣知事ハ工場及船舶ノ所有者ヨリ海軍省ノ定ムル雛形ニ依リ工場表及汽船表ヲ徵シ毎年三月三十一日限り海軍省ニ送付スヘシ

新ニ製造シ又ハ舊ニ買入レタル船舶アルトキハ其都度前項ニ準シ汽船表ヲ海軍省ニ送付スヘシ但海軍大臣ハ便宜ニ依リ船舶會社ヲシテ直ニ之ヲ送付セシムルコトヲ得

第二十六條 徵發令第十二條第二項第六項第七項ニ掲グルモノハ總テ使用ノ爲メニ必要ナル屬具ヲ併セテ供給スヘキモノトス故ニ其屬具ニ對スル賠償ヲ請求スルコトヲ得

ス

第二十七條 徵發令第十二條第六項ニ掲グル船舶中郵便船ニ依リ其通信ノ用ニ供スル間ハ之ヲ借切ルコトヲ得又出船ノ定期若クハ航路ヲ變シテ徵用スルコトヲ得ス

第二十八條 徵發令第十八條中居住者ノ起臥ニ必要ナル場所トハ寢所及ヒ庖厨ヲ指シ營業ニ必要ナル場所トハ商估ノ店舗農工ノ仕事場ヲ言フ又旅店等トハ料理店貸座敷廠等ヲ包含ス

第二十九條 宿舍ノ廣狹ハ徵發令第十九條ニ從ヒ臨時ニ定ルモノナリト雖モ戶長ニ於テ賦課ノ際標準ト爲ス可キモノヲ概定スルコト左ノ如シ

- 一 障署 陸海軍官憲ヨリ指示スル所ノ室若クハ家屋
 - 二 將官其參謀部ト共ニ 一家屋
 - 三 上長官又ハ同等軍屬一名 一室
 - 四 士官又ハ同等軍屬二名 一室
 - 五 下士又ハ同等軍屬一名 一疊半乃至二疊
 - 六 卒又ハ同等軍屬一名 一疊乃至一疊半
 - 七 徵發ニ應シタル人員三名 二疊
- 第三十條 戶長ハ陸海軍ノ宿割主任官ニ商議シテ適宜ニ宿舍ノ配當ヲ定ムヘシ

第三十一條 徵發令第二十一條ニ從ヒ町村ノ便宜ヲ以テ他ニ轉移セシムルコトヲ許サスト雖モ若シ該家ニ病者死者等アルトキハ戶長他ニ相當ノ宿舍ヲ設ケテ轉移ヲ請求スルコトヲ得但之カ爲メ徵發令第二十二條ニ掲グル日限ヲ更新スル者ニアラス

第三十二條 徵發令第二十二條ニ從ヒ人馬ニ供給ス可キ食料ノ定量大率ネ左ノ如シト雖モ陸海軍給與ノ規則ニ由リ定量以內ヲ以テ臨時ニ變換或ハ減少スルコトアルヘシ
一人 精米每食二合 朝夕飯一汁一菜漬物 午飯一菜漬物

二 馬 駐軍中 朝大麥二升秣藜五百目 噴藜五百目
晝秣藜五百目 噴藜五百目 夕大麥二升秣藜五百目 噴藜二百目

演習及ヒ行軍中 朝大麥二升秣藜五百目 晝大麥一升 夕大麥二升秣藜一貫目 噴藜五百目
小麥ヲ大麥ニ噴藜ヲ秣藜ニ代用スルトキ 朝小麥一升 噴藜一貫目 晝小麥五合 夕小麥一升五合 噴藜二貫目

搗麥又ハ裸麥ヲ大麥ニ噴藜ノ秣藜ニ代用スルトキ 朝搗麥又ハ裸麥一升 噴藜一貫目 晝搗麥又ハ裸麥一升 夕搗麥又ハ裸麥二升 噴藜一貫目

寢藥ハ軍馬一頭ニ付一日一貫目ヲ要スルモノトス

第三十三條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ室内所要ノ燈火竝ニ其他ノ慣用ニ從ヒ地爐若クハ火鉢(薪炭共ニ)毎室ニ一個ヲ給ス可シ其賠償ハ宿舍ノ賠償金額中ニ包含ス

第三十四條 寢具ノ徵發ニ係ル賠償ハ宿舍ノ賠償金額中ニ包含セス徵發令第四十八條ニ從ヒ賠償ス

第三十五條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノ(於有家屋社寺亦同シ)食料ニ供ス可キ物品又ハ手傳人不足シ供給ヲ爲シ能ハサルノ證アルトキハ戶長ニ於テ賄ノ受負ヲ立ツル歟若クハ物品手傳人ヲ其本人ニ供スル等ノ取扱ヲ爲シ其方法ハ本條例第十四條ニ準ス可シ

第三十六條 町村ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ニ要スル食料ノ物品不足スルトキハ戶長ニ於テ其物品ヲ供ス可シ但航海先ニ於テハ本條例第三十七條ニ準シテ處分ス可シ

第三十七條 會社ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ノ食料ヲ供給スルコト能ハサルヲ證明スルトキハ現品ヲ官給シ其費用ハ賠償金ヲ以テ差引ヲ立ツ可シ

第三十八條 食料ノ定貨ナキ船舶ヲ徵用シ船主船長ヲシテ其食料ヲ供給セシムルトキハ陸海軍官憲ニ於テ其時々賠償金額ヲ定ム可シ其借切トシテ徵用シタルトキ亦同シ

第三十九條 徵發物件ノ差出場所ハ各徵發區内ニ設クルヲ定例トス但時宜ニ依リ徵發區外ニ設クコトヲ得
差出場所ハ陸海軍官憲之ヲ指定ス

第四十條 徵發區ハ徵發令第三十條ニ從ヒ徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルノ義務アルヲ以テ之カ爲メニ生シタル費用ハ其區ノ負擔トスヘキモノトス但差出場所ヲ徵發區外ノ地ニ設ケタルトキ其區外ニ係ル輸送賃ハ當該官憲ヨリ賠償スヘシ

第四十一條 郡區長ハ徵發人馬ノ供給ヲ便宜ニセンカ爲メ豫テ隣郡區長ト商議シ近傍町村ヲ適宜ニ割合ヒ組合町村ヲ定ムルヲ得

第四十二條 賠償金請求ノ月日及ヒ場所ハ供給ヲ受ケシ陸海軍官憲ヨリ之ヲ其府知事縣令郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ指示ス可シ

第四十三條 府知事縣令郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ハ附錄第六號ノ例ニ準シ賠償金計算書ヲ調製シ陸海軍官憲ヨリ交付ノ受領證票ヲ添ヘテ請求ヲ爲ス可シ但徵發令第三十六條及ヒ第三十八條ニ掲ケルモノアルトキハ其計算書ニ別項ヲ設ケテ差引ヲ立ツ可シ又評價ニ屬スル件目ノ賠償ハ別途ニ支給スルヲ以テ該件目ニ就テハ評價ノ二字ヲ記載ス可シ

第四十四條 徵發令第三十一條ニ定ムル三箇月ノ期限ハ受領證票ヲ交付シタル日ヨリ起算ス但陸海軍官憲ヨリ指示セシ請求ノ月日若クハ場所ヲ其請求者ニ於テ誤リタル爲メ又ハ賠償金計算書ノ遺算若クハ不合式ニ依リ推問往復ノ爲メニ消費シタル時日ハ算入セス

第四十五條 徵發令第十二條第二項及ヒ第三項ノ徵發ニ係ルモノヲ終日若クハ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ使用スルトキハ日割ヲ以テ賠償シ其他ノ場合ニ於テハ里程ニ應シテ賠償ス

若シ差出場所ニ集合シタルモノ官ノ都合ニテ不用トナリタルトキハ日割ヲ以テ賠償ス可キモノハ半日分ヲ給シ里程ニ應シテ賠償ス可キモノハ其半額ヲ給ス

第四十六條 徵發物件ノ毀損シタルトキハ徵發令第三十三條ニ從ヒ其使用ヲ主管スル陸海軍官憲ニ届出可シ若シ引渡ヲ受ケタル後毀損ヲ發見セシトキハ其引渡ヲ爲セシ陸海軍官憲ニ届出可シ其官憲既ニ出發セシトキハ戸長ニ届出可キモノトス

第四十七條 毀損ノ届出ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ直ニ之ヲ調査シ其毀損果シテ使用ヨリ生シタルモノト檢定シタルトキハ其賠償金額ニ就キ供給者ト商議ス可シ若シ調和セサルトキハ評價委員ニ付ス可シ

戸長若シ毀損ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ検査シ其調査書ヲ作リ(供給者ノ請求金額アルモノハ之ヲ添フ)其關係ノ陸海軍官憲ニ差出ス可シ但調査書ニハ毀損ノ事由實況竝ニ請求金額ニ係ル自己ノ意見ヲ記ス可シ

第四十八條 徵發令第三十三條ニ掲グル期日ヲ超エタル届出ハ之ヲ受理ス可カラス但變災厄難ニ罹リタルノ確證アルモノハ其變災厄難ヲ免レタル時ヨリ期日ヲ算ス可シ

第四十九條 (削除)

第五十條 徵發令第三十五條中平常ノ賃價トアルハ戰時若クハ事變ニ際シテハ勿論演習又ハ行軍ノ際ニ於テモ之カ爲メ臨時ニ騰貴セサル以前ノ賃價ヲ言フ

徵發令中平常ノ賃價トアルモノハ皆此例ニ依ル

第五十一條 徵發令第三十五條及ヒ第三十八條ニ掲グル平常ノ賃價雇賃借貸ハ郡區長確認ノ上供給ヲ受クル所ノ陸海軍官憲ニ申出可シ

其他徵發令中ニ掲グル平常ノ賃價損料及ヒ代價ハ戸長ヨリ陸海軍官憲ニ申出可シ

第五十二條 徵發令第三十九條ニ從ヒ陸海軍省ニ於テ定ム可キ所ノ賠償金ハ兩省同額タル可シト雖モ本條第三十二條ニ從ヒ臨時ニ食料ノ定量ヲ變換若クハ減少スルニ於テハ其現量ニ從ヒ賠償ス可シ

第五十三條 徵發令第四十二條中航泊實費トハ石炭油脂其他日用消耗品ノ航泊中現ニ消耗シタルモノノ代價ニシテ其物品ヲ船舶ニ積入レタルトキノ現價ニ依リ計算ス可キモノトス

第五十四條 徵發物件ノ毀損其使用ノ爲メニ非サルモノ及ヒ操業者ノ過失ニ出ルモノハ賠償セス但船舶ヲ借切トシテ徵用シタルトキ竝ニ物件ヲ操業者ト分別シテ徵用シタルトキノ毀損ハ總テ之ヲ賠償ス

第五十五條 評價委員ハ陸軍若クハ海軍官憲二名徵發區ニ從ヒ府縣郡區吏員若クハ戸長一名及ヒ其町村(評價ヲ爲ス)場所ノ住民ニシテ其事件ニ熟達シタルモノ(若シ熟達シタルモノナキトキハ他町村ノ住民ヲ用ユルモ妨ケナシ二名若クハ四名ヲ以テ編制シ其評價ハ多數ニ依テ決ス鐵道會社船舶會社ニ屬スルモノ及ヒ大演習ノ爲メニ生シタル場所ノ損害ニ係ル評價委員ハ陸軍若クハ海軍官憲二名府縣吏員一名及ヒ其事件ニ熟達シタル人民二名若クハ四名ヲ以テ編制ス

第五十六條 評價委員ニ撰用ス可キ人民ハ其事件ニ關係ナキモノニシテ地方吏員若クハ戸長ニ於テ選舉ス可キモノトス其選舉セラレタルモノハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルヲ得ス

第五十七條 其選舉セラレタルモノニハ陸軍若クハ海軍ヨリ該府縣會議員ト同一ノ旅費日當ヲ給ス可シ

第五十八條 評價ノ爲メ府縣郡區吏員若クハ戸長ノ派出ヲ要スルトキハ其事件ニ關係ノ陸海軍官憲ヨリ之ヲ府知事縣令郡區長若クハ戸長ニ通達ス可シ

第五十九條 評價ノ方法ハ評價ス可キモノノ種類ニ從ヒ精密ニ調査シ其價額ヲ評定スルヲ要トス左ニ地所損害ニ關スル評價ノ一例ヲ掲ク

演習ノ爲メ地所ノ損害ヲ届出タルトキハ評價委員ニ於テ實況ヲ查覈シ其請求スル所ノ賠償金額ノ當否ヲ審ニシ相當ナルトキハ直ニ之ヲ認可シ若シ其請求ノ金額定マラス或ハ適當ナリト認ムルトキハ實測スヘシ

評價委員ハ評價畢ルノ後左ニ掲グル要目ニ準シ所有主毎ニ評價明細書ヲ製ス可シ

一 評價ノ事項及ヒ事由

二 委員ノ氏名

三 地面ノ廣袤ハ何ヲ以テ定メタルヤ(何圖面何書類ニ依リタル歟又ハ實測シタル歟)金額ノ算出ハ如何ナル方法ニ依リタルヤ(其季ノ收穫皆無タルニ依リ其

植物ノ前何年平均ヲ以テ賠償額ヲ定メタル歟其損害ノ度幾分ニ止マリ其幾分ニ係ル賠償金額ヲ全部收穫

ノ前何年平均ヨリ算出シタルカ植物生熟ノ度ニ從ヒ其平均收穫量ニ應シ賠償ス可キ金額中ヨリ幾分ノ手間賃及ヒ肥料ヲ控除シタル歟又永存ノ草木ニシテ毎年收穫アルモノノ損害ヲ受ケタルトキハ其損害ノ收實ニ止マルト枝幹ニ係ルモノトニ從ヒ一年若クハ幾年分ノ收穫ヲ見込ミ賠償金額ヲ定メタル歟ノ類)

第六十條 評價委員ハ評價明細書ヲ製シ府知事縣令郡區長若クハ戸長ニ交付ス可シ府知事縣令郡區長若クハ戸長ハ其明細書ニ依リ賠償金計算書ヲ作り陸海軍官憲ノ指示スル場所ニ就テ賠償金額ヲ請求ス可シ

(附表略ス)

● 徵發令ニ依リ負擔ス

ヘキ費用ノ怠納者處

分方

明治十六年八月八日
太政官布告第三十一號

徵發令ニ依リ負擔ス可キ費用ノ怠納者ハ明治十年(十一月)第七十九號布告ニ依リ處分ス可シ但財産公賣ノ際買受人ナキトキハ徵發區ニ没入シ不足金アルトキハ其區ノ損失ニ歸ス

右費用ニ關スル處分ニ就キ不服アル者ハ明治十五年(五月)

第二十三號布告ニ依ル可シ
右奉 勅旨布告候事

●馬匹徵發事務細則

大正四年三月十一日
陸軍省令第四號

(一部改正) 大正五年一〇月陸軍省令第一〇號

馬匹徵發事務細則左ノ通改正ス
馬匹徵發事務細則

第一章 總則

- 第一條 本則ハ動員ノ爲師團ニ於テ行フ馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ヲ規定スルモノトス
- 第二條 馬匹ノ徵發ハ別表ニ示ス徵馬管區ニ從テ之ヲ行フ
- 第三條 徵馬管區内ノ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發ノ準備及實施ニ關シテハ本則ニ依ルノ外尙當該管區ヲ管轄スル師團長ノ規定スル所ニ從フヘシ
- 第四條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發準備ノ整否ヲ檢閲シ又ハ聯隊區司令官及其ノ他部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ
- 第五條 地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ馬匹徵發事務ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシム

ヘシ

第六條 師團長、地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長前二條ノ檢閲ヲ爲シ又ハ爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

地方長官及憲兵隊長ハ前項ノ報告ト同時ニ關係アル師團長ニ之ヲ通報スヘシ

第七條 師團長馬匹徵發事務ニ關シ規程ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第八條 陸軍召集令第十四條乃至第十六條ノ規定ハ本則ニ之ヲ準用ス

第二章 徵發準備

第九條 馬匹徵發事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ遺漏ナク計畫準備シ徵發實施ニ當リ支障ナカラシムルコトヲ要ス

第十條 馬匹徵發擔任ノ官吏公吏ニ於テ馬匹徵發ニ關シ準備シタル書類ハ馬匹ノ異動ヲ知りタル毎ニ直ニ訂正シ諸官衙公署ニ關係アルモノハ其ノ異動ヲ該官衙公署ニ報告又ハ通報スヘシ

馬匹徵發實施ニ當リ使用スル爲準備シタル各種用紙及簿表ニハ平時ニ於テ記入シ得ヘキ不動ノ文字ハ悉ク記入シ

置キ且使用ノ目的及記入ノ方法ヲ詳記シタル凡例ヲ添付シ置クヲ要ス

第十一條 師團長ハ徵發馬匹差出場所ニ於テ馬匹ノ検査ヲ爲シ且該所ニ於ケル徵發及輸送ノ事務ヲ掌ラシムル爲馬匹徵發委員ヲ設ク又徵發馬匹陸路輸送中ニ於ケル宿泊及給養ノ事務ヲ掌ラシムル爲馬匹給養委員ヲ設クヘシ

第十二條 師團長ハ關係アル地方長官、憲兵隊長及徵馬管區内ノ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出場所一覽表及徵發馬匹宿泊日割表ヲ送付シ鐵道(船舶)搭載及卸下地竝給養停車場ノ地名ヲ通知スヘシ

第十三條 師團長ハ徵馬管區内ノ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出日割表ヲ送シ同郡市長ニ同表及馬匹徵發書ヲ送付シ且馬匹徵發準備ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スヘシ

第十四條 地方長官第十二條ノ規定ニ依リ書類ノ送付及通知ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ必要ナル事項ヲ關係アル郡市長、警察署長及同分署長ニ指示スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及同分署長ヘノ指示ハ警視總監之ヲ爲スモノトス

第十五條 地方長官(警視總監ヲ除ク)徵發馬匹差出場所、同宿泊所及輸送ニ關スル所要ノ設備、人馬給養ノ準備竝之ニ伴フ經費ノ積算等ニ關シ師團長ヨリ要求アルトキハ

郡市長ヲシテ之カ計畫ヲ爲サシムヘシ

第十六條 憲兵隊長第十二條ノ規定ニ依リ書類ノ送付及通知ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ必要ナル事項ヲ關係アル憲兵分隊長ニ指示スヘシ

第十七條 郡市長第十三條ノ規定ニ依リ徵發馬匹差出日割表ノ送付ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日ニ於テ指定ノ馬數ヲ確實ニ差出シ得ヘキ準備ヲ爲スヘシ但シ郡長ニ在リテハ馬匹調査及検査施行規則第七條ニ規定スル馬調査表ニ基キ徵發馬數ヲ町村ニ配當シ之ヲ町村長ニ達スヘシ

前項但書ノ場合ニ在リテハ郡長ハ同時ニ動員區分、差出場所、到着期日時刻及徵發馬匹ノ性、用役、年齢、體尺等ニ關シ必要ナル事項ヲ町村長ニ指示スヘシ

第十八條 郡市長第十三條ノ規定ニ依リ馬匹徵發書ノ送付ヲ受ケタルトキハ確實ニ之ヲ保管スヘシ
前項馬匹徵發書ハ當該師團動員下令ノ時ヨリ其效力ヲ有スルモノトス

第十九條 郡市長馬匹ノ異動ニ依リ師團長ノ指示シタル馬數ヲ差出シ能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ速ニ其旨ヲ師團長ニ報告シ指示ヲ請フヘシ

第二十條 憲兵分隊長、警察署長及同分署長第十四條又ハ第十六條ノ指示ヲ受ケタルトキハ徵發馬匹差出場所、同

宿泊所、鐵道、船舶、搭取、卸下、及給養、停車場、其ノ必要ナル地ニ憲兵又ハ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ但シ憲兵ヲ派遣スルハ概ネ其ノ屯在地ニ限ルモノトシ其ノ派遣シアル地ニ在リテハ警察官吏ハ豫メ之ト協議スヘキモノトス

第二十一條 郡市町村長ハ馬匹徵發事務ニ關シ馬匹徵發實施業務書ヲ作り之ニ動員實施ニ當リ業務擔當者ノ行フヘキ業務ヲ記入スヘシ

前項ノ業務書ハ業務擔當ノ區分毎ニ別冊ト爲シ各業務擔當者カ動員實施ニ當リ他ノ條規表而等ヲ参照セサルモ其ノ業務ヲ實施シ得ヘク且業務擔當者ノ臨時交代スルコトアルモ業務ノ實施ニ支障ナキ如ク調製スヘシ

業務書ニ記入スヘキ業務ハ業務分擔ノ情況ニ依リ前項ニ準シ召集實施業務書中ニ區分シテ記載スルコトヲ得
憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長モ亦前各項ニ準シ馬匹徵發實施業務書ヲ調製シ又ハ召集實施業務書中ニ其ノ業務ヲ記載スヘシ

第三章 徵發實施

第二十二條 馬匹ノ徵發ハ當該師團動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十三條 動員令ノ所達ニ關シテハ左記各號ニ依ルモノ

トス

一 充員召集ト同時ニ馬匹ヲ徵發スヘキ場合及師管内ニ在リテ馬匹ノミヲ徵發シ又ハ徵發馬匹差出場所、同宿泊所ノミヲ設置シ若ハ馬匹輸送及人馬給養ノ設備ノミヲ爲スヘキ場合ニ於テハ陸軍召集令第二十四條乃至第二十八條ノ規定ニ依ル

二 師管外ノ徵馬管區及師管外ニ在リテ徵發馬匹差出場所、同宿泊所ノミヲ設置シ又ハ馬匹輸送及人馬給養ノ設備ノミヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル郡市長ニ對シテハ師團長之ヲ達ス

三 前號ニ依リ動員令ヲ達シタルトキハ師團長ハ之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知シ地方長官ハ之ヲ警察署長及同分署長ニ、憲兵隊長ハ之ヲ憲兵分隊長ニ達ス但シ東京府ニ在リテハ警察署長及同分署長ヘノ達ハ警視總監之ヲ爲スモノトス

陸軍召集令施行細則第四條及第五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ指定ノ動員區分及其ノ保管スル馬匹徵發書ニ基キ徵發馬匹差出日割表ノ指示スル到着期日ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ差出日次ヲ定メ郡長ニ在リ

テハ速ニ馬匹徵發通達書(第一様式)ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ町村長ニ達シ市長ニ在リテハ第二十五條ニ準ジ馬匹徵發告知書ヲ馬匹所有者ニ交付スヘシ

第二十五條 町村長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ規定ニ依リ達セラレタル事項ニ基キ速ニ馬匹徵發告知書(第二様式)ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ馬匹所有者ニ交付スヘシ

馬匹調査及検査施行規則第二十八條及第三十條ノ規定ニ依リ馬匹所有者管理人又ハ總代人ヲ置キタルトキハ前項告知書ハ管理人又ハ總代人ニ對シ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ交付ヲ受ケタル管理人又ハ總代人ハ速ニ之ヲ馬匹所有者ニ通報シ馬匹徵發ニ應スヘキ措以ヲ爲スヘシ

第二十六條 陸軍召集令施行細則第六條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 馬匹徵發ノ實施ニ當リ其事務ニ係ル文書ヲ發送スルニハ動員用封筒(第三様式)ヲ用フヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位置ニ受領日時ヲ記入シ記名捺印ノ上返付スヘシ

馬匹徵發告知書ヲ馬匹所有者、管理人又ハ總代人ニ交付スルニハ總テ封筒ヲ用キサルモノトス

第二十八條 徵發馬匹差出場所、同宿泊所、馬匹ノ輸送及人馬ノ給養ニ關シ設備ヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ豫定ノ計畫ニ從ヒ直ニ所要ノ設備ニ著手シ指定ノ時日ニ其ノ完成ヲ期スヘシ又設備ニ關シ馬匹徵發委員若ハ馬匹給養委員ヨリ市町村長ニ要求アルトキハ該市町村長ハ之ニ應スヘキモノトス

第二十九條 市町村長第二十四條及第二十五條ノ手續ヲ終リタルトキハ應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人ノ氏名、徵發馬匹ノ頭數、徵發馬匹差出場所ノ地名、該差出場所到着期日及時刻ヲ速ニ憲兵及警察官吏(憲兵無キ地ニ在リテハ憲察官吏ノミ)ニ通知スヘシ

第三十條 憲兵分隊長、警察署長及同分署長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ豫定ノ計畫ニ從ヒ部下憲兵警察官吏ヲ派遣シ馬匹徵發委員及馬匹給養委員ト協議ノ上徵發馬匹差出場所等ノ取締ニ任シ又郡市町村長ノ職務執行ニ關シ所要ノ便宜ヲ與フヘシ

第三十一條 郡長第二十四條ノ手續ヲ終リタルトキハ徵發馬匹到着期日前ニ差出場所ニ到着スヘシ

市町村長第二十九條ノ手續ヲ終リタルトキハ徵發馬匹出場連名簿(第四様式)二通及徵發馬匹名票(第五様式)ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ携ヘテ徵發馬匹到着期日前ニ差出場所

所ニ到着シ町村長ハ徵發馬匹出場連名簿二通ヲ郡長ニ差出スヘシ

郡市長ハ前項ノ連名簿一通(市長ニ在リテハ徵發馬匹名票ト共ニ)ヲ馬匹徵發委員長ニ差出シ當該郡市徵發馬匹ノ検査ニ立會ヒ馬匹ノ集合ヲ監視スヘシ

町村長ハ徵發馬匹名票ヲ馬匹徵發委員長ニ差出シ當該町村ノ馬匹徵發ニ關シ郡長ヲ補助スヘシ

第三十二條 應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人ハ馬匹徵發告知書ヲ携ヘ馬匹ヲ牽連レ二十四時間ニ陸路約十二里ノ割合ヲ以テ旅行シ市町村長ノ指定スル到着期日及時刻ニ徵發馬匹差出場所(市町村長ヨリ集合所ヲ指定セラレタルトキハ先ツ集合所ニ到着シタル上)ニ到着シ其ノ旨市町村長ニ届出ツヘシ

第三十三條 應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人其ノ馬匹疾病ノ爲徵發ニ應スルコト能ハサルトキハ告知書ノ交付ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ以テ現住地ノ市町村長ニ、又應徵ノ途中馬匹疾病ノ爲徵發ニ應スルコト能ハサルトキ及牽連人ノ事故若ハ道路橋梁等故障ノ爲指定ノ期日及時刻ニ差出場所等ニ到着スルコト能ハサルトキハ速ニ最寄市町村長ニ届出ツヘシ

第三十四條 市町村長前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ徵發馬匹差出場所ニ在ル馬匹徵發委員(町村長ニ在リテハ該所ニ在ル郡長ヲ經テ)ニ届出テ牽連人ノ疾病及交通路ノ故障ニ依ルモノハ速ニ徵發馬匹差出場所ニ到着セシムルノ處置ヲ爲スヘシ

第三十五條 郡市長馬匹徵發委員長ヨリ採用馬匹ノ爲徵發馬匹受領證票(第六様式)乙號及丙號ヲ受ケタルトキハ乙號ハ之ヲ保管シ丙號ハ之ヲ馬匹所有者、管理人又ハ總代人ニ交付スヘシ

第三十六條 採用馬匹ノ徵發馬匹差出場所ヨリ之ヲ編入スル部隊ノ兵營、厩又ハ車停車場若ハ乘船地等ニ至ル迄牽連セシムル爲馬匹ノ操業者ヲ徵用ス

前項馬匹ノ操業者ハ之ヲ口付人ト稱ス

第三十七條 馬匹徵發ニ關スル費用ハ左記各號ニ依リ之カ仕拂ヲ請求スヘシ

- 甲 郡市長ヨリ師團長ニ
 - 一 師團長ノ要求ニ依リ郡市長ノ實施シタル徵發馬匹差出場所、同宿泊所、馬匹輸送及人馬給養ニ關スル設備費
 - 二 官吏公吏等ニシテ徵發事務ニ關シ徵發馬匹差出場所等ニ出張執務シタル者ノ旅費其ノ他官衙公署ニ

於テ使用シタル郵便電信料、使丁賃金等總テ徵發實施ニ關スル諸費但シ道廳府縣及警察官署等ノ吏員ニ係ルモノニ在リテハ當該官廳ヨリ之ヲ請求スルモノトス

三 馬匹買上代(請求ノ際ハ徵發馬匹受領證票乙號ヲ添付スヘシ)

四 採用馬匹輸送途中疾病其ノ他ノ事故ニ依リ地方ニ預託シタルトキ之ニ關スル經費

乙 口付人ヨリ馬匹編入ノ各部隊長ニ

一 編入部隊ニ馬匹ヲ交付シタル後歸郷スル口付人ノ旅費

二 口付人ノ徵用賃金(前給賃金ヲ控除シタルモノ) 丙 市町村長ヨリ馬匹徵發委員長又馬匹ハ給養委員長ニ

一 馬匹徵發委員又ハ馬匹給養委員ノ要求ニ依リ市町村長ノ實施シタル徵發馬匹差出場所又ハ徵發馬匹宿泊所ノ設備費

二 應徵ノ爲徵發區外ニ於ケル馬匹ノ輸送諸費

三 不合格又ハ過剩ノ爲牽歸ラシムル馬匹ノ輸送諸費

四 馬匹採用セラレ徵發馬匹差出場所ヨリ歸郷スル馬匹所有者、管理人又ハ總代人ノ旅費

五 採育未定ニシテ徵發馬匹差出場所ニ滞在ヲ命ジタル馬匹ニ關スル諸費

六 口付人ノ前給賃金(本人ノ請求スル場合ニ限ル) 七 採用馬匹ノ輸送途中疾病其ノ他ノ事故ニ依リ地方ニ預託シタル場合該馬匹ノ口付人ヲ歸郷セシムルニ要スル旅費但シ本經費ハ時宜ニ依リ停車場司令官等ニ請求スルコトヲ得

前各號ノ内乙號ノ一、丙號ノ三、同四及同七ニ關シテハ徵發區ノ内外ヲ問ハス差出場所(解傭地)ヨリ應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人(口付人)現住地市町村ニ至ル間ニ付支給スルモノトス

第三十八條 前條馬匹徵發ニ關スル費用ノ額ハ左記各號ニ依ルモノトス

一 甲號ノ一及丙號ノ一ノ設備費並甲號ノ四ノ内藥價及診斷料ハ實費トス

二 甲號ノ二ノ旅費ハ左ノ區分ニ依ル

- イ 府縣郡ノ官吏ニ係ル旅費ハ内國旅費規則ノ規定ニ依ル但シ警察官吏ニ在リテハ内務省所定ノ警察官吏内國旅費規則ノ規定ニ依ル
- ロ 市町村ノ吏員等ニ係ル旅費ハ内務省所管旅費規則ノ規定ニ依ル

三 甲號ノ二ノ使丁賃金ハ實費トス

- 四 甲號ノ四ノ預託料ハ一頭一日五拾錢以内トス
 - 五 乙號ノ一、丙號ノ四及丙號ノ七ノ旅費ハ陸路ニ在リテハ一里以上十二里迄ヲ一日行程トシ一人一日五拾錢(六里未滿ノモノハ半額)鐵道及水路ニ在リテハ汽車賃及船賃ノ實費トス但シ鐵道旅行ニ在リテハ二百哩毎(全距離二百哩未滿ノモノハ二百哩ノ額)ニ日當參拾錢ヲ增加ス
 - 六 乙號ノ二ノ徵用賃金ハ一人一日七拾錢トス
 - 七 丙號ノ二及丙號ノ三ノ輸送諸費ハ一頭一日壹圓以内トス
 - 八 丙號ノ五ノ馬匹ニ關スル諸費ハ滞在翌日ニ互ルトキハ一頭壹圓尙後一日ヲ増ス毎ニ一頭壹圓トス
- 第三十九條 師團長勳員實施中及勳員完結後復員ニ至ル間ニ於テ馬匹ヲ徵發セムトスルトキ又ハ戰時事變ニ際シ勳員令ニ準スヘキ臨時命令ニ依リ馬匹ヲ徵發セムトスルトキハ別ニ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出日割表ヲ達シ郡市長ニ同表及馬匹徵發書ヲ送付スヘシ但シ勳員令ニ準スヘキ臨時命令ニ依リ馬匹ヲ徵發スル場合ニ於テ第十三條ノ規定ニ依リ送付シタル書類ヲ以テ之ヲ實施セムトスルトキハ豫メ所要ノ事項ヲ關係アル聯隊區司令官及郡市長ニ達スヘシ

前項馬匹ノ徵發ニ關シテハ本則ヲ準用ス

附則

- 第四十條 本則ハ大正四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第四十一條 本則ハ馬匹調査及檢査施行規則ヲ實施セサル島嶼ニハ之ヲ適用セス
- 第四十二條 本則施行ノ際郡市役所及町村役場ニ現在スル準備書類ニシテ本則ノ規定スル様式ト異ルモノニ在リテハ適宜訂正ノ上之ヲ使用スルコトヲ得
(様式略ス)

第十二編 軍馬

●馬匹ノ調査及検査ニ

關スル件

明治二十九年四月七日
法律第六十六號

陸帝國議會ノ協賛ヲ經タル馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 戰時若クハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル
爲馬匹ノ調査及検査ヲ行フ

第二條 馬匹ノ調査ハ島司、郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ検査
ハ陸軍官憲之ヲ行フ但シ検査ハ一年一回ヲ超ユルコトナ
シ

第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出
ヘシ

第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ検査場ニ於テ馬匹ノ検査ヲ
受クヘシ

馬匹ノ検査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス
第五條 徵發令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此ノ